

神戸大学データ資料集2020

— データと資料が語る神戸大学の今の姿 —





目次

概要

1. 概要・ランキング … 1

教育

2. 学生数 … 4
 3. 学部一般選抜志願状況 … 6
 4. 入学状況 -学部- … 9
 5. 入学状況 -大学院- … 11
 6. 学位授与状況 -授与率- … 13
 7. 進路・就職状況 … 15
 8. 資格試験合格状況 … 24
 9. 学生生活状況 … 26

研究

10. 国際的な研究論文 … 28
 11. 科学研究費 … 34
 12. 日本学術振興会特別研究員 … 39
 13. 研究プログラムの採択状況 … 40
 14. 研究業績に関する主な受賞者等一覧 … 43

産学官連携

15. 産学官連携状況 … 45
 16. 国内の大学等との連携協定 … 49
 17. 連携大学院等実施状況 … 50
 18. 教育関係共同利用拠点 … 52

国際

19. 留学 … 54
 20. 海外大学との交流状況 … 58
 21. 研究者等交流状況 … 61
 22. 国際化の状況 … 62

附属病院

23. 附属病院 … 64

附属学校

24. 附属学校 … 67

社会貢献

25. 公開講座等 … 68
 26. 学外機関への参画状況 … 69

教職員

27. 教員 … 70
 28. 職員 … 73

財務

29. 財務 … 74

附属図書館・その他一般開放施設

30. 附属図書館・その他一般開放施設 … 81

完全版はウェブサイトでご覧いただけます。

神戸大学 データ資料集

検索

表紙写真：六甲台本館
 表紙裏写真：工学研究科

1. 概要・ランキング

1-1 神戸大学の概要

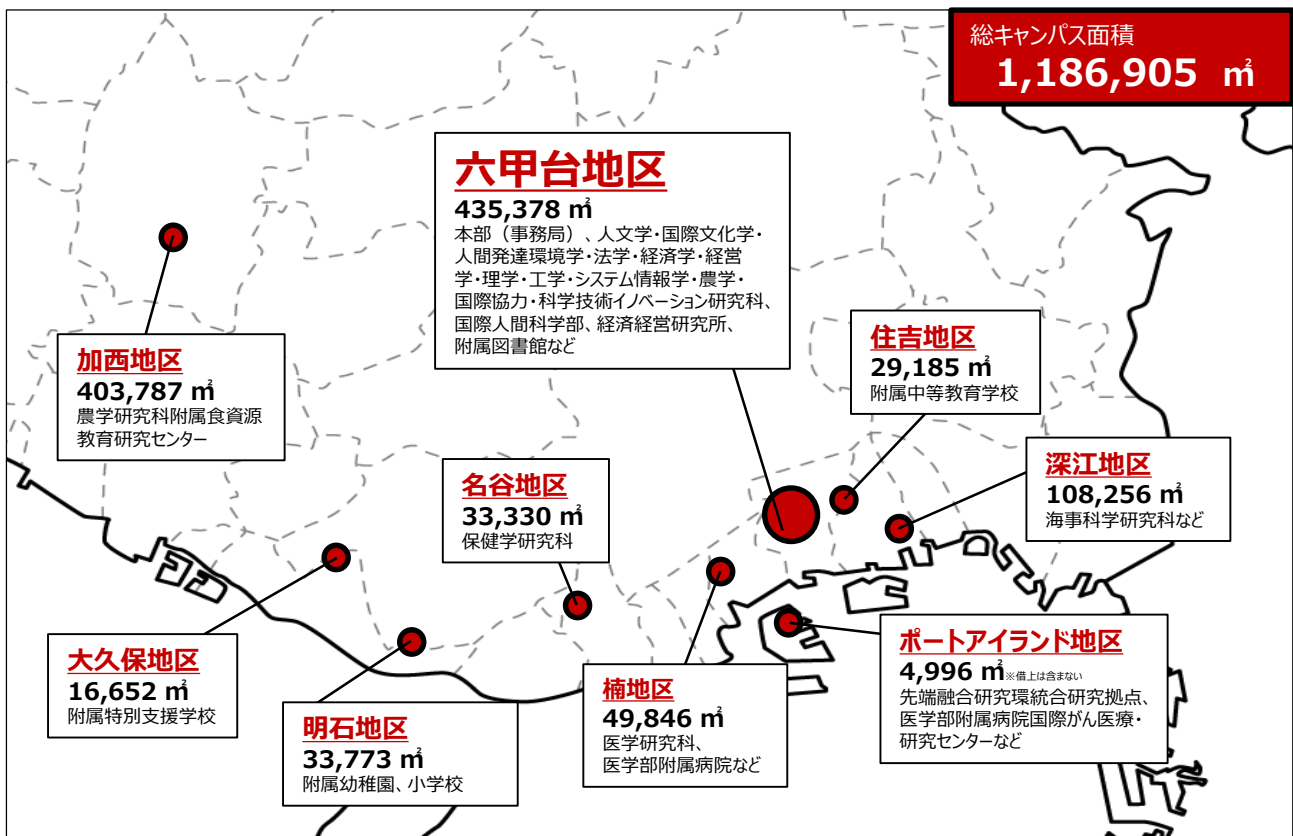
2020年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学 生 等 数	学部	2,670	2,736	10,639	11,521	(4,179)	
	大 学 院	修士課程・博士課程前期課程	1,258	1,185	2,512	2,614	(925)
		博士課程・博士課程後期課程	395	309	1,285	1,642	(554)
		専門職学位課程	149	146	378	303	(96)
	合計	4,472	4,376	14,814	16,080	(5,754)	
	外国人留学生数	学部生 (内数)		大学院生 (内数)	研究生等	計	
			128	917	182	1,227	(642)
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	45		1,315 [41]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教 職 員 数 (※3)		1,566	107	2,061	3,734		
	女性教職員数	266	53	1,405	1,724		
	女性比率	17.0%	49.5%	68.2%	46.2%		
予算規模		2020年度 約755億円 (うち運営費交付金等 約198億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。

※3：教職員数は休職者を除く現員数。 ※4：教員数は役員及び特別顧問を含む。

1-2 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ (大阪)
[海外] 神戸大学中国事務所 (北京)、神戸大学ブリュッセルオフィス

1-3 神戸大学の位置

◆近隣国立大学との比較◆

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 国際人間科学部 (※) 法学部 経済学部 経営学部 理学部 医学部 工学部 農学部 海事科学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 人間科学部 外国語学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 基礎工学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 環境理工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 生物生産学部 情報科学部
大学院	<ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科 国際文化科学研究科 人間発達環境学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 経営学研究科 (経営専門職大学院) 医学研究科 保健学研究科 工学研究科 システム情報学研究科 農学研究科 海事科学研究科 国際協力研究科 科学技術イノベーション研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 教育学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 医学研究科 薬学研究科 工学研究科 農学研究科 人間・環境学研究科 エネルギー科学研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科 情報学研究科 生命科学研究科 総合生存学館 地球環境学舎 公共政策教育部 経営管理教育部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 人間科学研究科 言語文化研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科 医学系研究科 歯学研究科 薬学研究科 工学研究科 基礎工学研究科 国際公共政策研究科 情報科学研究科 生命機能研究科 高等司法研究科 (法科大学院) (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学) 連合小児発達学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 教育学研究科 (教職大学院) 社会文化科学研究科 自然科学研究科 保健学研究科 環境生命科学研究科 医歯薬学総合研究科 ヘルシステム統合科学研究科 法務研究科 (法科大学院) 	<ul style="list-style-type: none"> 人間社会科学研究科 (教職大学院) 法学研究科 (法科大学院) 先進理工系科学研究科 統合生命科学研究科 医系科学研究科
附属学校	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中等教育学校 附属特別支援学校 			<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属特別支援学校 	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校

出典：各大学ホームページ

※2017年4月より、国際文化学部と発達科学部を再編統合し、新たに「国際人間科学部」を設置した。

◆大規模13大学間の比較◆

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,255	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,555	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,485	12
東北大学	2,377	10
広島大学	2,336	12
千葉大学	2,317	10
新潟大学	2,222	10
岡山大学	2,195	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,101	9

(2020)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,037	2,928	1,699	410	15
京都大学	3,732	2,287	1,111	334	18
大阪大学	3,053	2,046	927	80	16
東北大学	2,673	1,785	768	120	15
九州大学	2,668	1,748	780	140	18
筑波大学	2,508	1,815	627	66	7
名古屋大学	2,463	1,684	729	50	13
北海道大学	2,375	1,632	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,802	1,258	395	149	15
広島大学	1,620	1,115	455	50	4
千葉大学	1,281	955	266	60	7
岡山大学	1,125	785	271	69	8

(2020)

※国立大学間で学部入学定員の上位13大学を「大規模13大学」と定義する。

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	24
2	京都大学	38
3	東京工業大学	56
4	大阪大学	72
5	東北大学	79
6	名古屋大学	110
7	九州大学	124
8	北海道大学	139
9	早稲田大学	189
10	慶應義塾大学	191
11	筑波大学	265
12	広島大学	321
13	東京医科歯科大学	362
14	神戸大学	403

(2020-2021)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	15
2	京都大学	17
3	東京工業大学	20
4	大阪大学	22
5	東北大学	23
6	北海道大学	29
7	九州大学	31
8	名古屋大学	32
9	早稲田大学	40
10	慶應義塾大学	45
11	筑波大学	49
12	神戸大学	66
13	広島大学	77
14	一橋大学	91
15	東京医科歯科大学	122

(2020-2021)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	26
2	京都大学	34
3	名古屋大学	83
4	東京工業大学	101-150
5	北海道大学	151-200
	大阪大学	
	東北大学	
8	筑波大学	201-300
9	慶應義塾大学	301-400
	九州大学	
11	神戸大学	401-500
	千葉大学	
	岡山大学	
	東京理科大学	

(2020)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	36
2	京都大学	54
3	東北大学	201-250
4	東京工業大学	301-350
5	名古屋大学	351-400
	産業医科大学	
	大阪大学	
8	九州大学	401-500
	東京医科歯科大学	
	筑波大学	
11	藤田医科大学	501-600
	北海道大学	
	帝京大学	
14	神戸大学	601-800
	会津大学	
	東京慈恵会医科大学	
	関西医科大学	
	慶應義塾大学	
	日本医科大学	
横浜市立大学		

(2020-2021)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	7
2	京都大学	12
3	東北大学	30
4	名古屋大学	41
5	東京工業大学	42
6	大阪大学	55
7	産業医科大学	57
8	東京医科歯科大学	62
9	九州大学	71
10	藤田医科大学	82
11	帝京大学	93
	筑波大学	
13	横浜市立大学	95
14	北海道大学	96
15	関西医科大学	128
16	東京都立大学	146
17	慶應義塾大学	164
18	近畿大学	172
19	神戸大学	175

(2020)

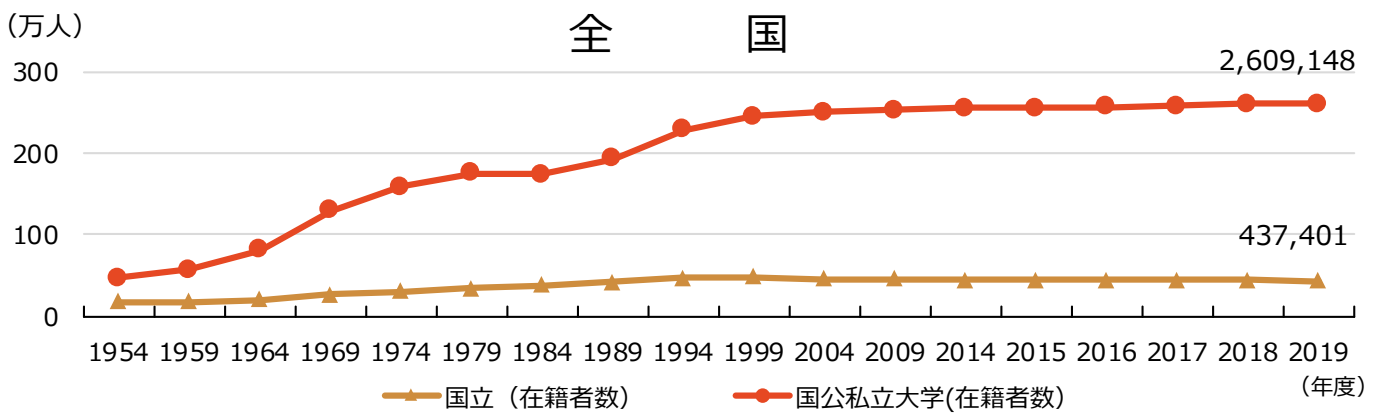
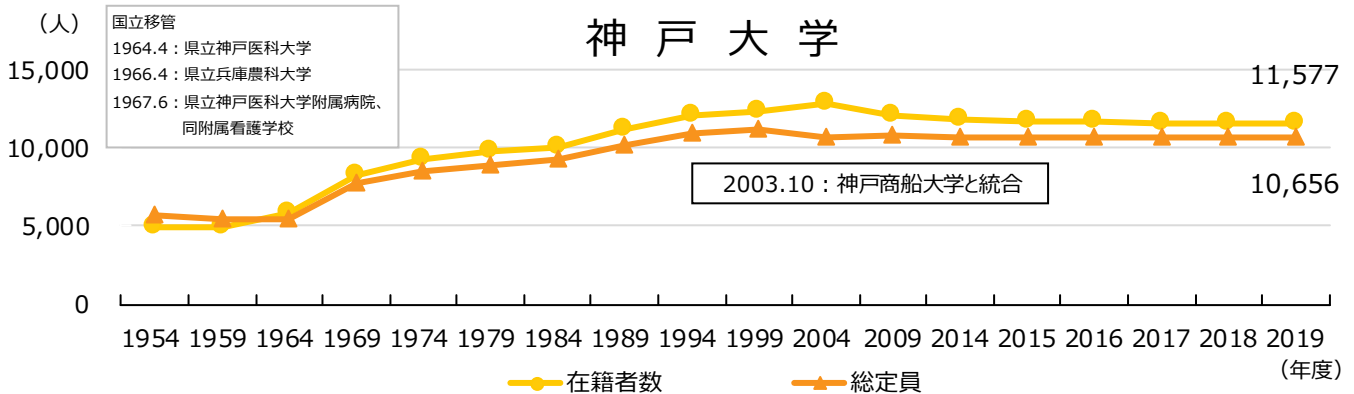
出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

2. 学生数

2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

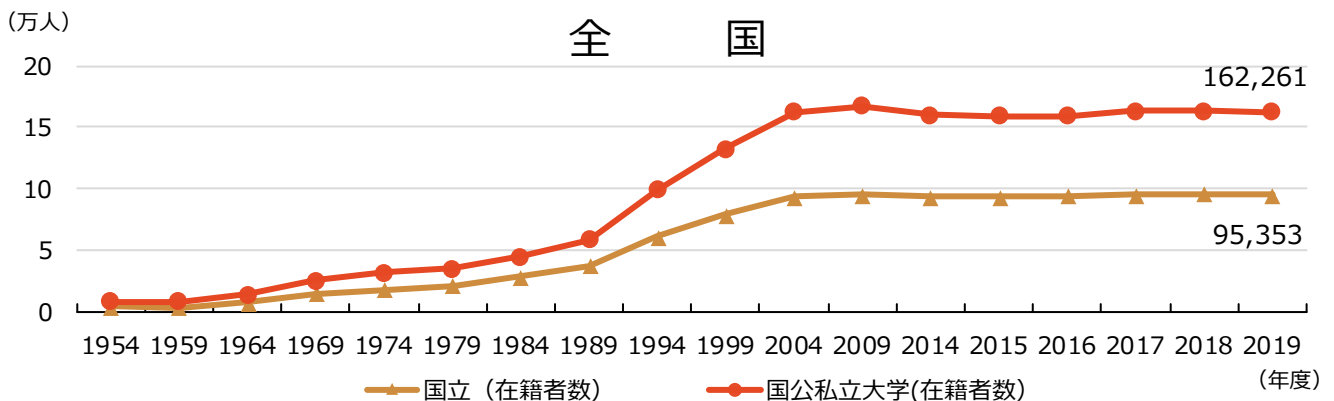
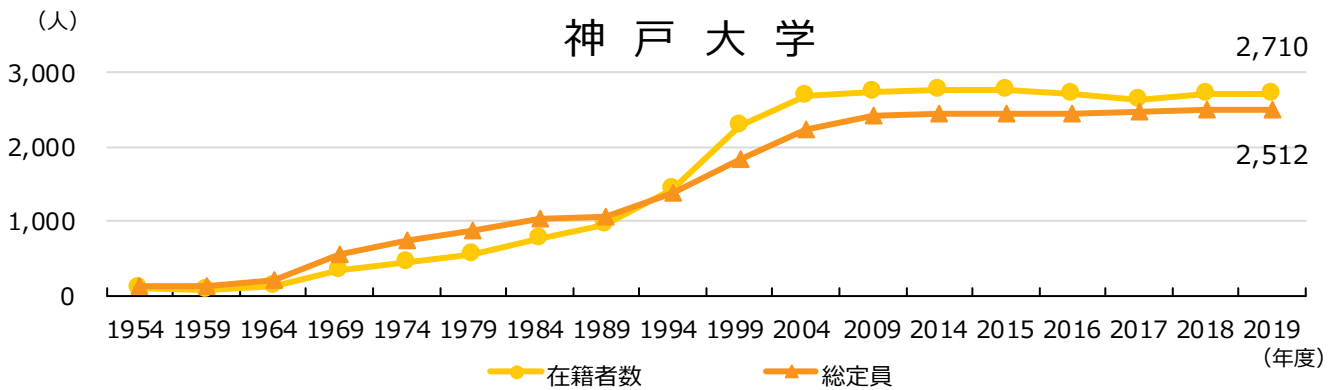
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —

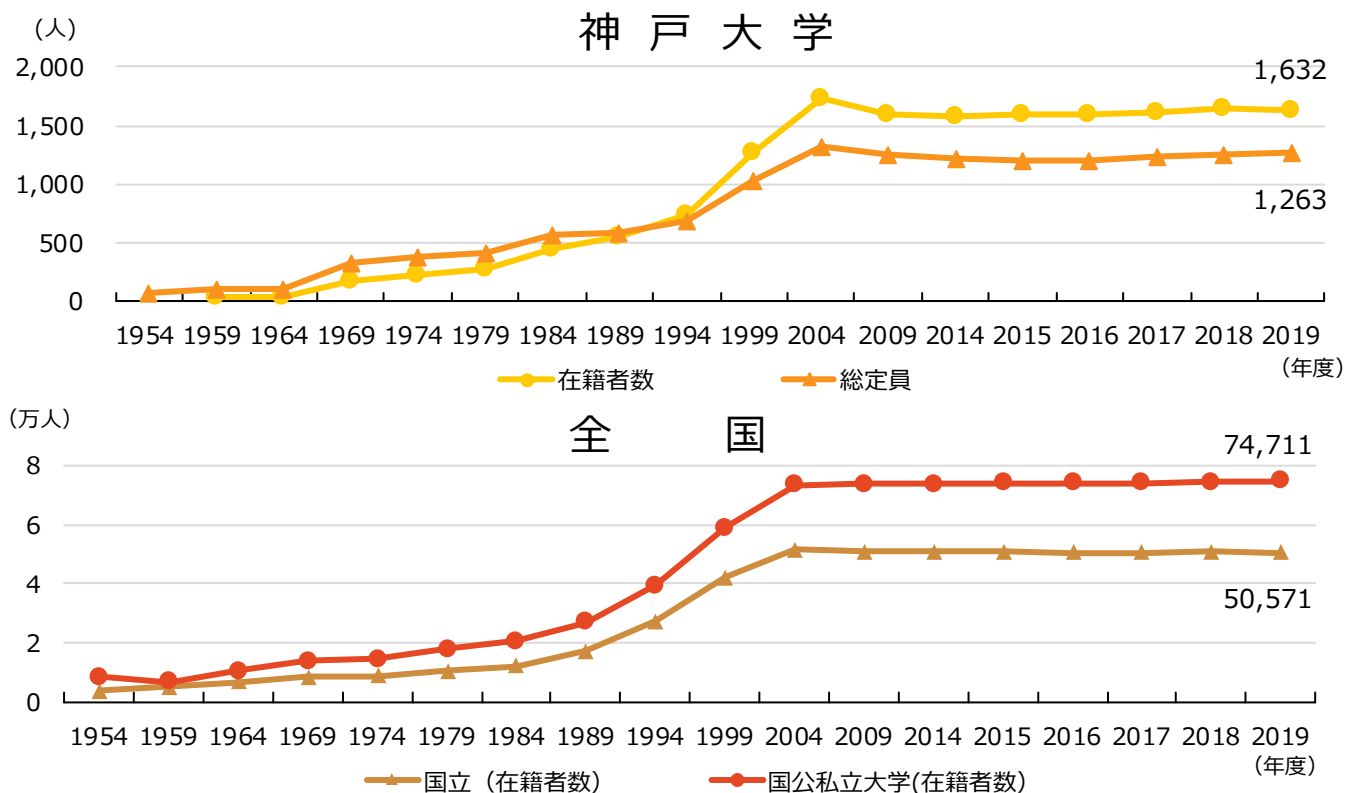
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

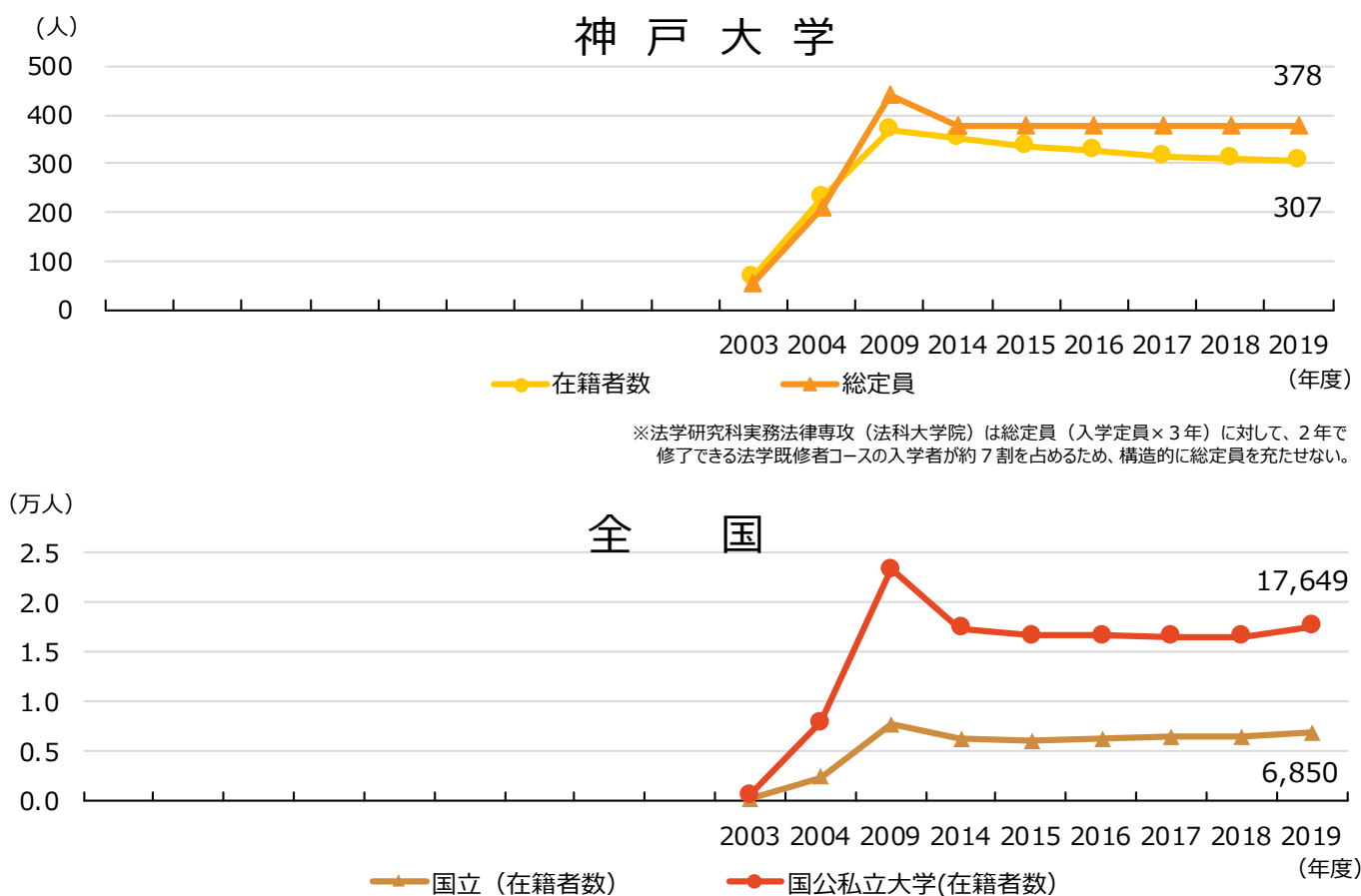
2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

各年度5月1日現在



2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —

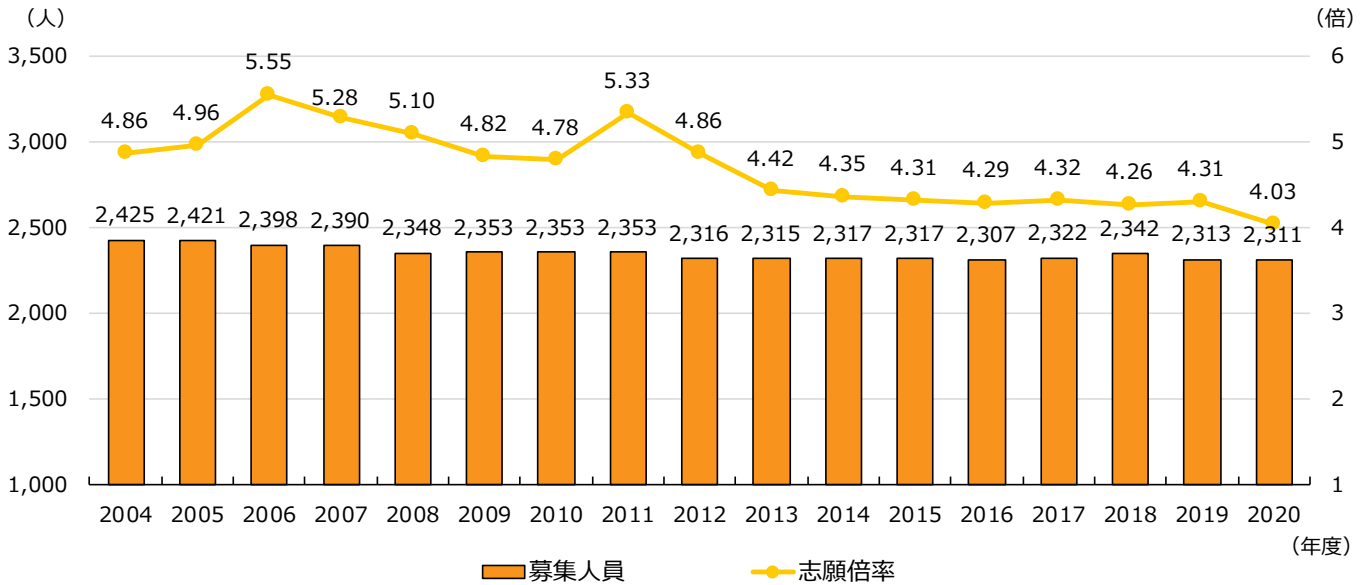
各年度5月1日現在



3. 学部一般選抜志願状況

3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

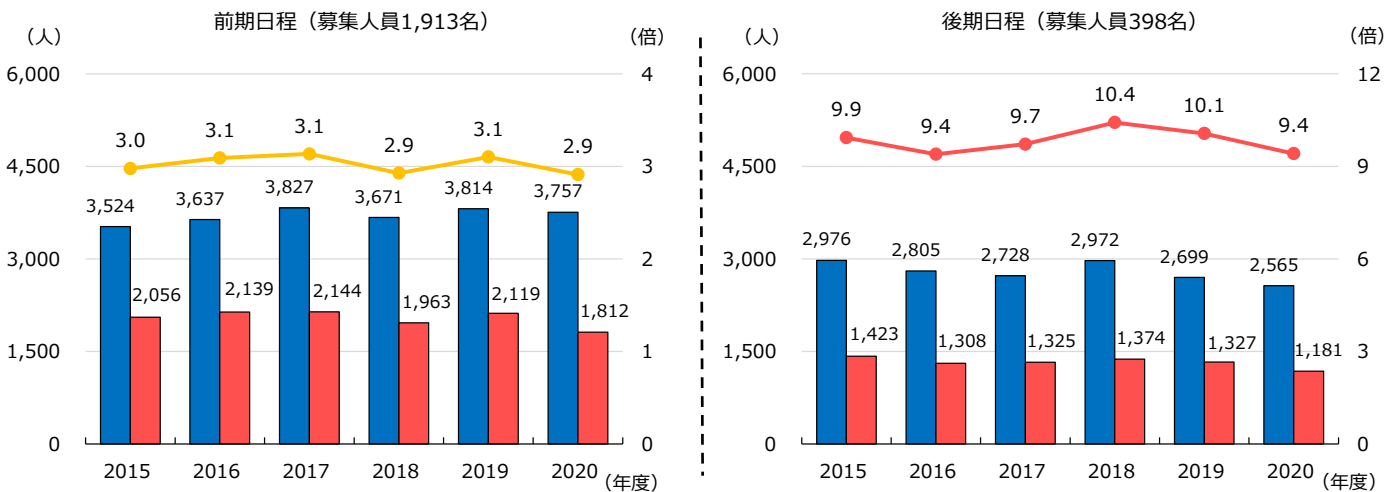
○ 本学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、近年4.3倍前後を推移していたが、2020年度は4.03倍と法人化以降、最低水準となった。2021年度の入試制度改革を控え、安定志向が強まった影響を受けた可能性がある。



3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

○ 前期日程は3倍程度、後期日程は10倍程度の志願倍率を推移しているが、2020年度はいずれも近年の最低水準であった。
 ○ 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。

■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ● 前期志願倍率 ● 後期志願倍率



※各日程の募集人員は2020年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

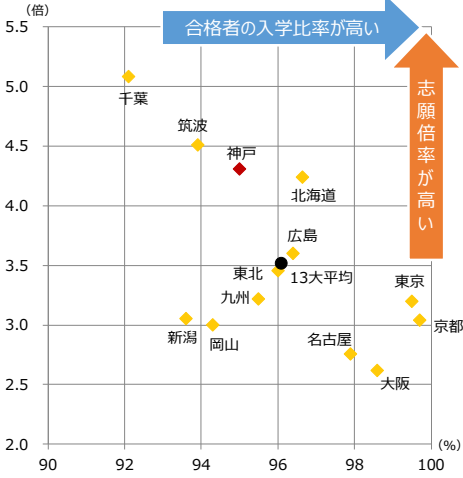
2015	前期：1,874名	後期：443名	2017	前期：1,905名	後期：417名	2019	前期：1,913名	後期：400名
2016	前期：1,869名	後期：438名	2018	前期：1,925名	後期：417名			

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

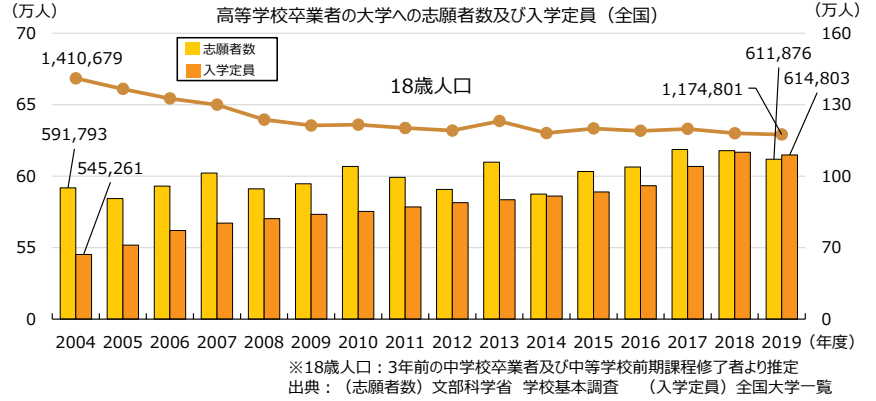
◆大規模13大学の状況（2019年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	新潟	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	13大学平均
募集人員	2,438人	1,809人	1,459人	2,086人	2,960人	1,752人	1,739人	2,636人	2,878人	2,313人	1,674人	2,020人	2,341人	2,162人
志願者数	10,341人	6,252人	6,584人	10,611人	9,483人	5,354人	4,803人	8,025人	7,536人	9,959人	5,027人	7,284人	7,548人	7,601人
志願倍率	4.2	3.5	4.5	5.1	3.2	3.1	2.8	3.0	2.6	4.3	3.0	3.6	3.2	3.5
合格者の入学率	96.6%	96.0%	93.9%	92.1%	99.5%	93.6%	97.9%	99.7%	98.6%	95.0%	94.3%	96.4%	95.5%	96.1%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和元年度国公立大学入学者選抜の志願状況，大学入試センターHP
出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2021（※北海道大学はHPの入試結果より算出）



◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）

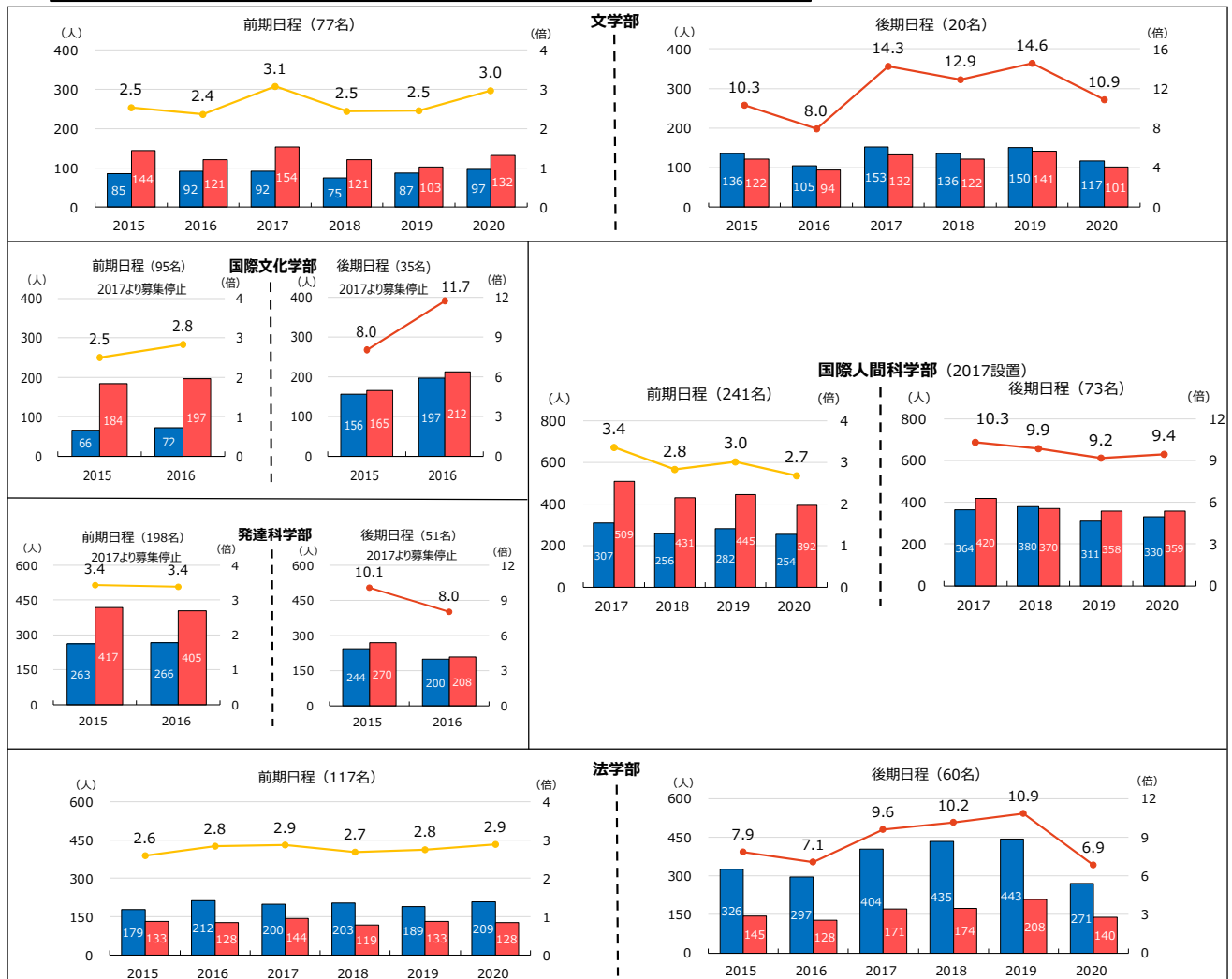


3-4 学部ごとの一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 志願倍率は各学部とも毎年上下しており、前期日程では、主に理系学部の志願倍率が低下する結果となった。
- 後期日程は、文学部、法学部の変動が大きかった。

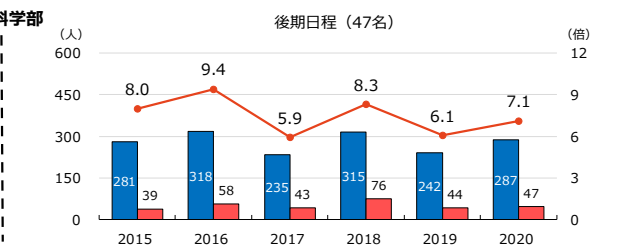
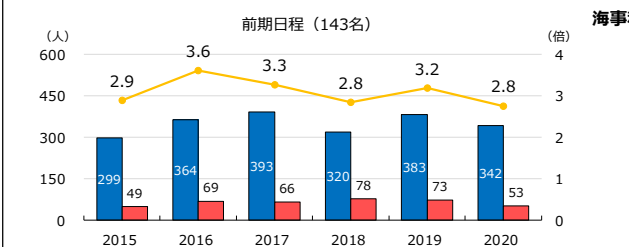
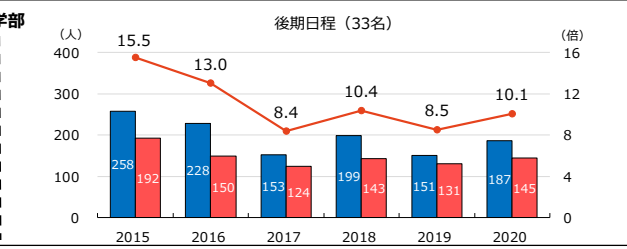
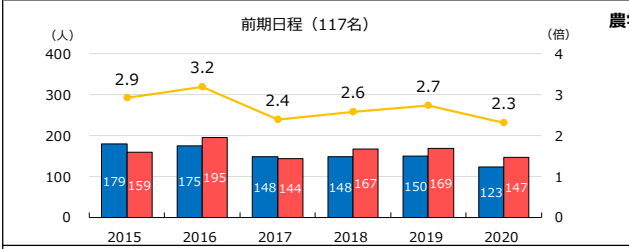
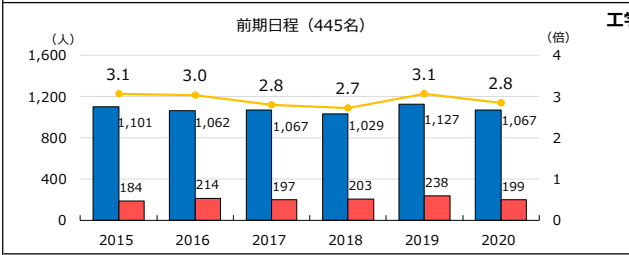
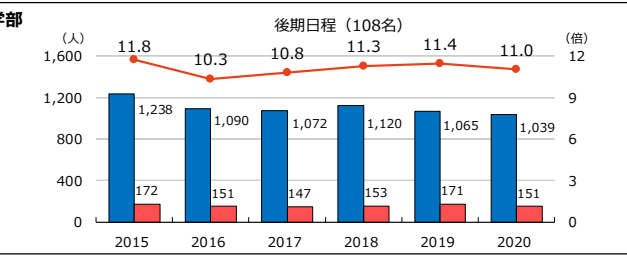
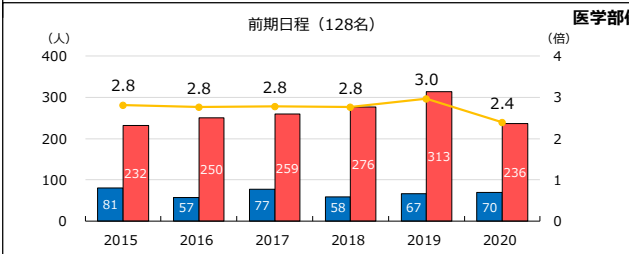
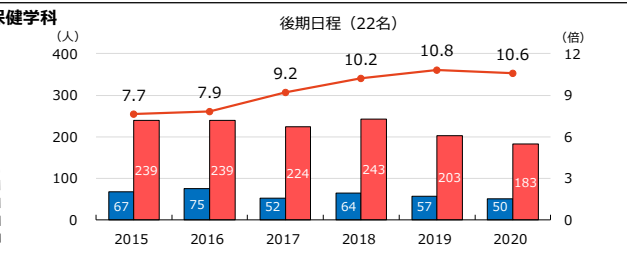
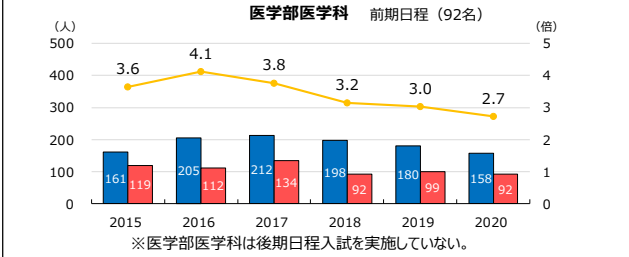
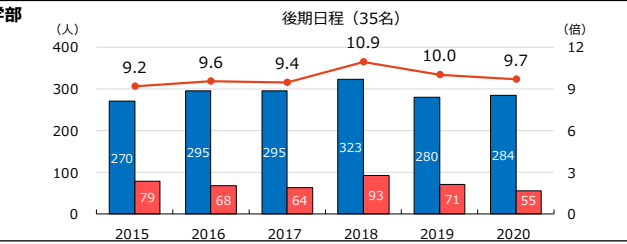
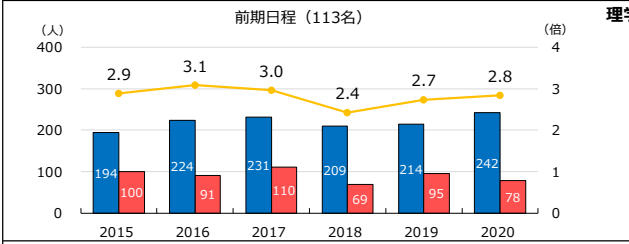
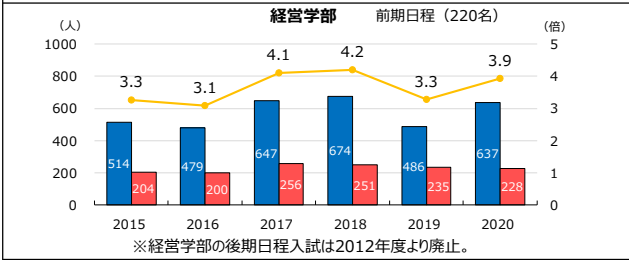
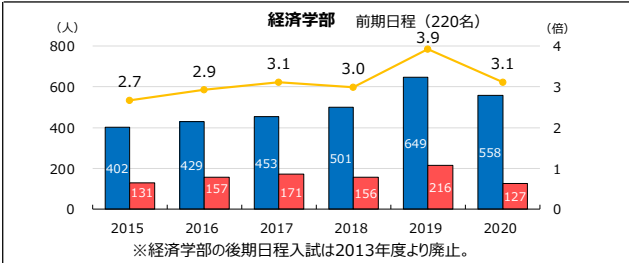
■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ● 前期志願倍率 ● 後期志願倍率

・（ ）書きは各日程の2020年度募集定員（国際文化学部、発達科学部は2016年度）



※募集定員が年度により、2020年度（国際文化学部は2016年度）と異なる学部については、以下のとおり。

- 文学部 (前) 2014~2016:90名、2017~2018:80名
(後) 2014~2016:25名
- 国際文化学部 (前) 2014~2015:100名
(後) 2014~2015:40名
- 国際人間科学部 (前) 2017~2018:243名
(後) 2017~2018:76名
- 法学部 (前) 2014~2018:120名
(後) 2014~2017:200名
- 経済学部 (前) 2014~2016:102名、2017~2018:115名
(後) 2014~2018:38名
- 理学部 (前) 2014~2016:77名
(後) 2014~2016:111名、2017~2018:121名
(後) 2014~2016:40名、2017~2018:30名、2019:24名
- 工学部 (前) 2014~2016:420名、2017~2018:452名
(後) 2014~2016:120名、2017~2018:113名
- 農学部 (前) 2014~2016:116名、2017~2018:122名
(後) 2014~2016:29名
- 海事科学部 (前) 2014~2016:120名、2017~2018:140名
(後) 2014~2016:40名

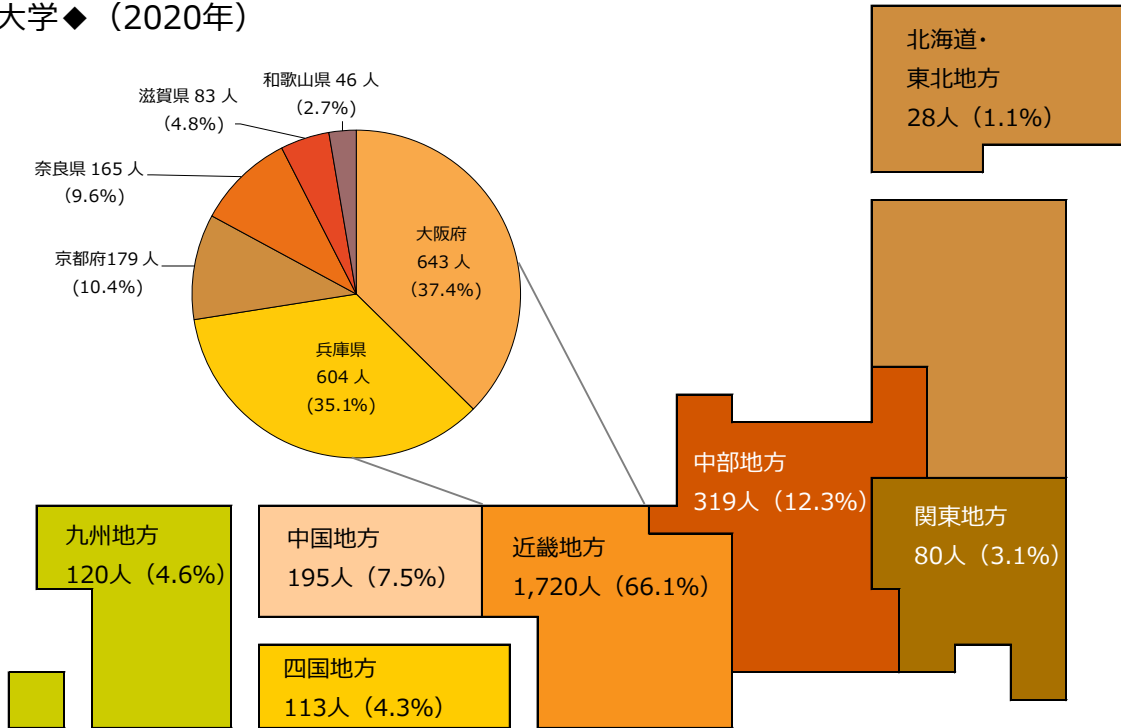


4. 入学状況 - 学部 -

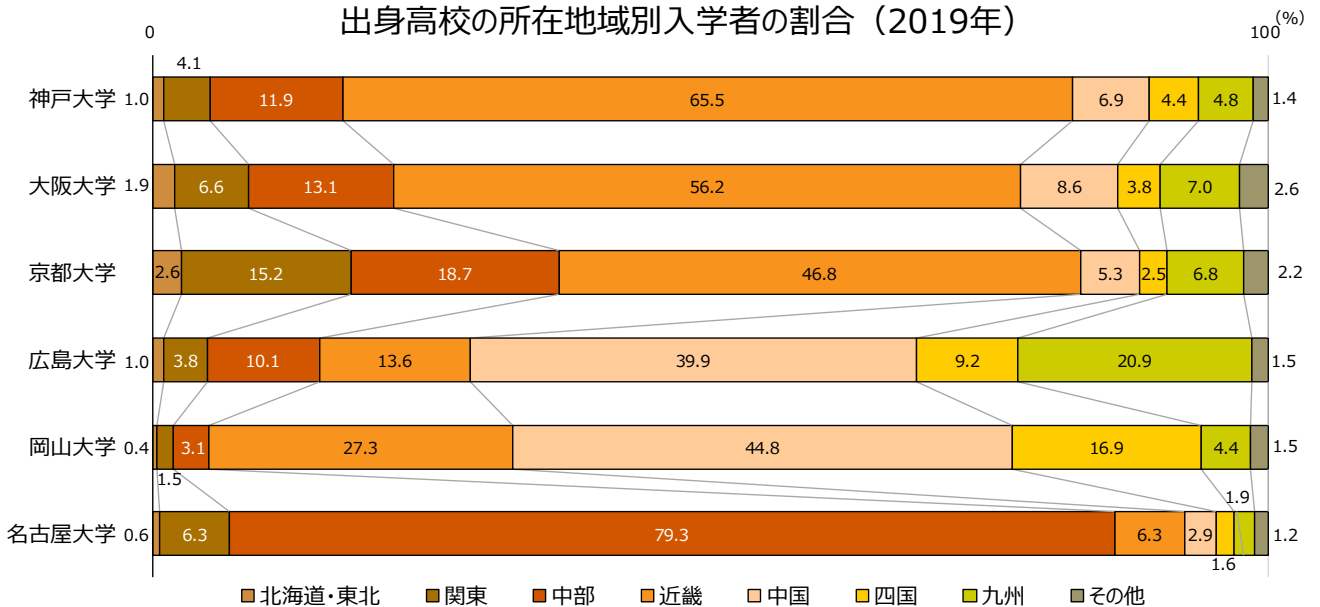
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、うち7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆ (2020年)



出身高校の所在地域別入学者の割合 (2019年)



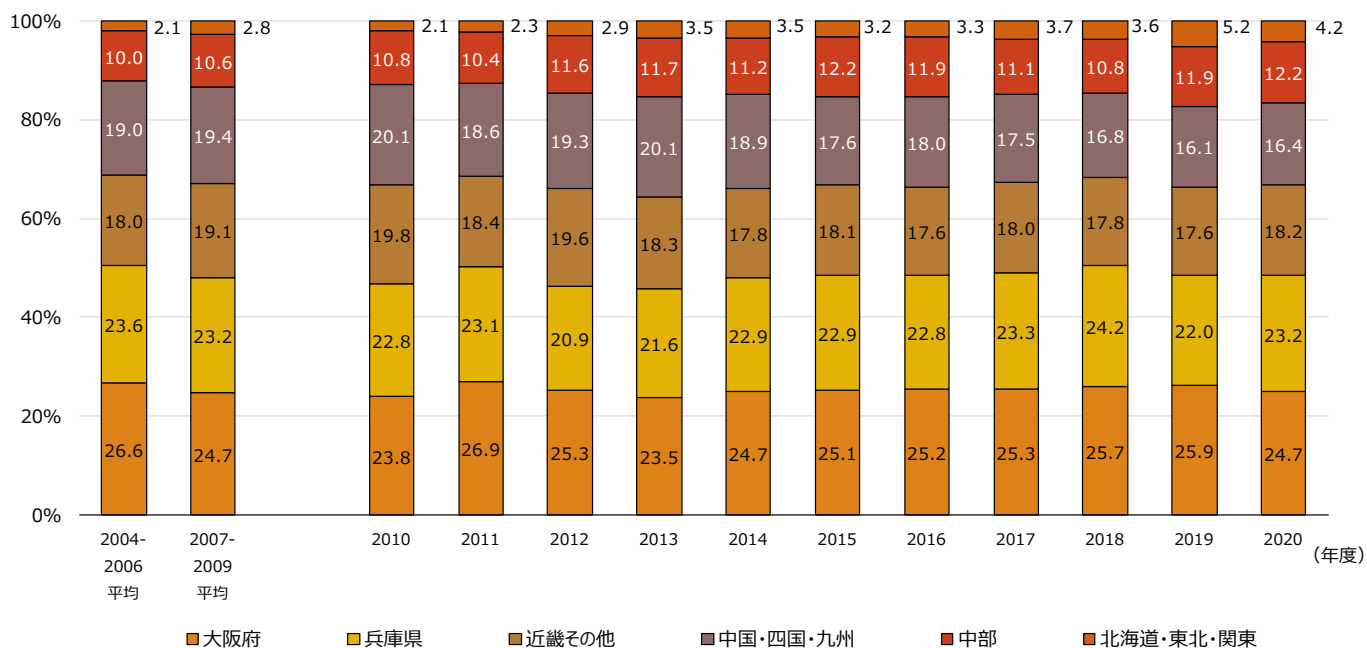
- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

◆神戸大学◆

出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

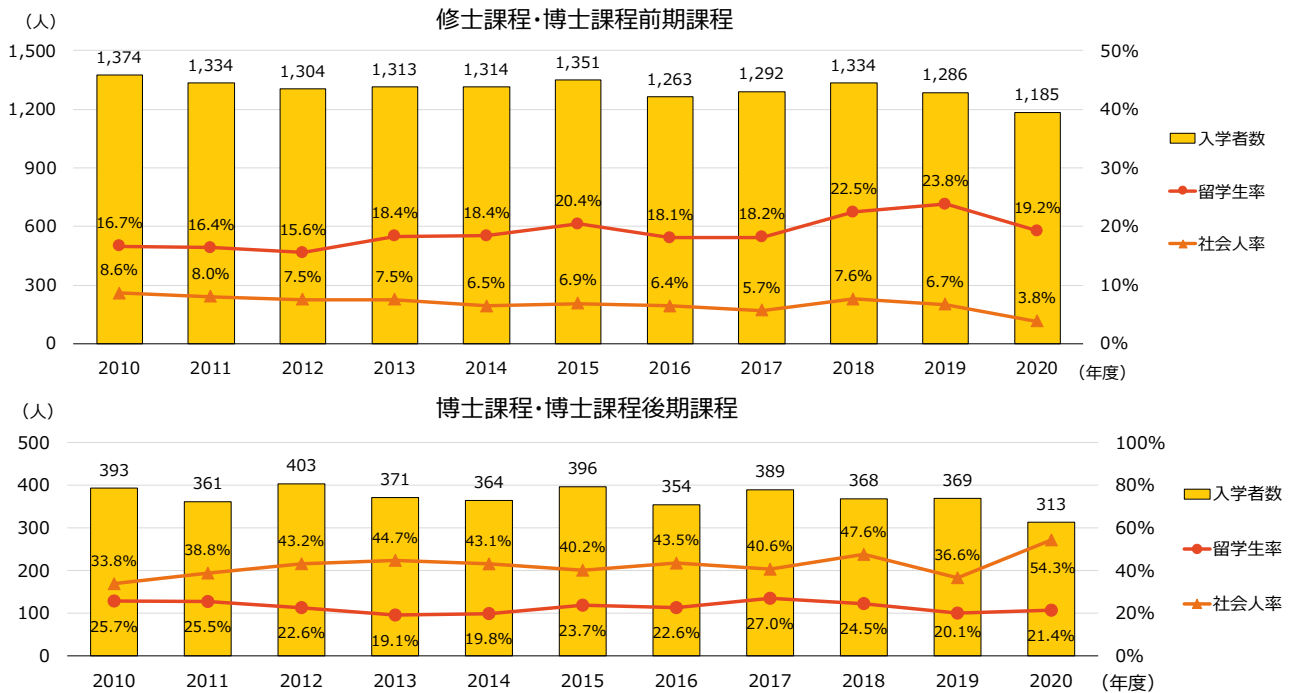


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

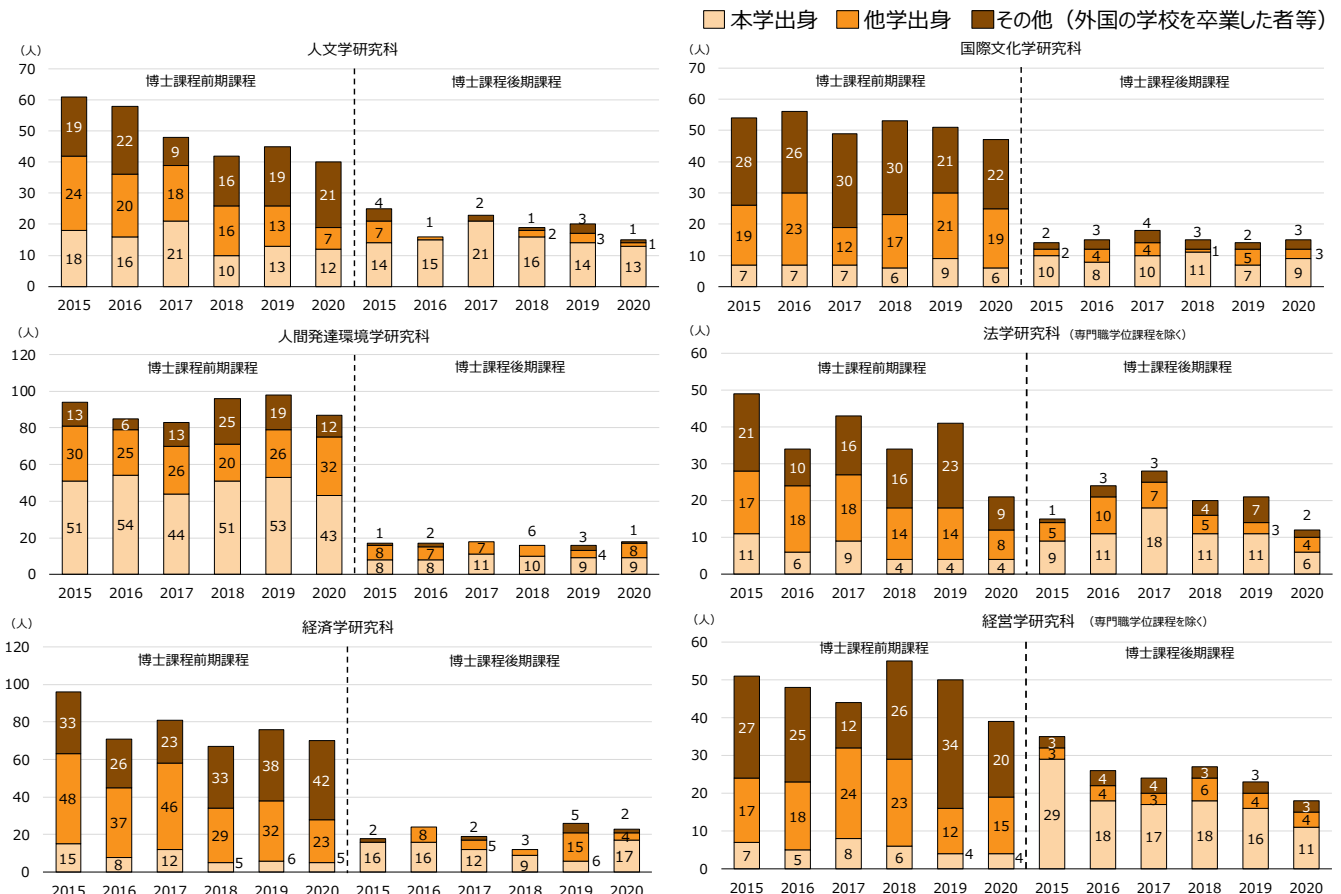
◆神戸大学◆ ※2010～2019年度は春入学者及び秋入学者、2020年度は春入学者のみを計上している。



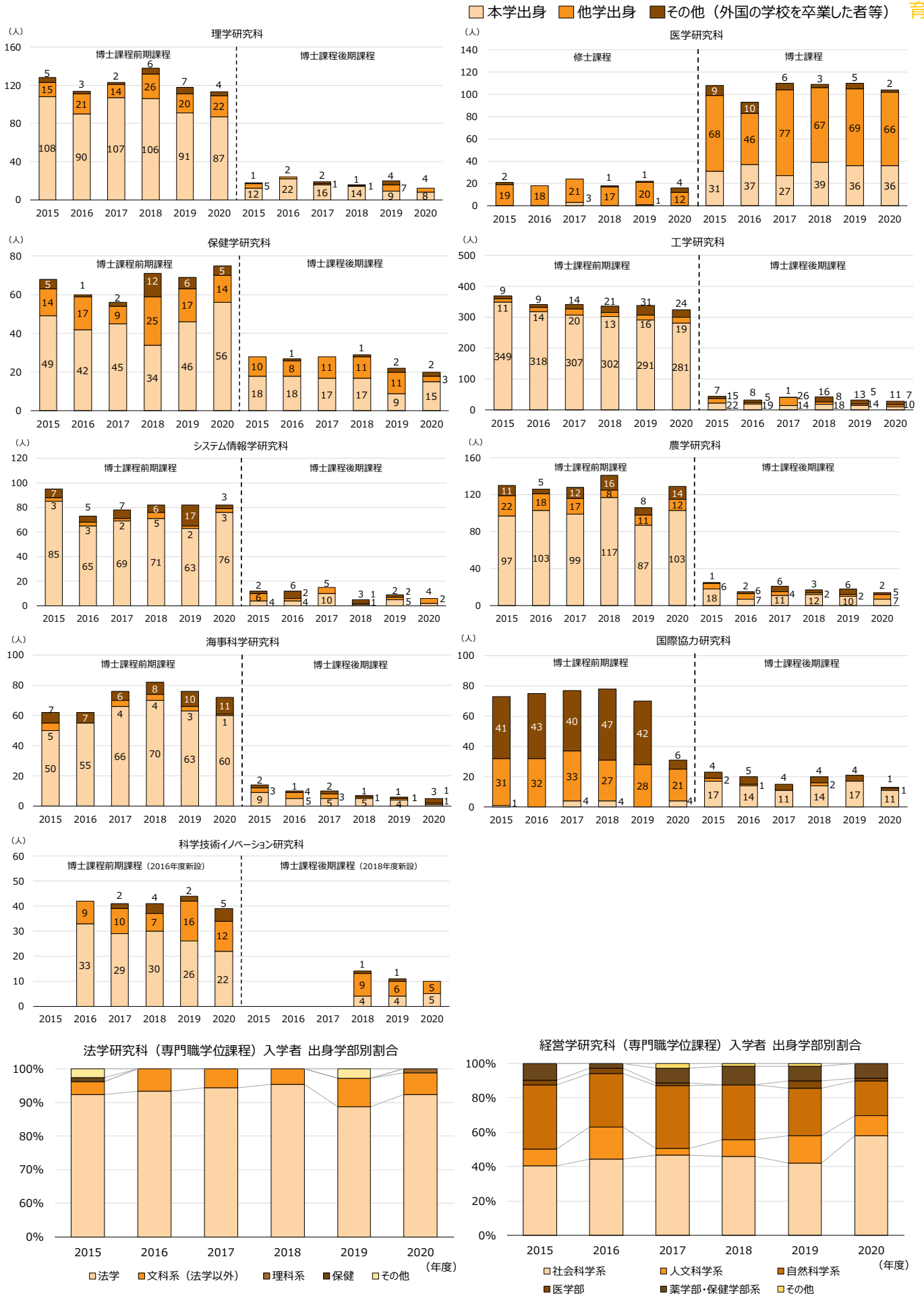
5-2 大学院入学状況 — 研究科別・出身大学別 —

○ 自然科学系の研究科においては、博士課程前期課程に本学出身の学生がそのまま進学するケースが多いが、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科においては、多くの他学出身者が入学している傾向が見られる。

◆神戸大学◆ ※2015～2019年度は春入学者及び秋入学者、2020年度は春入学者のみを計上している。

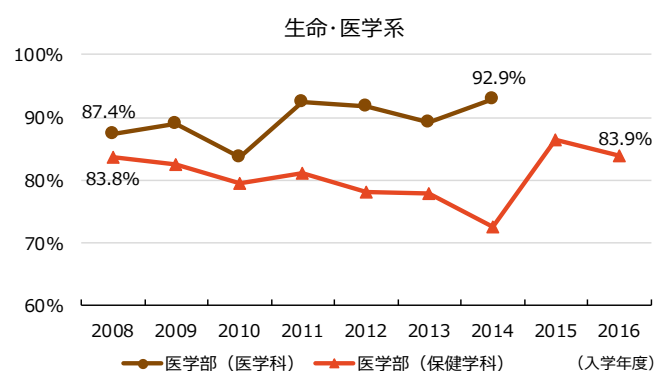
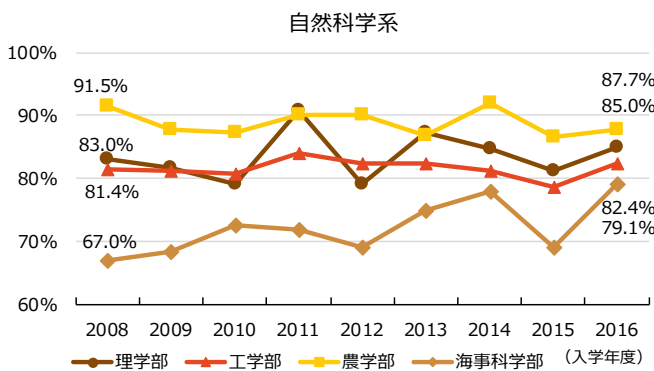
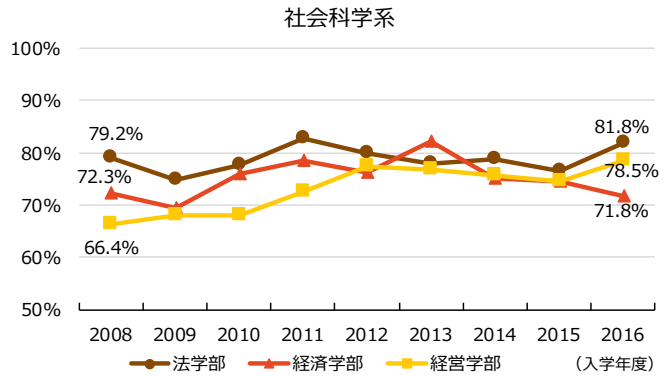
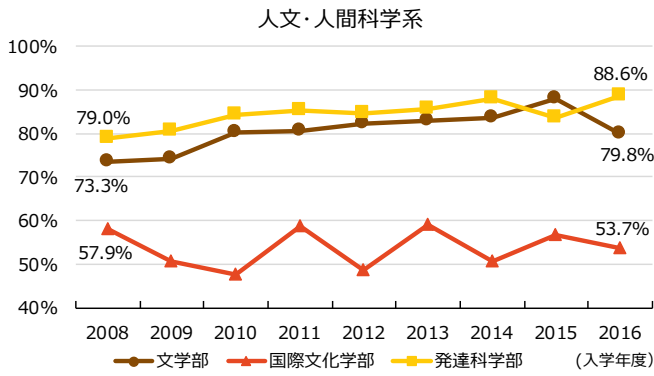


※2015～2019年度は春入学者及び秋入学者、2020年度は春入学者のみを計上している。



6. 学位授与状況 — 授与率 —

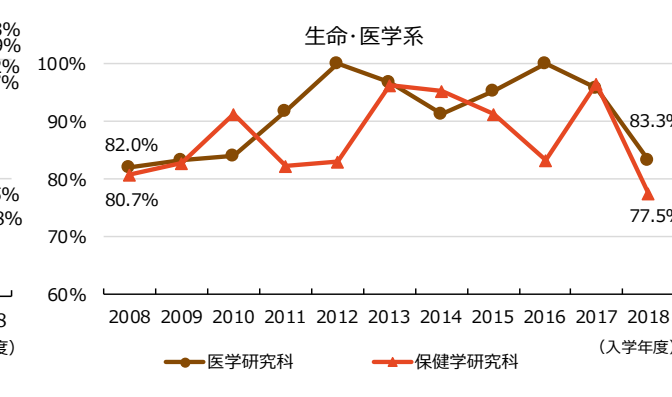
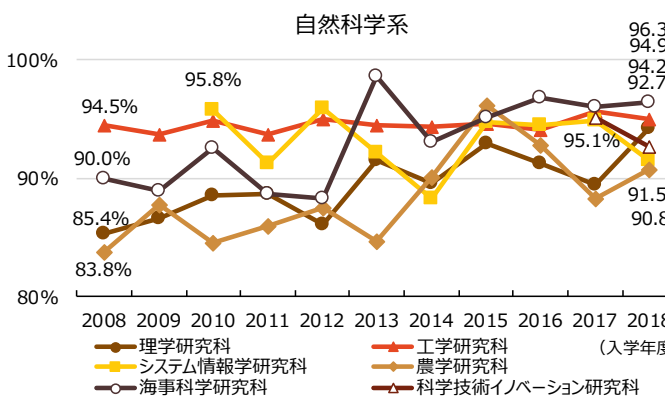
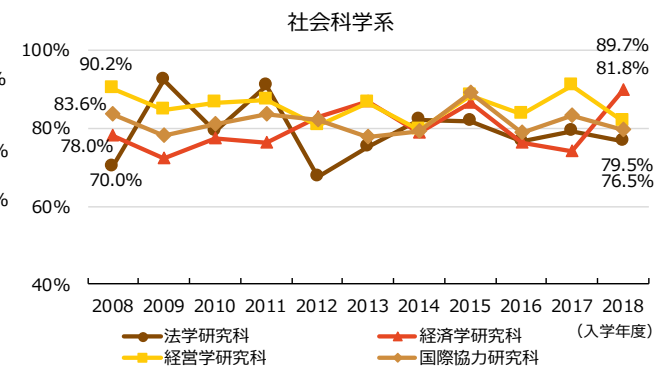
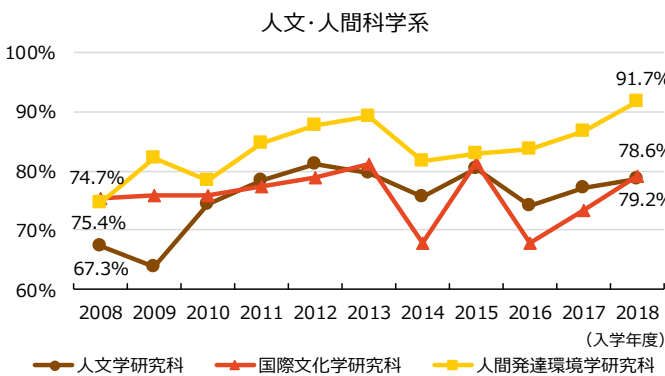
◆ 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）



※医学部（医学科）は6年制のため2015,2016年度入学の学位取得者はいない。

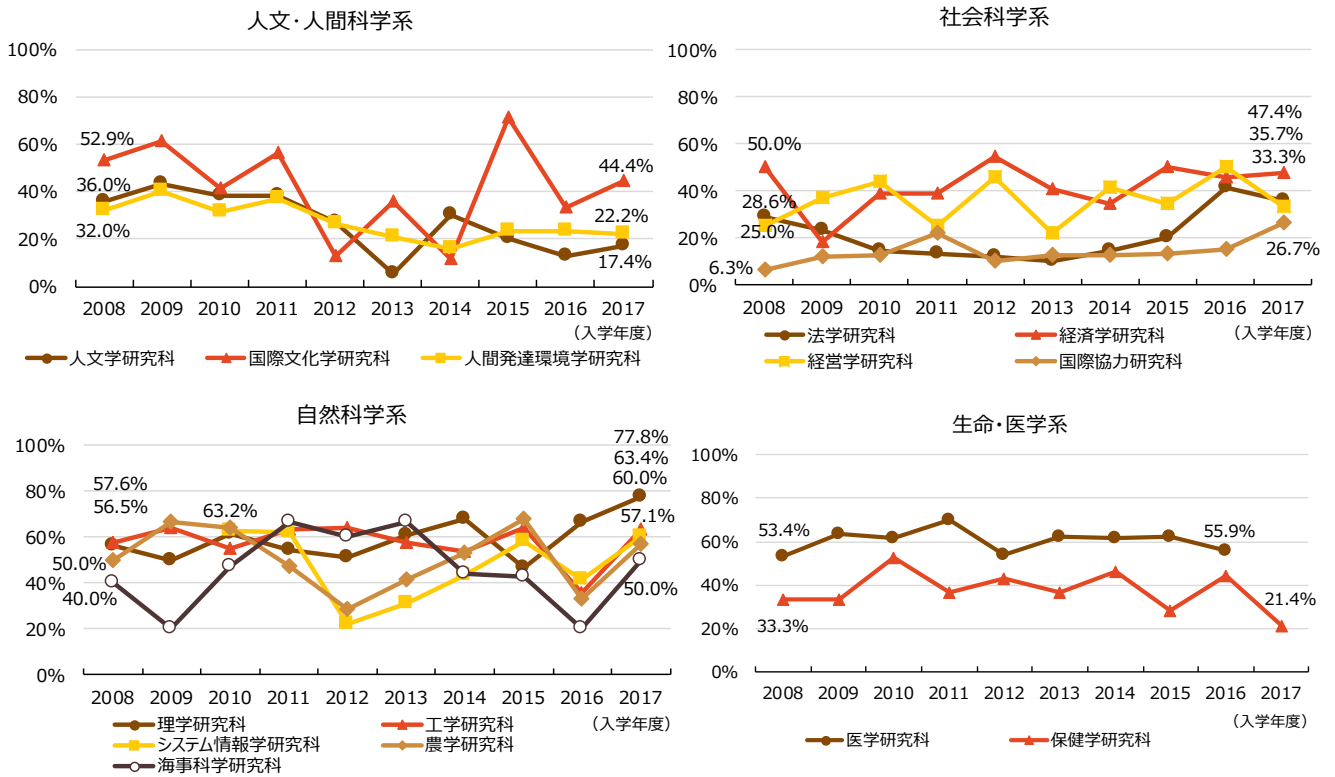
◆ 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率 = 修了者数 / 入学者数（秋入学者を含む）

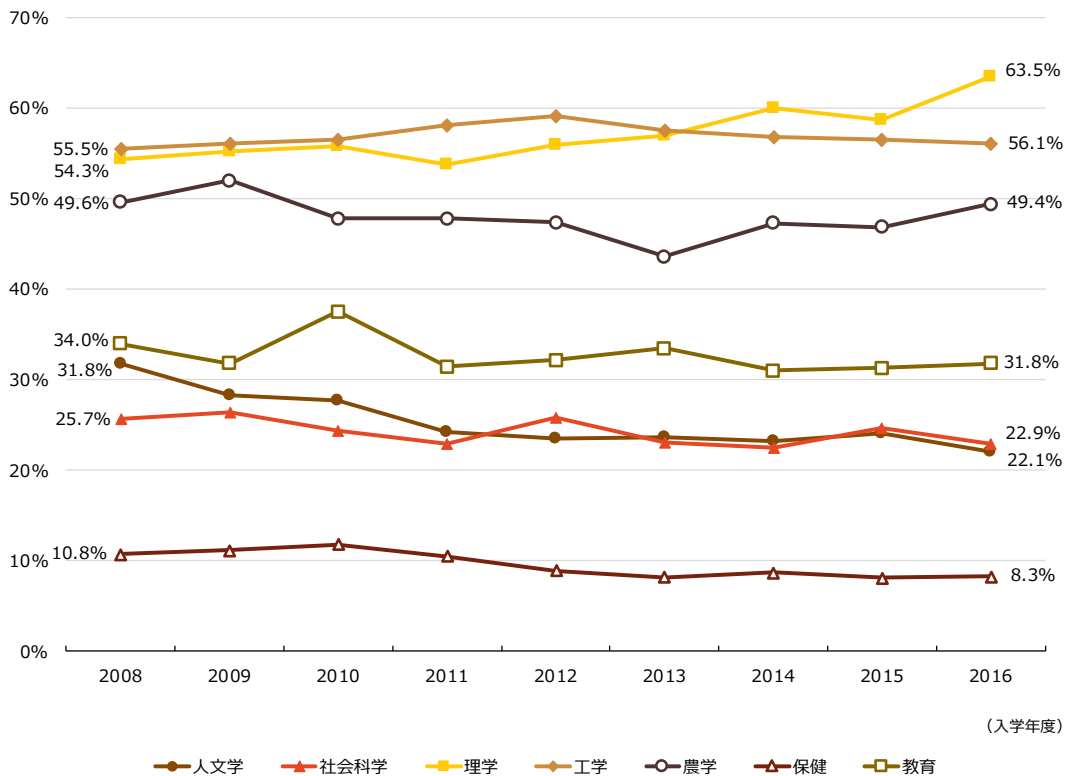


◆博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数（秋入学者を含む）



◆全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査
博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業生数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

7. 進路・就職状況

7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 臨床研修医
 その他

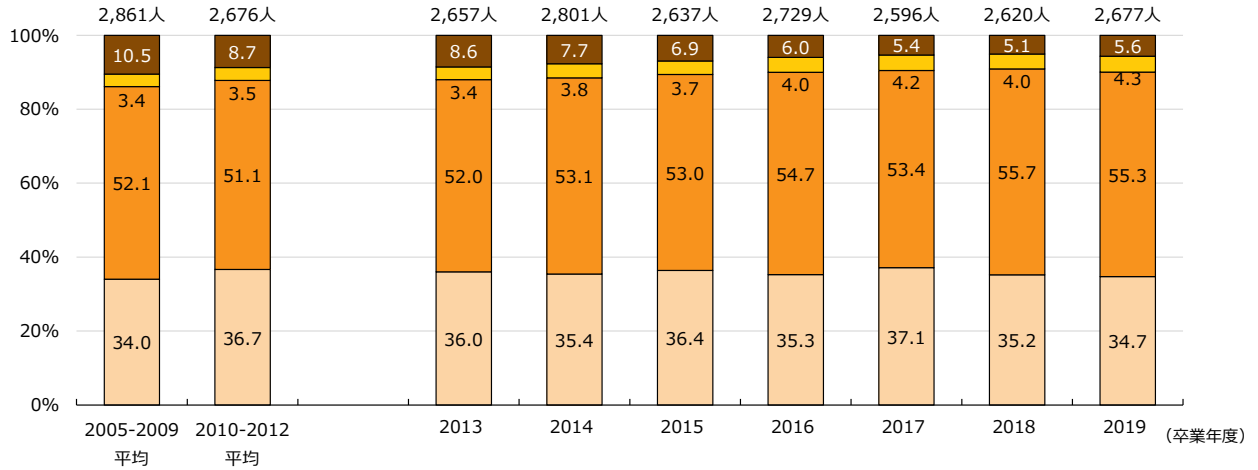
※2012年度以前は、第一期（2004～2009、データは2005から収集）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

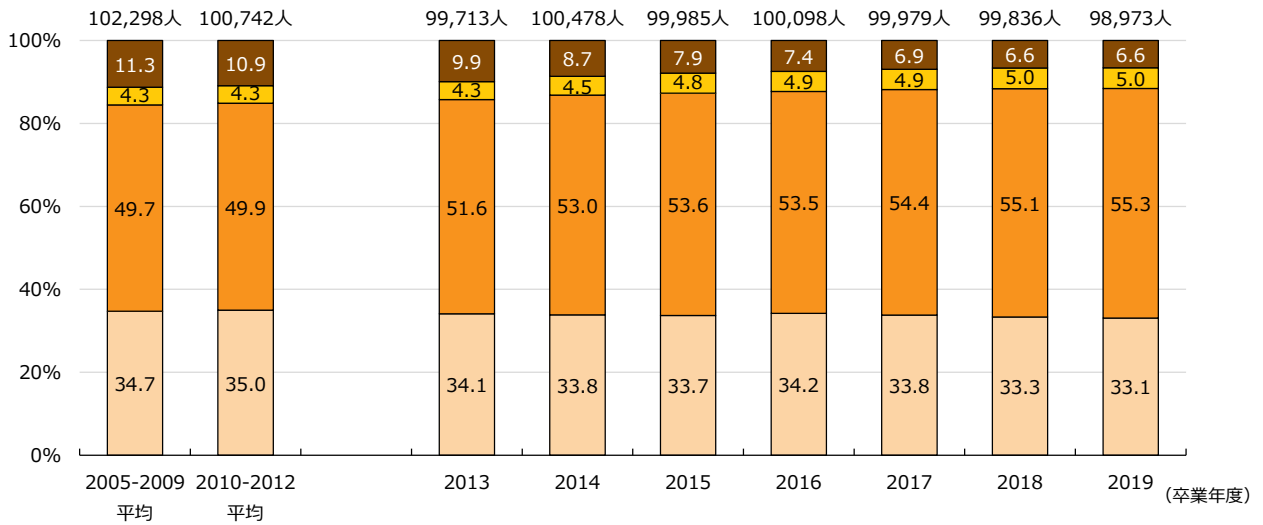
※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

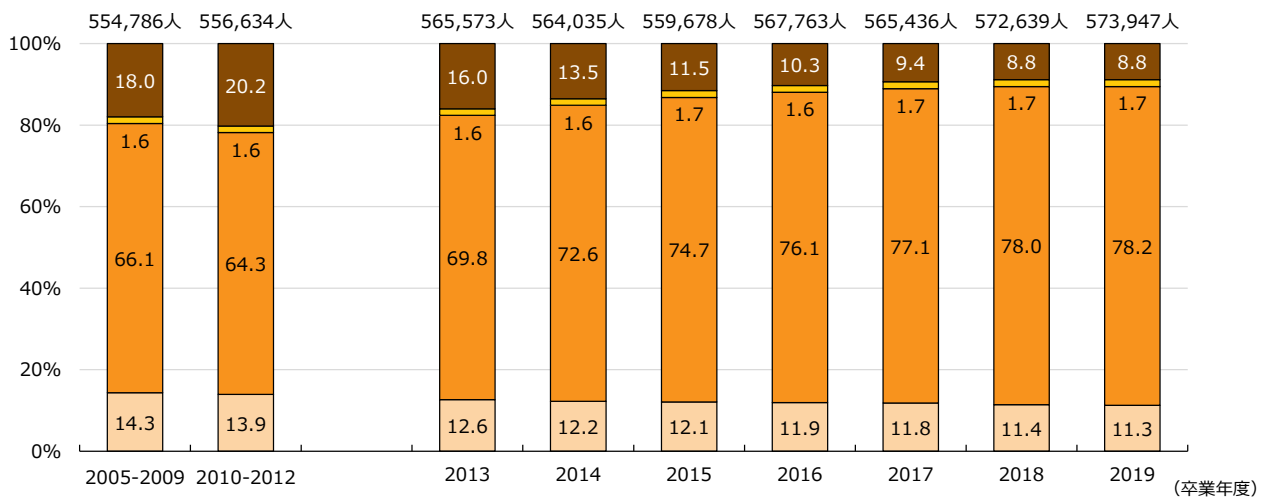
神戸大学



国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

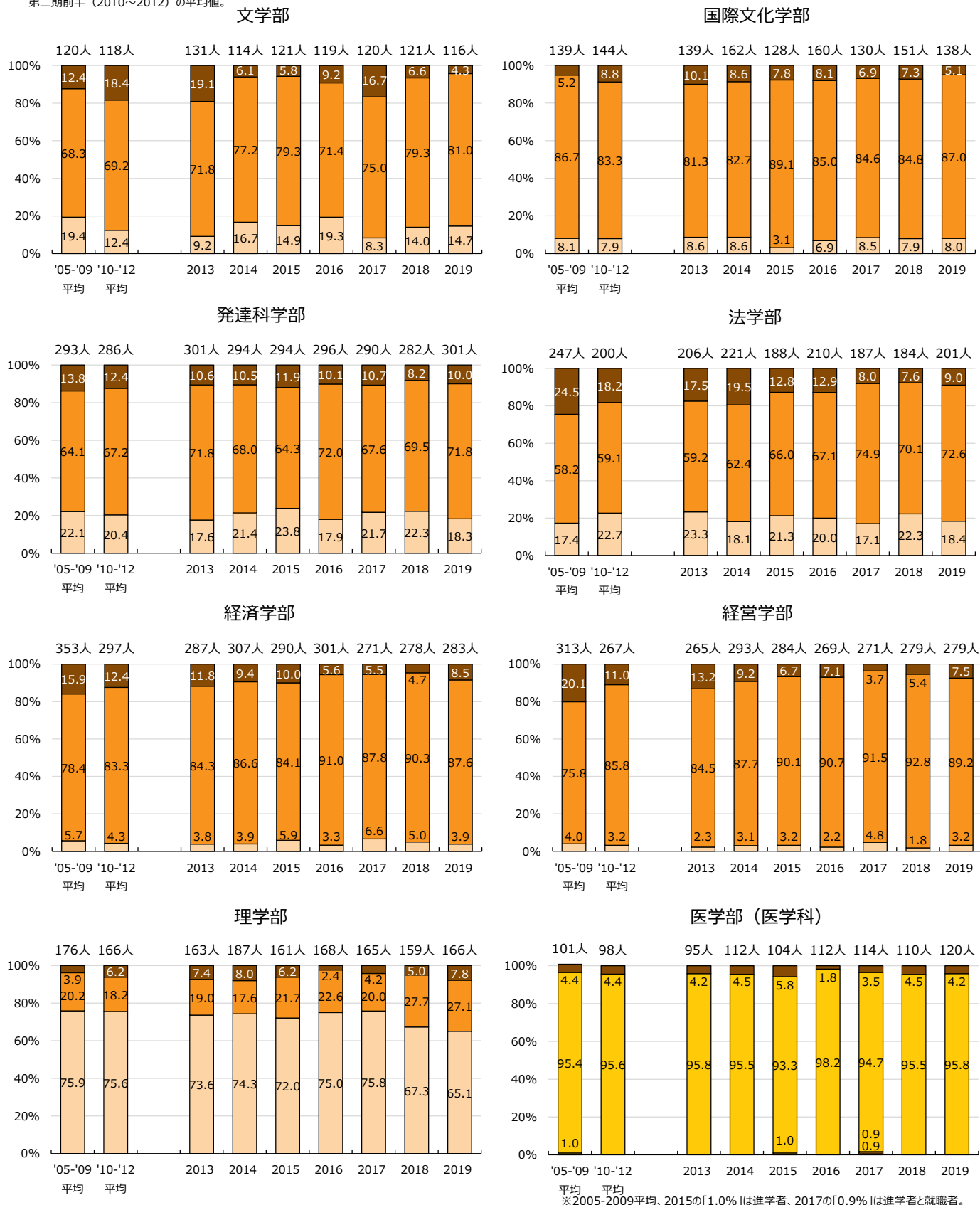
7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

- 文科系学部においては就職する学生の割合が高く、理科系学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- 2005～2009年度の平均と比較すると、文学部、発達科学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部では就職者の割合が上昇し、医学部保健学科では進学者の割合が上昇している。

◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

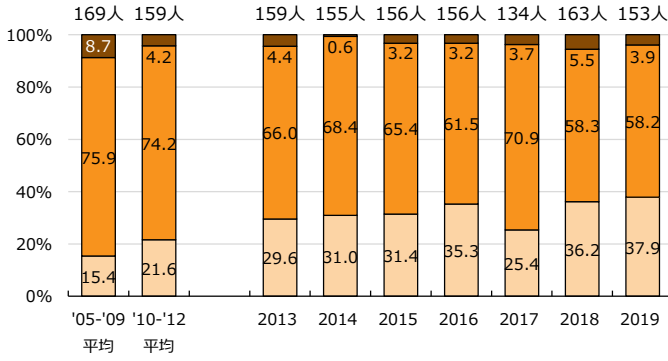
※2012年度以前は、第一期（2004～2009、データは2005から収集）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

□ 進学者 □ 就職者 □ 臨床研修医 ■ その他

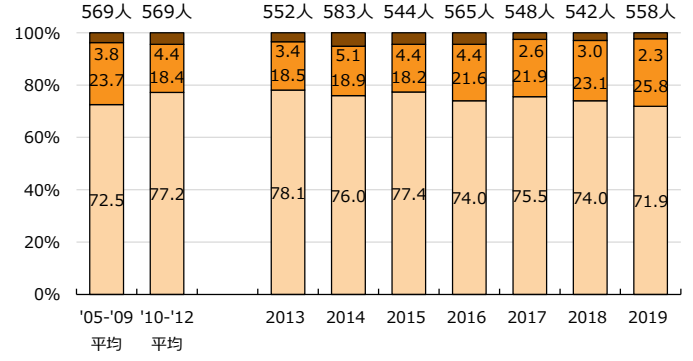


※2005-2009平均、2015の「1.0%」は進学者、2017の「0.9%」は進学者と就職者。

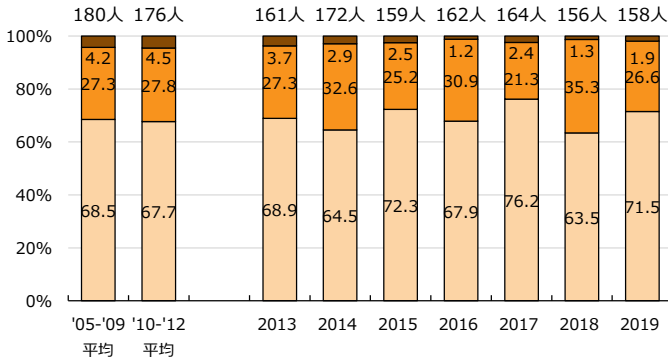
医学部（保健学科）



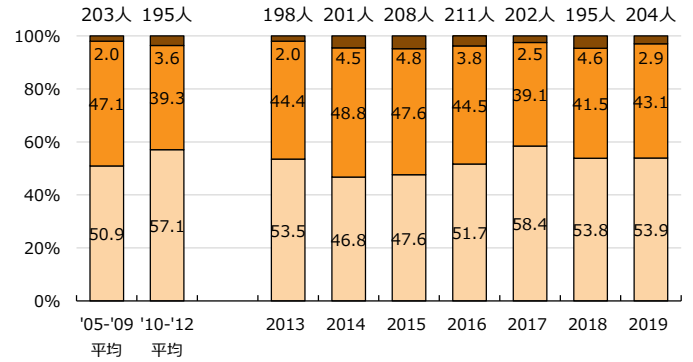
工学部



農学部



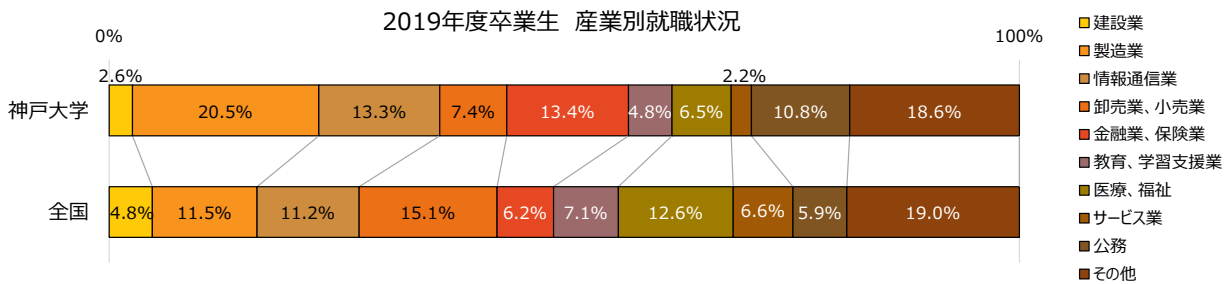
海事科学部



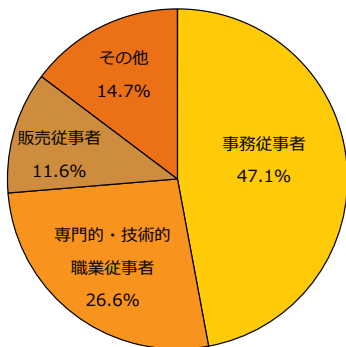
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

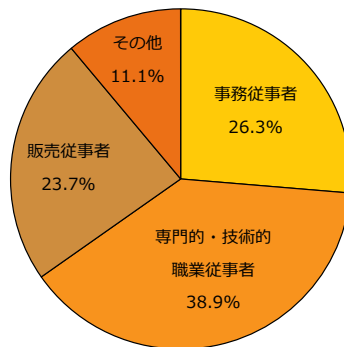
○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「金融業、保険業」、「公務」に、職業別では「事務従事者」にそれぞれ就職している割合が高い。



職業別（神戸大学）



職業別（全国）



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 その他

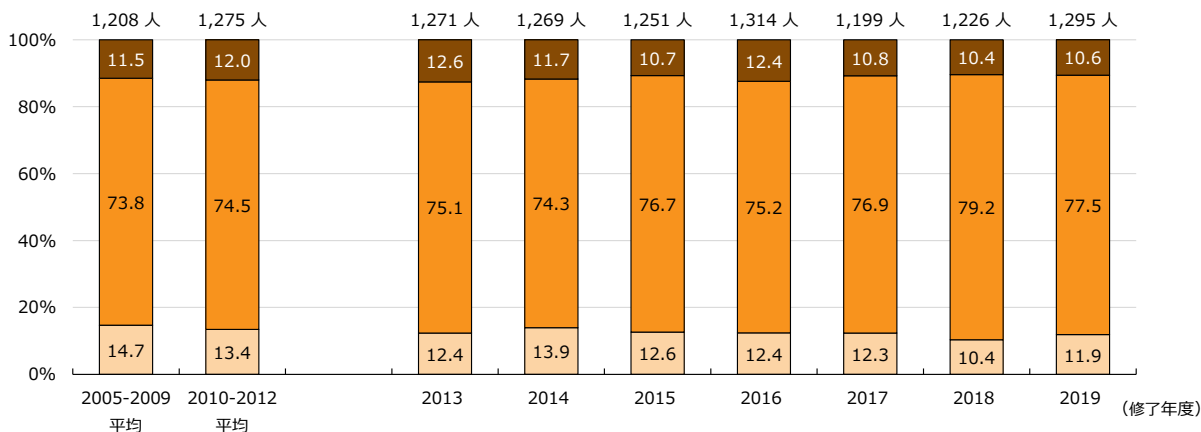
※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

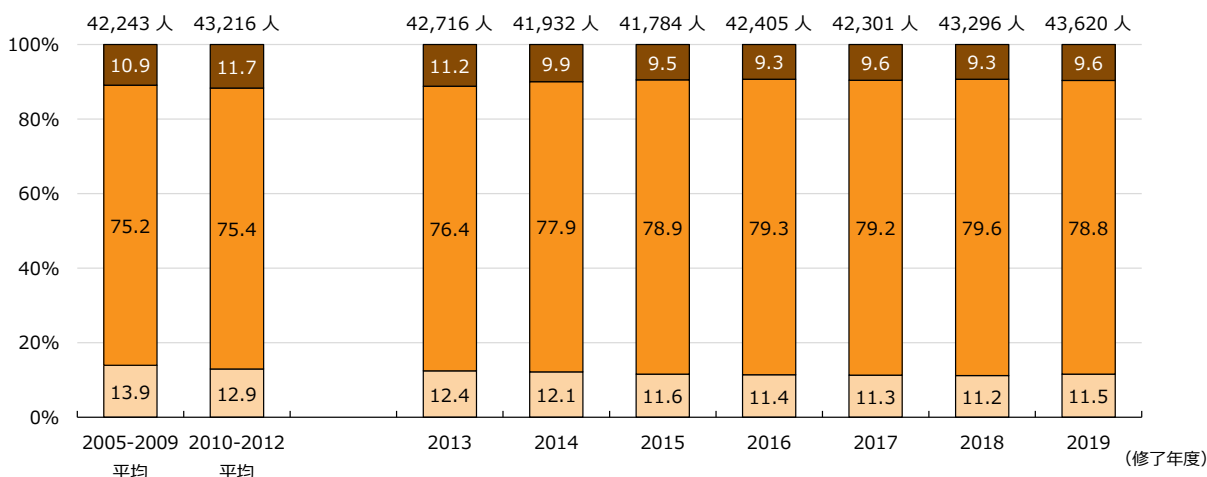
※2012年度以前は、第一期（2004～2009、データは2005から収集）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

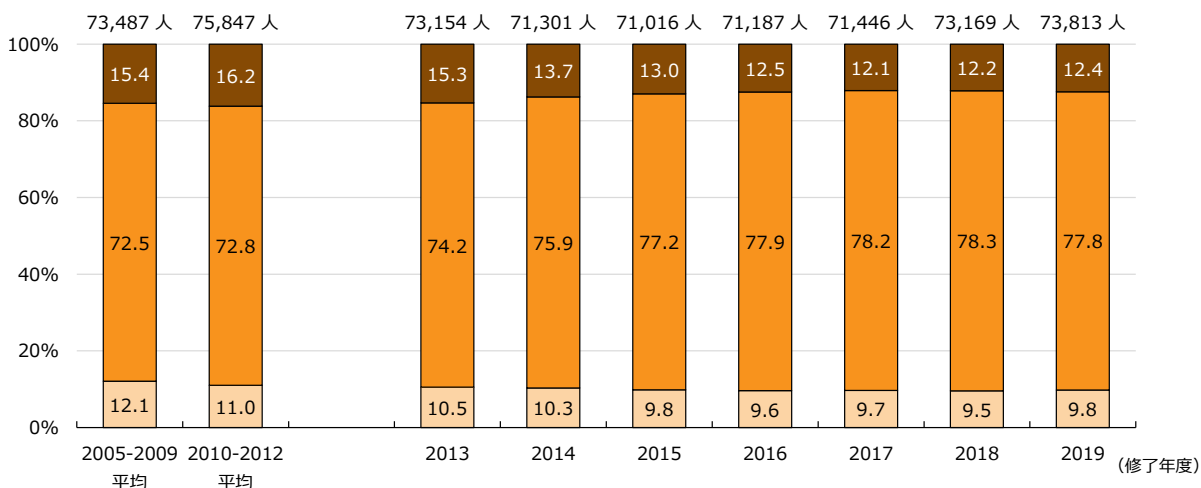


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

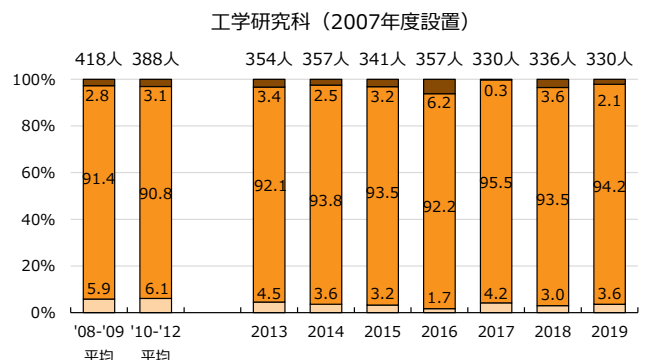
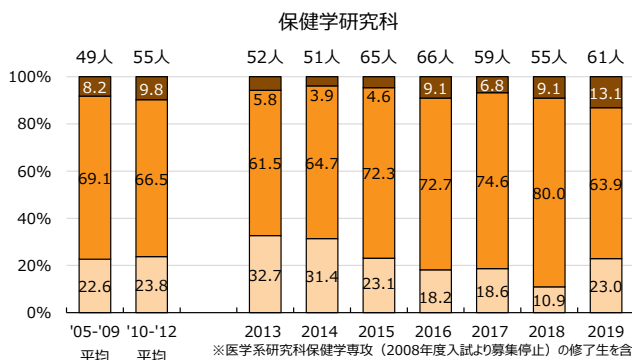
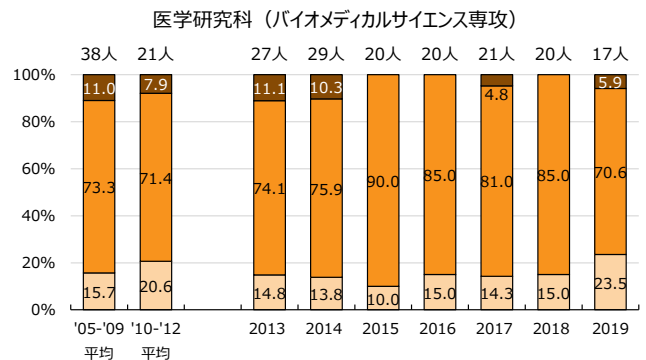
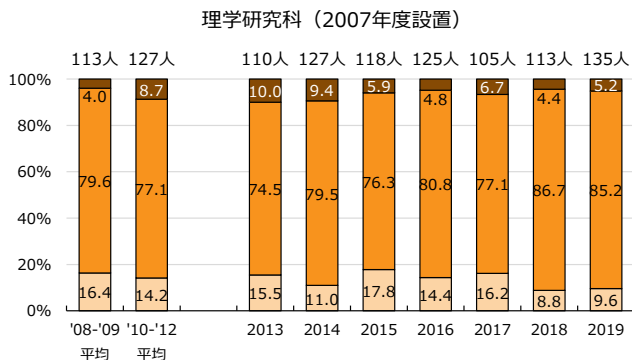
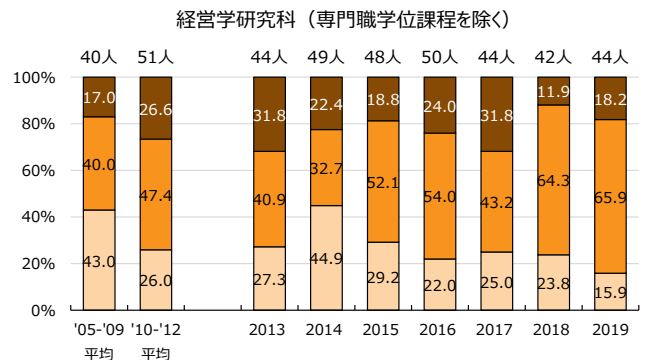
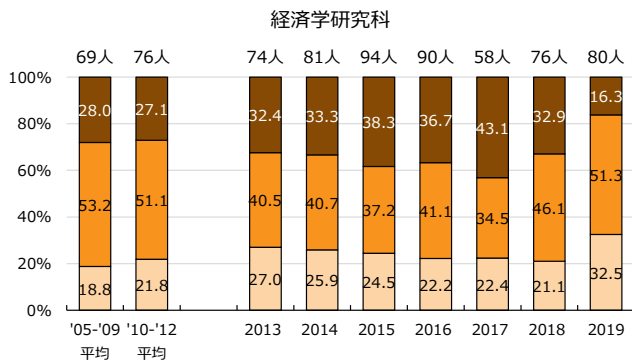
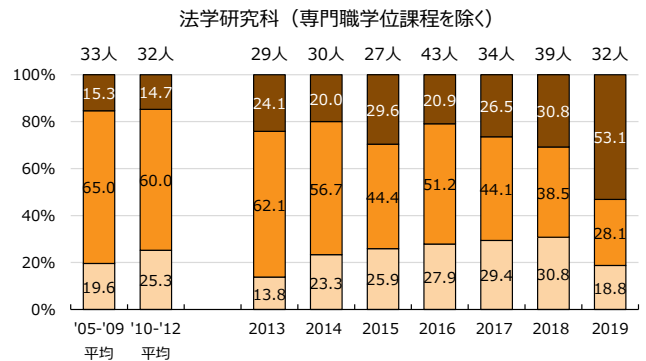
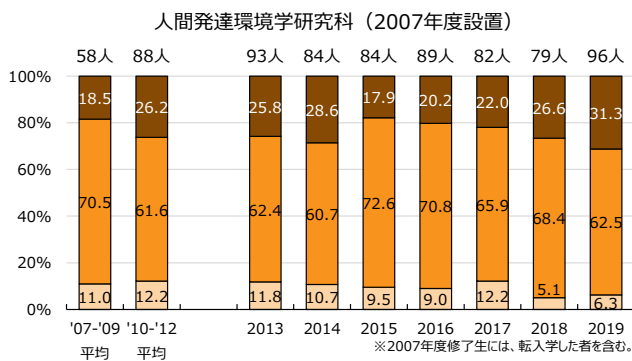
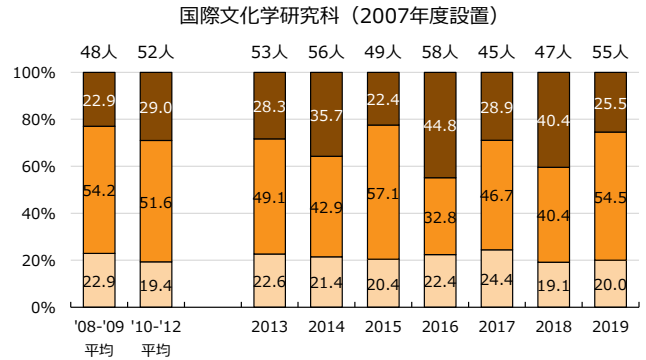
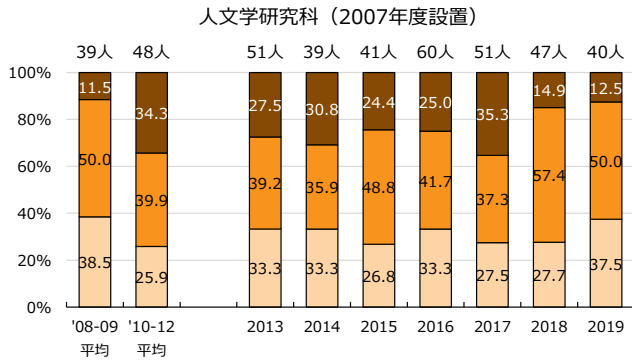
7-5 修士課程・博士課程前期課程修了生の研究科別進路・就職状況

○ 文科系研究科において進学率が比較的高く、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられる。

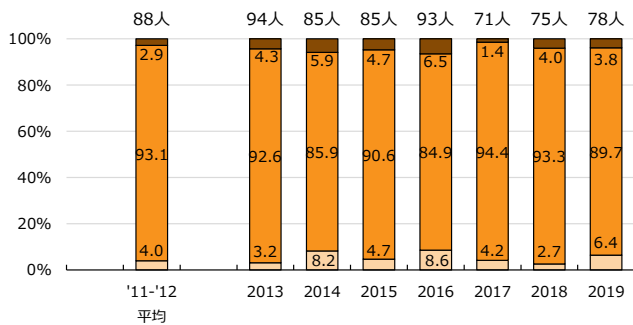
◆神戸大学◆（修士課程・博士課程前期課程 修了年度）

※2012年度以前は、第一期（2004～2009、データは2005から収集）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

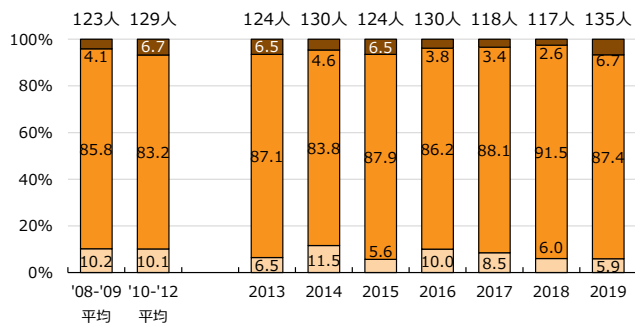
進学者 就職者 その他



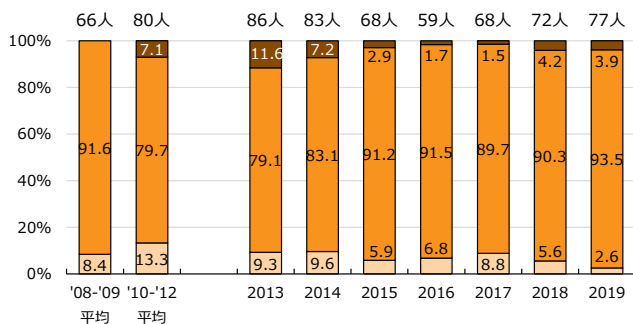
システム情報学研究科（2010年度設置）



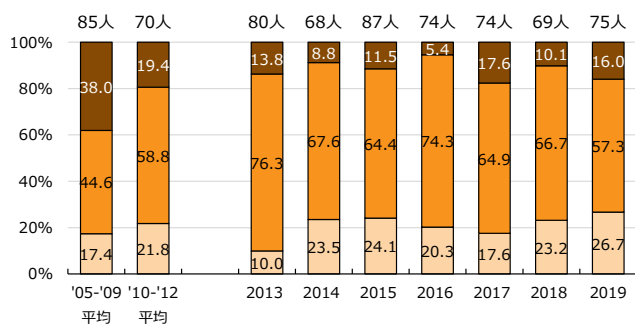
農学研究科（2007年度設置）



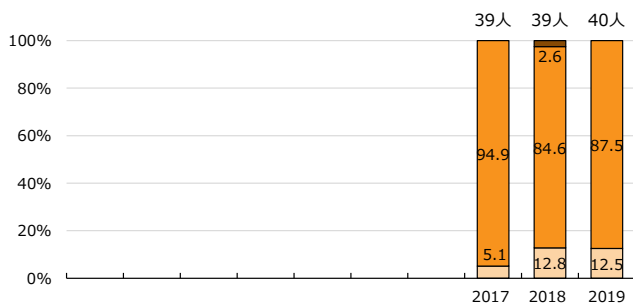
海事科学研究科（2007年度設置）



国際協力研究科



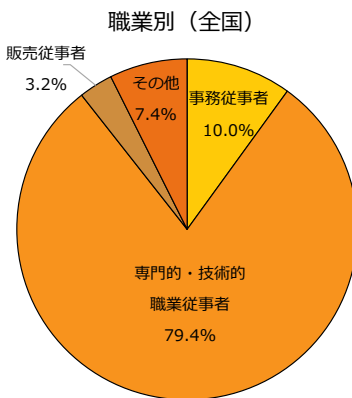
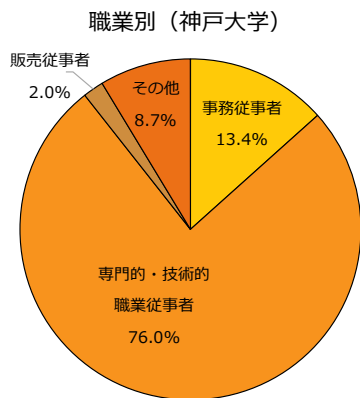
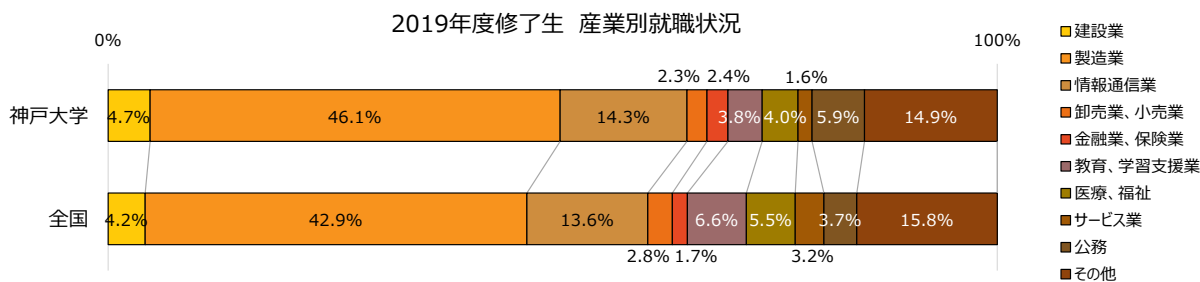
科学技術イノベーション研究科（2016年度設置）



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

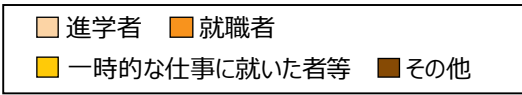
○ 産業別、職業別ともに概ね全国における傾向と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

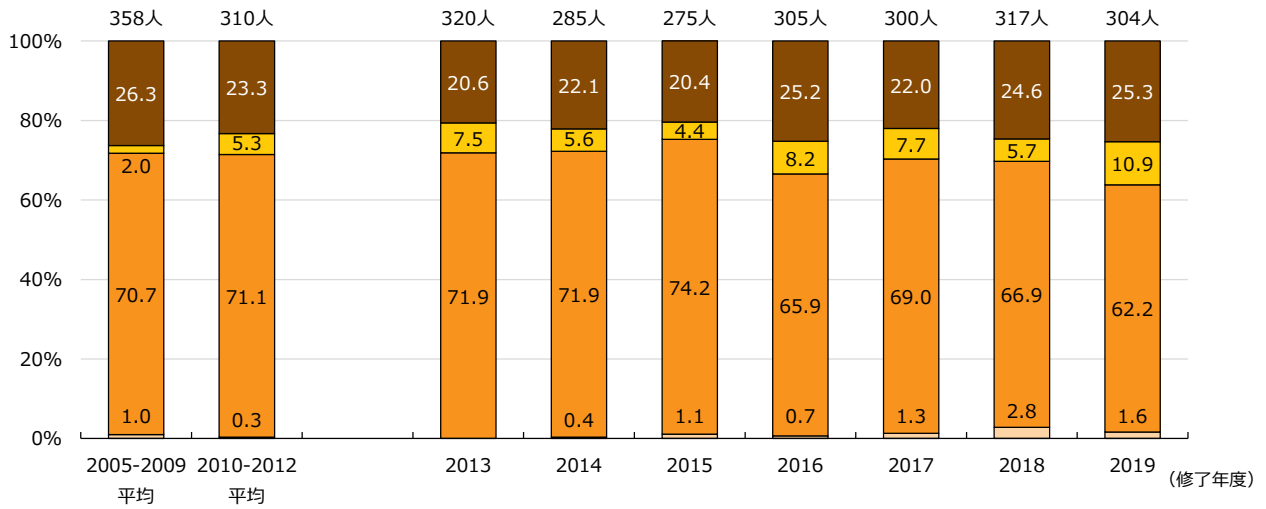
7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況



※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」には「臨床研修医」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

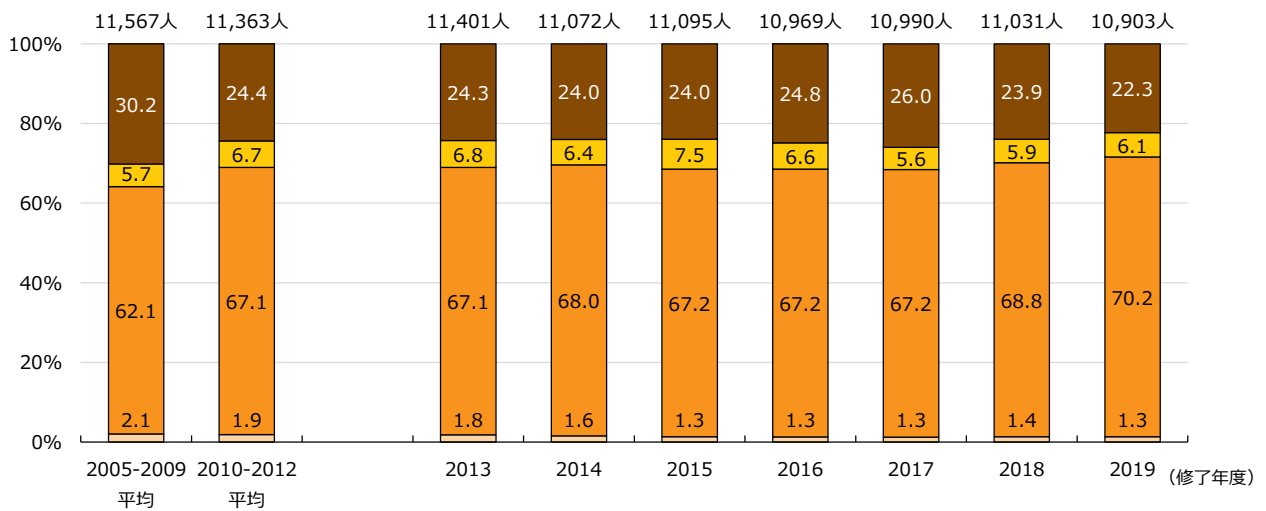
※2012年度以前は、第一期（2004～2009、データは2005から収集）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

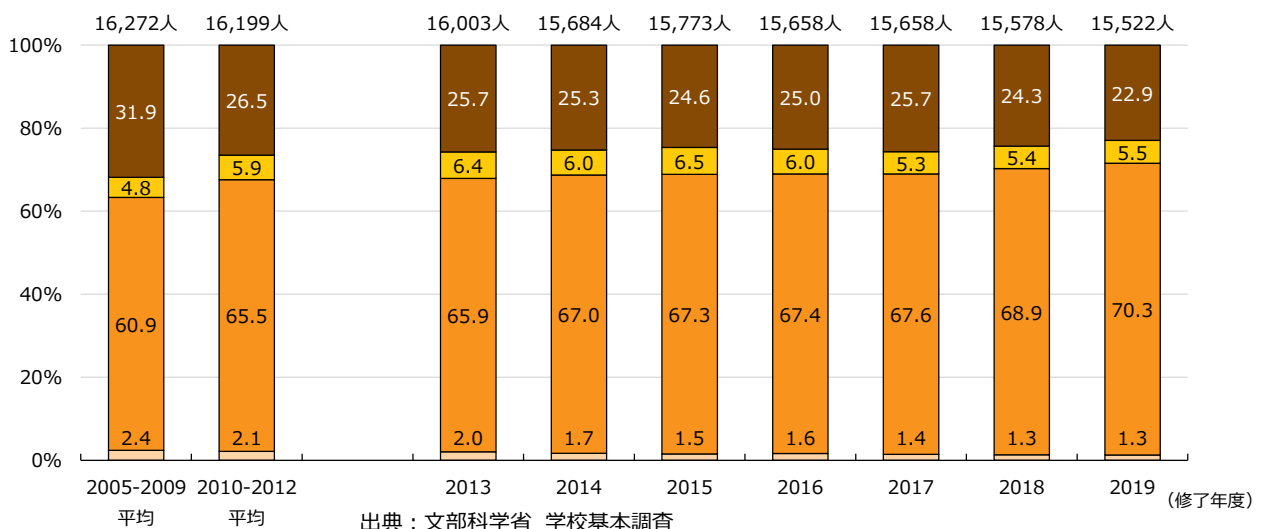


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

国立大



全国



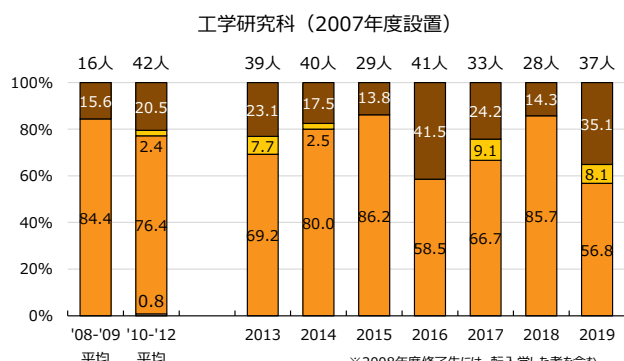
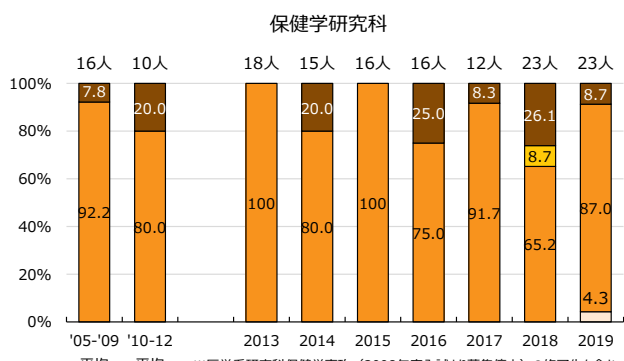
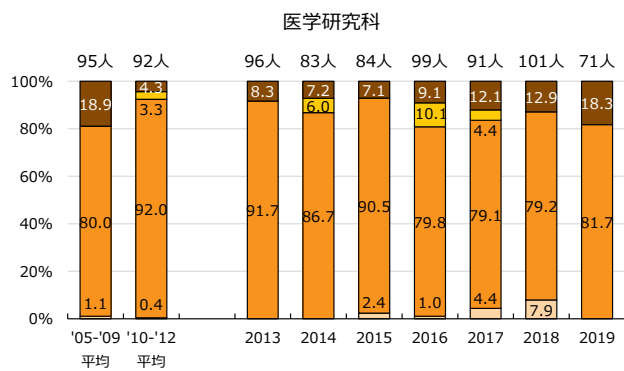
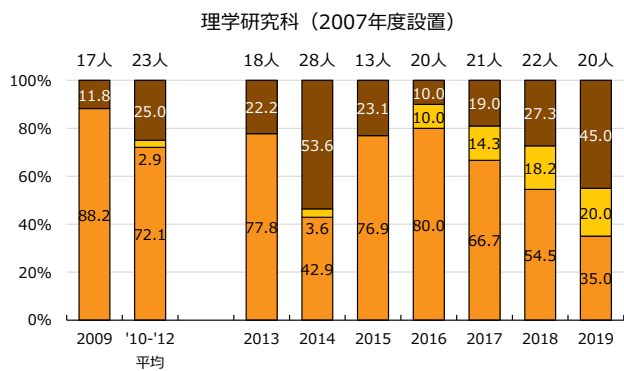
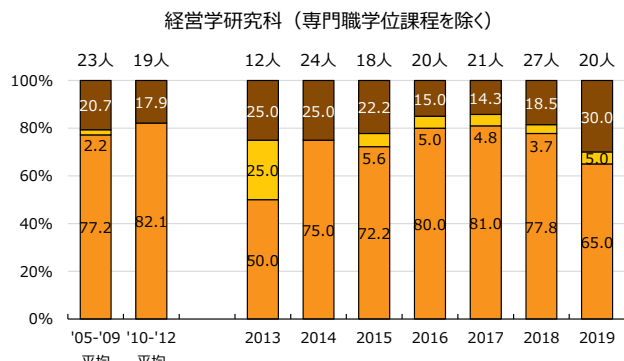
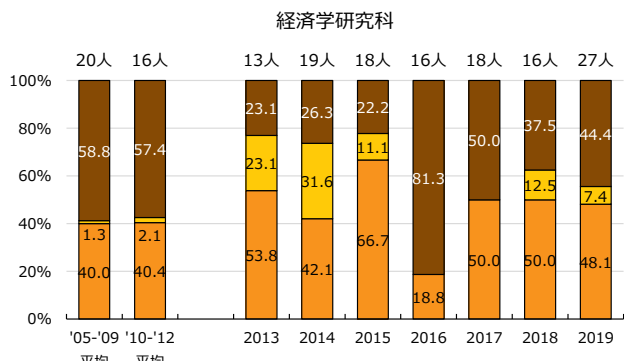
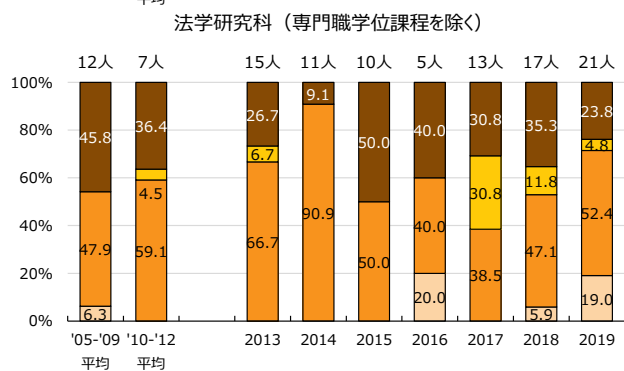
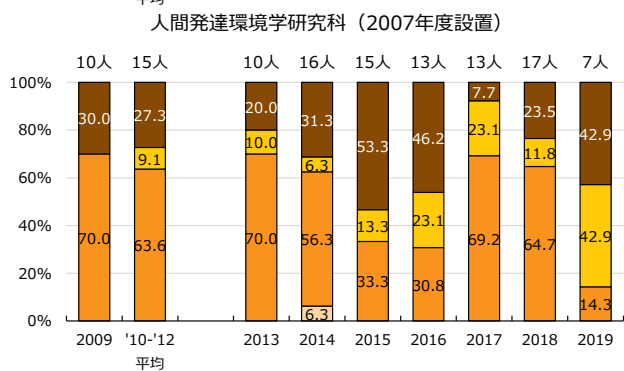
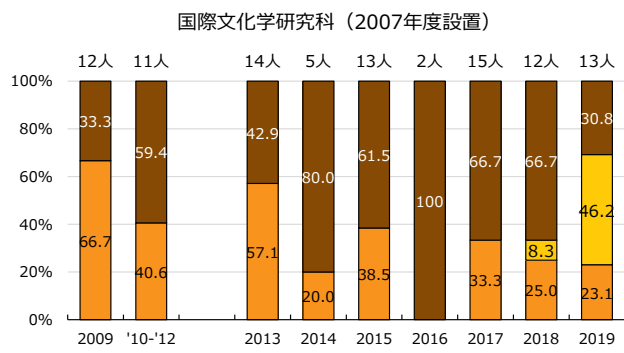
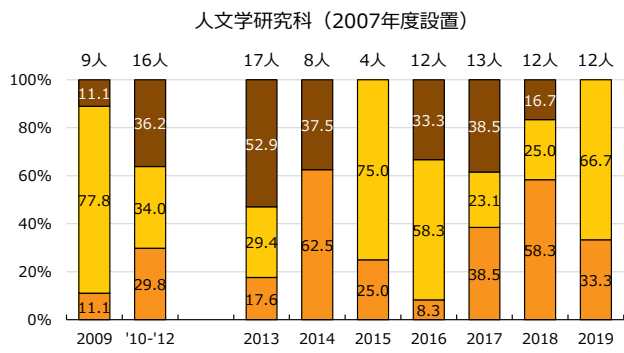
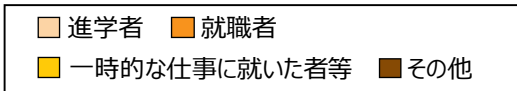
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-8 博士課程・博士課程後期課程修了生の研究科別進路・就職状況

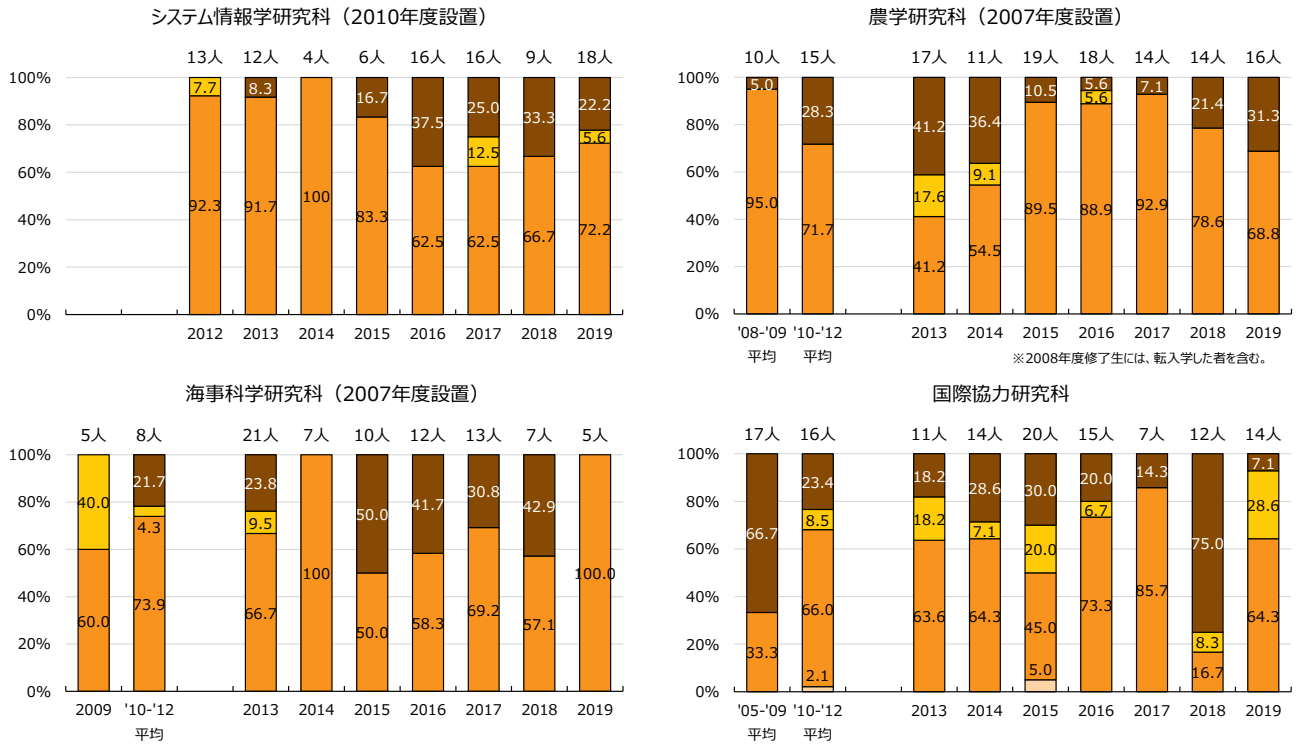
◆神戸大学◆ (博士課程・博士課程後期課程 修了年度)

※2012年度以前は、第一期(2004~2009、データは2005から収集)、第二期前半(2010~2012)の平均値。



※医学系研究科保健学専攻(2008年度入試より募集停止)の修了生を含む。

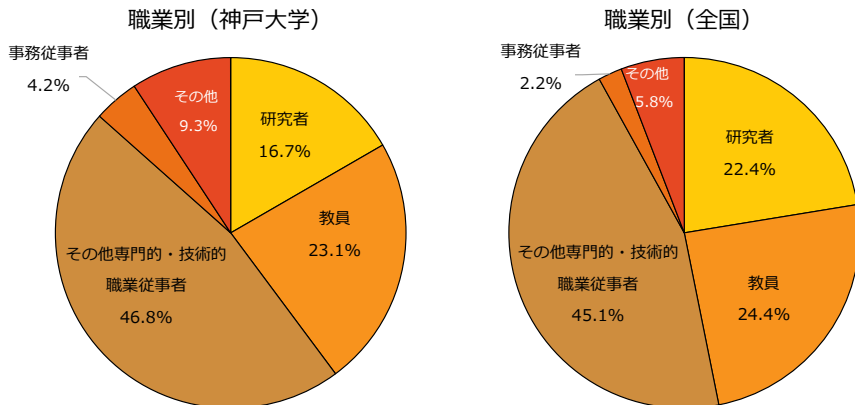
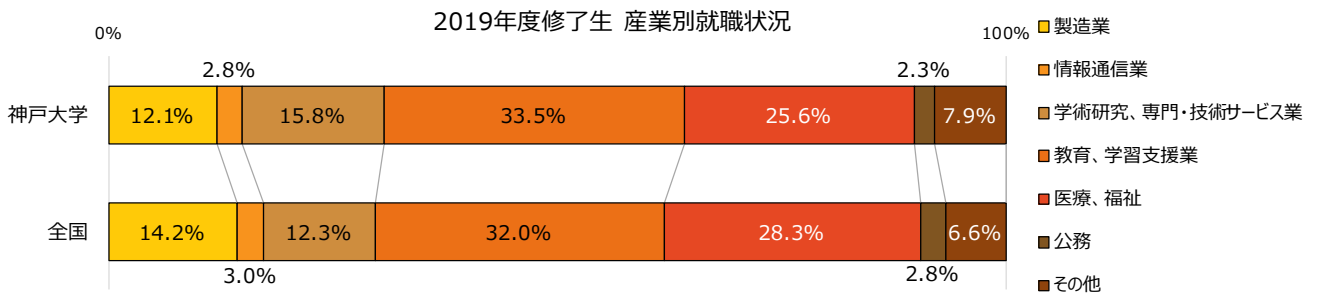
※2008年度修了生には、転入した者を含む。



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-9 博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では概ね全国の傾向と同様、職業別では研究者となる者の割合が若干少ない傾向にある。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

8. 資格試験合格状況

8-1 司法試験合格状況

○ 毎年40人以上の司法試験合格者を安定して輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	一橋大	49.6%	63	京都大	50.0%	111	東北学院大	60.0%	3	京都大	62.7%	126	愛知大	77.8%	7
2	東京大	48.1%	137	一橋大	49.6%	60	一橋大	59.5%	72	一橋大	59.8%	67	一橋大	70.6%	84
3	京都大	47.3%	105	東京大	49.4%	134	京都大	59.3%	128	東京大	56.3%	134	東京大	59.4%	126
4	慶應義塾大	44.3%	155	慶應義塾大	45.4%	144	東京大	48.0%	121	慶應義塾大	50.7%	152	京都大	57.8%	107
5	早稲田大	35.8%	152	大阪大	40.7%	66	神戸大	39.5%	51	愛知学院大	42.9%	3	東北大	53.1%	26
6	神戸大	32.3%	41	神戸大	38.7%	55	慶應義塾大	39.2%	118	早稲田大	42.1%	106	鹿児島大	50.0%	1
7	中央大	29.4%	136	愛知大	30.8%	4	大阪大	37.6%	50	大阪大	41.1%	46	慶應義塾大	49.8%	125
8	九州大	28.8%	36	早稲田大	29.4%	102	早稲田大	36.5%	110	東北大	38.5%	20	神戸大	49.2%	62
9	大阪大	26.8%	42	首都大東京	27.0%	31	九州大	33.3%	29	名古屋大	37.3%	25	九州大	46.7%	21
10	愛知大	26.7%	4	中央大	26.2%	119	名古屋大	30.5%	29	広島大	35.9%	14	名古屋大	40.4%	23
11	名古屋大	25.0%	34	東北大	26.1%	18	白鷗大	28.6%	2	九州大	33.9%	20	大阪大	37.8%	34
12	東北大	24.0%	23	北海道大	24.6%	29	東北大	27.3%	15	神戸大	33.8%	44	早稲田大	36.1%	75
13	北海道大	23.4%	30	名古屋大	23.7%	28	広島大	25.0%	12	東海大	28.6%	2	創価大	34.0%	16
14	広島大	20.3%	15	熊本大	20.0%	5	香川大	25.0%	3	中央大	28.4%	109	中央大	29.4%	85
15	千葉大	19.8%	17	鹿児島大	20.0%	3	中央大	23.2%	101	創価大	24.6%	16	広島修道大	28.6%	2
16	首都大東京	19.5%	25	神戸学院大	20.0%	1	愛知大	23.1%	3	北海道大	24.0%	25	筑波大	26.8%	15
17	創価大	19.4%	13	創価大	19.4%	13	信州大	22.7%	5	筑波大	23.4%	18	岡山大	26.7%	8
18	岡山大	18.0%	11	琉球大	19.4%	6	首都大東京	22.3%	23	首都大東京	22.9%	22	日本大	25.9%	21
19	静岡大	16.7%	3	九州大	19.3%	17	岡山大	21.6%	11	大宮法科大学院大 神奈川大	22.2%	2	同志社大	23.7%	28
20	神戸学院大	15.4%	2	関西学院大	18.4%	18	創価大	21.3%	13				明治大	23.6%	30

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2018年度			2019年度			2020年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	東北学院大	100.0%	1	静岡大 明治学院大	100.0%	1	愛知大	100.0%	3
2	一橋大	76.6%	59				一橋大	80.7%	67
3	京都大	73.8%	110	東京大	77.6%	111	東京大	80.2%	97
4	岡山大	71.4%	5	京都大	77.2%	112	京都大	73.3%	96
5	琉球大	66.7%	2	一橋大	74.3%	52	創価大	68.8%	11
6	東京大	66.2%	92	慶應義塾大	58.7%	128	西南学院大 大東文化大	66.7%	2
7	山梨学院大	50.0%	2	早稲田大	55.0%	83			
8	熊本大	50.0%	1	大阪大	51.9%	27	岡山大	62.5%	5
9	静岡大			名古屋大	50.0%	17	九州大	60.7%	17
10	慶應義塾大	46.7%	92	金沢大	50.0%	4	慶應義塾大	55.9%	105
11	大阪大	46.2%	30	南山大	50.0%	2	東北大	55.3%	21
12	西南学院大	42.9%	3	信州大			大阪大	54.0%	27
13	神戸大	42.7%	44	香川大 獨協大	50.0%	1	神戸大	52.0%	52
14	九州大	42.6%	20				名古屋大	51.5%	17
15	早稲田大	41.5%	80	九州大	47.2%	17	琉球大	50.0%	2
16	京都産業大	36.4%	4	東北大	44.7%	17	福岡大 近畿大	50.0%	1
17	名古屋大	34.1%	15	創価大	43.8%	7			
18	信州大	33.3%	1	愛知学院大	42.9%	3	青山学院大	42.9%	3
19	青山学院大	30.0%	3	広島大	41.2%	7	早稲田大	42.7%	53
20	東北大	29.0%	9	筑波大	37.5%	6	関西学院大	36.8%	7
(21)				神戸大	35.6%	37			

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2018年度			2019年度			2020年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	東北学院大	50.0%	2	一橋大	35.7%	15	愛知大	66.7%	4
2	白鷗大	33.3%	1	広島大	31.8%	7	一橋大	47.2%	17
3	香川大	30.0%	3	大阪大	31.7%	19	東北大	45.5%	5
4	一橋大	29.5%	13	慶應義塾大	29.3%	24	神戸大	38.5%	10
5	大阪大	29.4%	20	関西大	27.8%	5	広島修道大	33.3%	2
6	広島大	29.4%	10	神戸大	26.9%	7	東京大	31.9%	29
7	早稲田大	27.8%	30	京都大	25.0%	14	慶應義塾大	31.7%	20
8	名古屋大	27.5%	14	愛知大 神奈川大	25.0%	2	南山大	30.0%	3
9	愛知大	27.3%	3				早稲田大	26.2%	22
10	神戸大 法政大	26.9%	7	東海大	25.0%	1	筑波大	25.0%	11
11				名古屋大	24.2%	8	名古屋大	25.0%	6
12	京都大	26.9%	18	東京大	24.2%	23	九州大	23.5%	4
13	東京大	25.7%	29	中京大	23.1%	3	京都大	20.4%	11
14	慶應義塾大	25.0%	26	早稲田大	22.8%	23	大阪市立大	20.0%	5
15	大阪市立大	25.0%	8	大宮法科大学院大	22.2%	2	首都大東京	20.0%	3
16	東北大	25.0%	6	東北大	21.4%	3	名城大	20.0%	2
17	九州大	22.5%	9	関西学院大	20.5%	8	東洋大	20.0%	1
18	信州大	21.1%	4	筑波大	19.7%	12	琉球大	18.2%	4
19	創価大	20.8%	10	千葉大	19.0%	4	大阪大	17.5%	7
20	学習院大	20.8%	5	首都大東京	18.8%	3	京都産業大 信州大	16.7%	1

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※ このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、安定して合格者を輩出している。

国家公務員総合職			国家公務員一般職			弁理士			公認会計士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1 (1)	東京大	307	1 (1)	岡山大	245	1 (1)	京都大	30	1	慶應義塾大	183
2 (2)	京都大	126	2	中央大	199	2 (2)	東京大	25	2	早稲田大	105
3	早稲田大	97	3	立命館大	188	3 (3)	東京工業大	19	3	明治大	81
4 (3)	北海道大	81	4 (2)	広島大	174	4 (4)	大阪大	18	4	中央大	71
5 (4)	東北大、慶應義塾大	75	5	早稲田大	170	5	慶應義塾大	16	5 (1)	東京大	40
			6 (3)	琉球大	169	6	早稲田大	12			
7 (5)	九州大	66	7	明治大	165	7 (5)	東北大	11	6 (2)	京都大、立命館大	38
8	中央大	59	8	同志社大	153	8 (6)	名古屋大	9	8 (3)	神戸大	36
9 (6)	大阪大	58	9	日本大	151	9 (7)	北海道大、東京理科大	8	9 (4)	一橋大、法政大	34
10 (7)	岡山大	55	10 (4)	九州大	143						
:			:			11 (8)	神戸大	7			
13 (9)	神戸大	41	18 (10)	神戸大	122						
:			:								
12.7 (8.7)	神戸大 過去三カ年平均	41.3	14.0 (7.3)	神戸大 過去三カ年平均	132.0	11.7 (8.3)	神戸大 過去三カ年平均	5.7	8.5 (3.5)	神戸大 過去二カ年平均	32.5

一級建築士			技術士			医師国家試験			看護師		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格率	順位	大学名	合格者
1	日本大	192	1 (1)	京都大	112	1	自治医科大	99.2%	1	順天堂大[医療看護]	196
2	芝浦工業大	110	2 (2)	東京大	92	2	順天堂大	98.4%	2	東京医療保健大 [東が丘・立川看護]	191
3	東京理科大	95	3 (3)	九州大	91	3	横浜市立大	97.7%			
4	早稲田大	88	4 (4)	北海道大	85	4	東京慈恵会医科大	97.4%	3	聖隷クリストファー大	153
5	近畿大	66	5	日本大	70	5 (1)	筑波大	96.7%	4	日本赤十字看護大	143
6	法政大、明治大	60	6 (5)	大阪大	68	6 (2)	東京医科歯科大	96.5%	5	日本赤十字豊田看護大	135
8	工学院大	57	7 (6)	東北大	64	7	聖マリアンナ医科大	96.0%	6	日本赤十字広島看護大	134
9 (1)	九州大	53	8 (7)	東京工業大	59	8	杏林大	95.7%	7	国際医療福祉大[保健医療]	131
10 (2)	千葉大	49	9	早稲田大	56	9 (3)	愛媛大、金沢大	95.5%	8	帝京大[医療技術]	130
:			:			:			9	埼玉県立大、 広島化学学園大	128
13 (4)	神戸大、 名古屋工業大、 名城大	46	:			43 (22)	神戸大	90.8%			
:			:			:			99 (1)	名古屋大、弘前大、他4大学	84
:			:			:			116 (5)	神戸大、他5大学	81
10.3 (2.7)	神戸大 過去三カ年平均	56.0	14.3 (10.7)	神戸大 過去三カ年平均	48.0	44.3 (24.0)	神戸大 過去三カ年平均	90.3%	155.0 (16.3)	神戸大 過去三カ年平均	71.0

臨床検査技師			作業療法士			理学療法士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1	藤田医科大	103	1	国際医療福祉大 [保健医療]	102	1	帝京科学大	132
2	岐阜医療科学大、 熊本保健科学大	97				2	国際医療福祉大 [福岡保健医療]	103
4	北里大[医療衛生]	91	2	川崎医療福祉大、 藤田医科大	52	3	北海道文教大	102
5	神戸常盤大	84	4	熊本保健科学大	47	4	健康科学大	99
6	杏林大、 新潟医療福祉大	82	5	杏林大、 国際医療福祉大 [福岡保健医療]、 目白大	46	5	新潟医療福祉大	93
						6	国際医療福祉大 [保健医療]	92
8	国際医療福祉大	78	8	帝京平成大[健康メディカル]	45	7	藍野大	90
9	文京学院大	73				8	帝京大	87
10	麻布大	72	9	広島国際大	44	9	日本医療科学大、 文京学院大	85
:			:			:		
21 (1)	名古屋大、埼玉県立大	41	10	国際医療福祉大[小田原保健医療]、 兵庫医療大	42	:		
:			:			70 (1)	広島大、他2大学	35
:			:			:		
:			:			81 (2)	神戸大、 山形県立保健 医療大	23
:			:			:		
:			:			66 (9)	神戸大、金沢大、 帝京大	14
33.3 (10.3)	神戸大 過去三カ年平均	34.7	62.3 (7.7)	神戸大 過去三カ年平均	16.0	80.0 (2.7)	神戸大 過去三カ年平均	22.3

※合格者数は（人）
カッコ内は国立大学内の順位

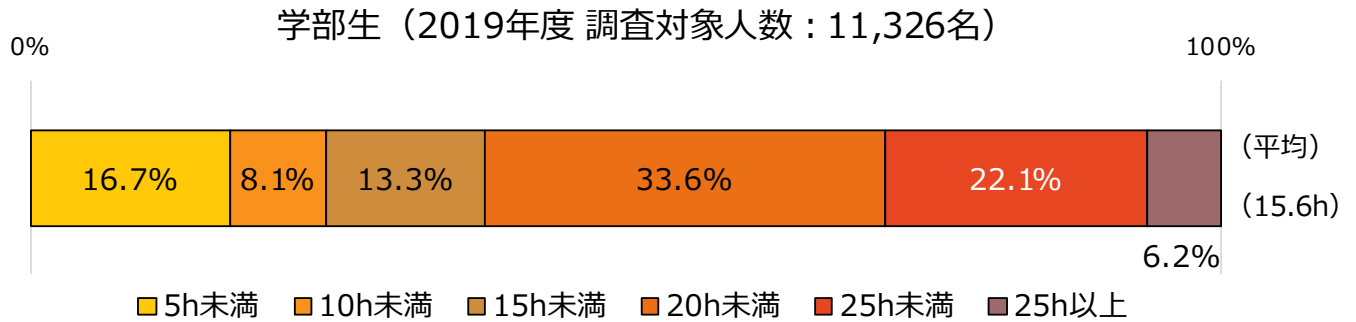
出典：朝日新聞出版
「大学ランキング2021年版」より作成。
※データは2019年の数値、過去三カ年平均値は2017～2019年の平均値
(公認会計士のみ2017年、2019年の平均値、2018年度は大学独自調べ)

9. 学生生活状況

9-1 学部学生の学修時間等について

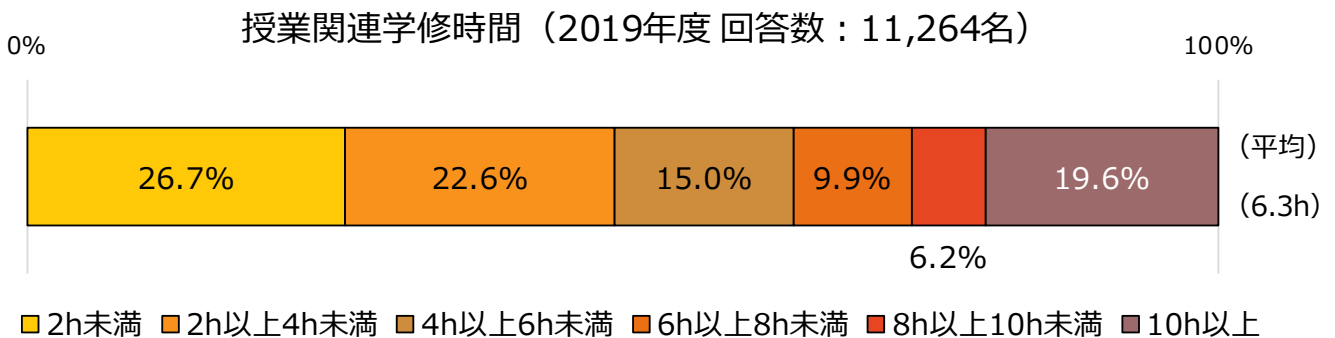
◆学部学生の1週間あたりの授業時間

○ 1週間に15時間以上の授業を受けている学生が、61.9%と半数以上を占めている。

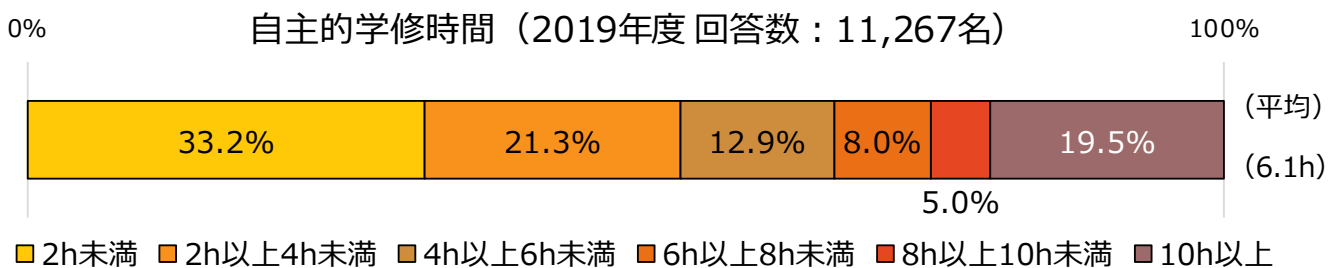


◆学部学生の1週間あたりの授業関連学修時間と自主的学修時間

○ 1週間に授業関連の学修をする時間が6時間以上である学生が35.7%、自主的学修をする時間が6時間以上である学生は、32.5%となっている。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修
 （授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等）



自主的学修時間… 授業関連時間以外で、自主的に行った学修
 （資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等）

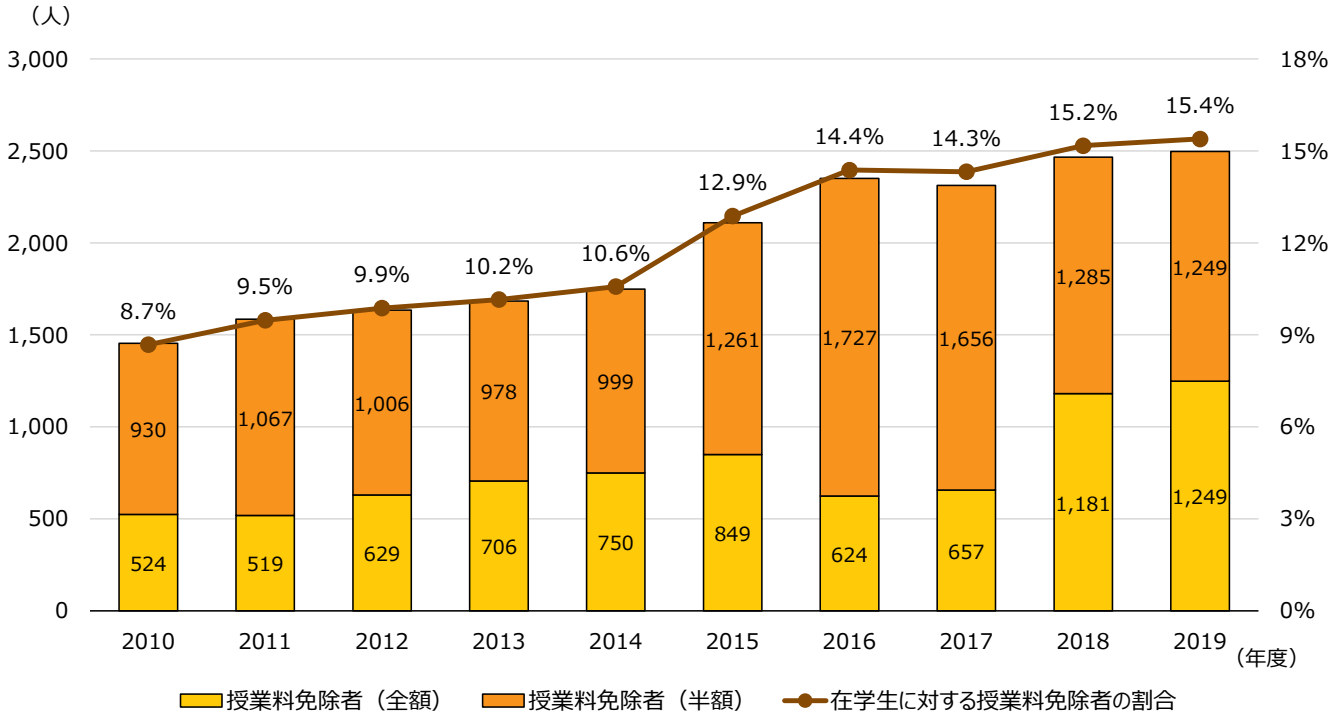
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

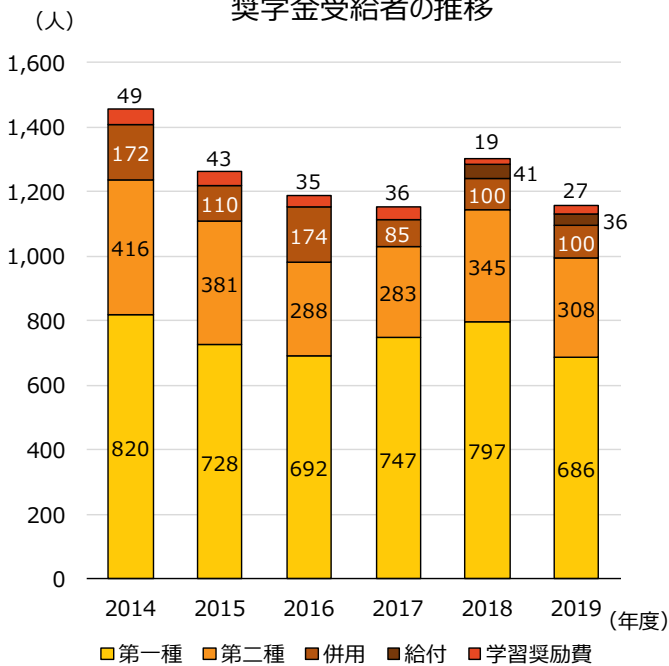
9-2 経済支援について

- 授業料の全額免除枠を拡大しつつ、在学生に対する免除者の割合も増やし、15%超となっている。
- 2019年度は日本学生支援機構、その他の奨学金の受給者数は近年の中でも低い水準である。

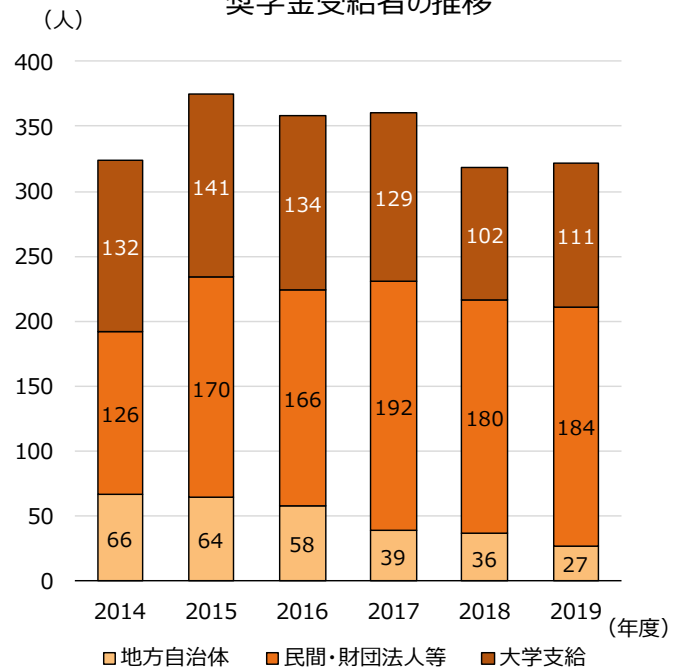
授業料免除者とその割合



日本学生支援機構の奨学金受給者の推移



日本学生支援機構以外の奨学金受給者の推移



※日本学生支援機構の内訳

第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生

第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生

併用：第一種、第二種併用して受給している学生

給付：給付型のみ受給している学生（2018年度から開始）

学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給与型奨学金）を受給している学生

10. 国際的な研究論文

10-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2008年1月から2018年12月の11年間における高被引用論文数は、国内で14位、大学に限ると11位となっている。
- 20位以内にランクインした国立大学は、すべて国立大学法人運営費交付金の支援枠の重点支援3（卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する大学:16大学）の枠組みであった。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「10.国際的な研究論文」全体の項目について）

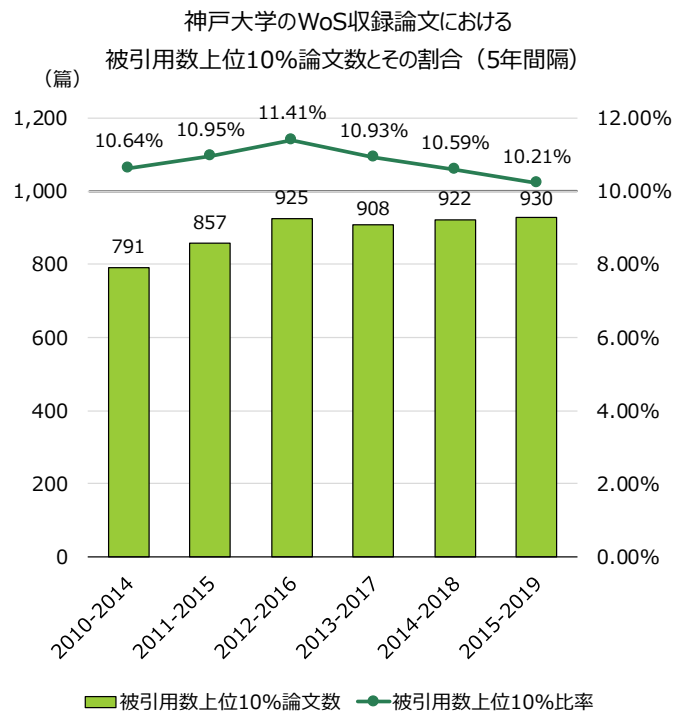
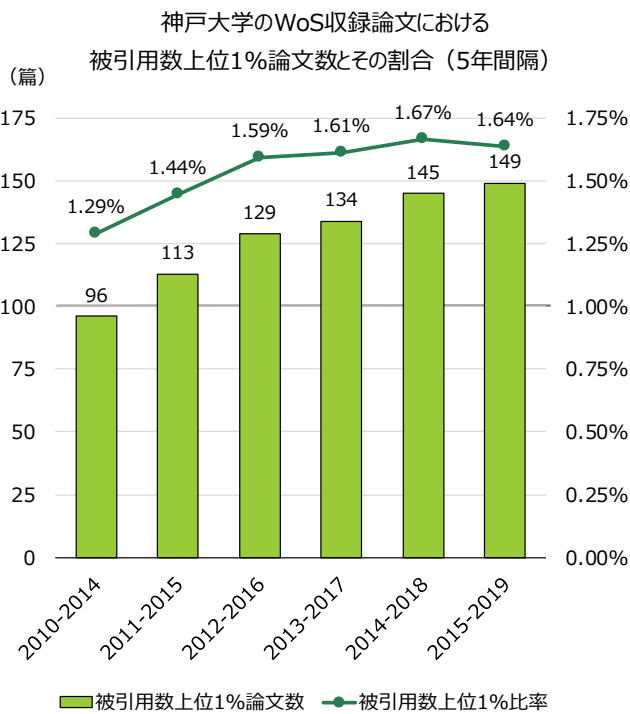
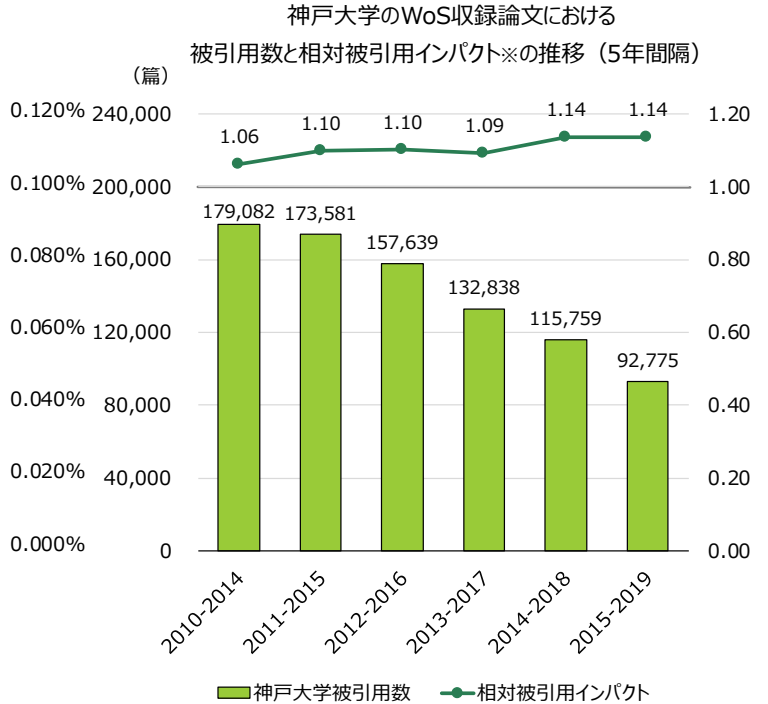
順位	機関名	高被引用論文数	当該大学の論文数に占める割合
1	東京大学	1,535	1.7%
2	京都大学	978	1.5%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	694	2.5%
4	大阪大学	590	1.2%
5	東北大学	531	1.1%
6	名古屋大学	479	1.3%
7	九州大学	379	1.0%
8	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	378	2.5%
9	東京工業大学	353	1.3%
10	筑波大学	312	1.3%
11	北海道大学	304	0.9%
12	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	279	1.1%
13	岡山大学	256	1.6%
14	神戸大学	244	1.4%
15	国立研究開発法人 国立がん研究センター	238	3.1%
16	慶應義塾大学	217	1.1%
17	早稲田大学	213	1.6%
17	広島大学	213	1.1%
19	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	190	1.5%
20	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	183	2.8%

出典：クラリベイト・アナリティクス社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング」

※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

10-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- 総論文数は増加傾向にあり、世界シェアは0.1%前後を維持している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数は増加傾向にあり、本学の総論文数における割合は、1.64%と良好である。

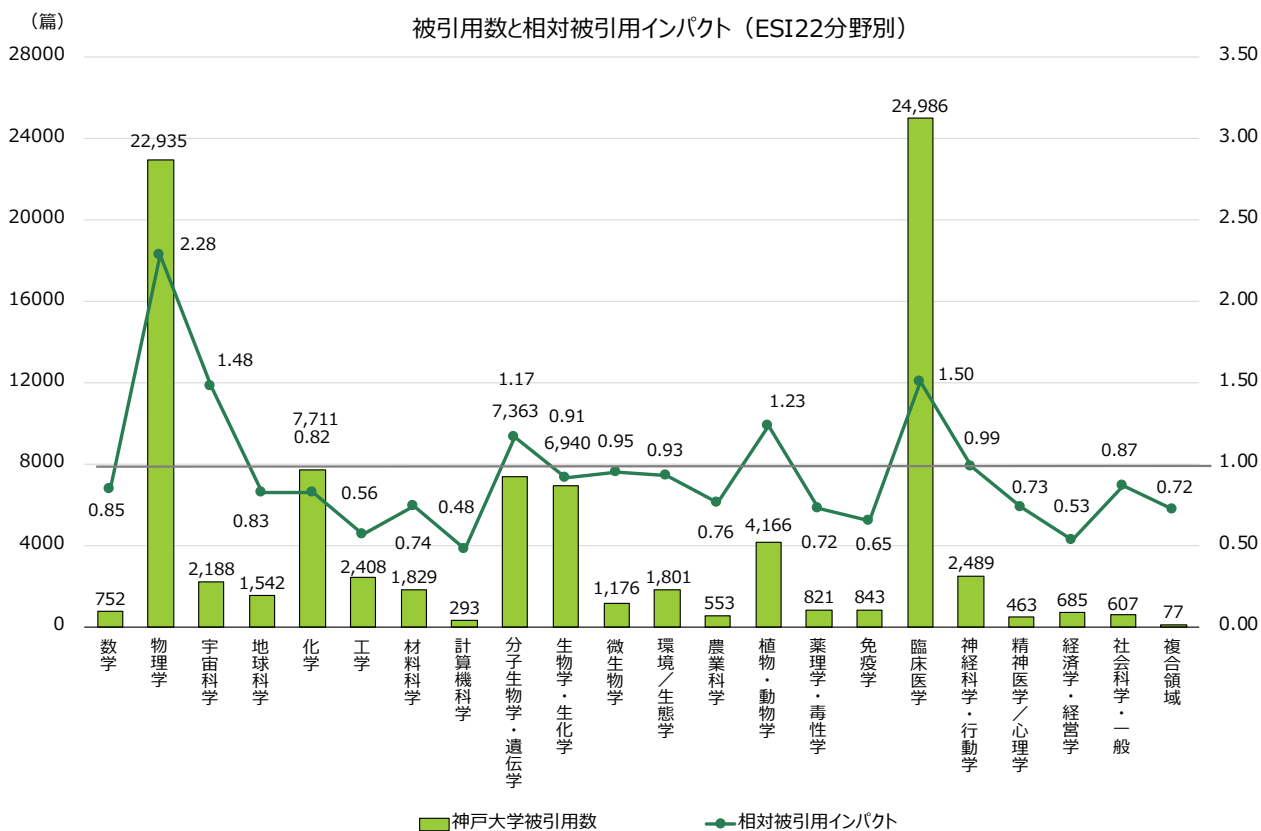
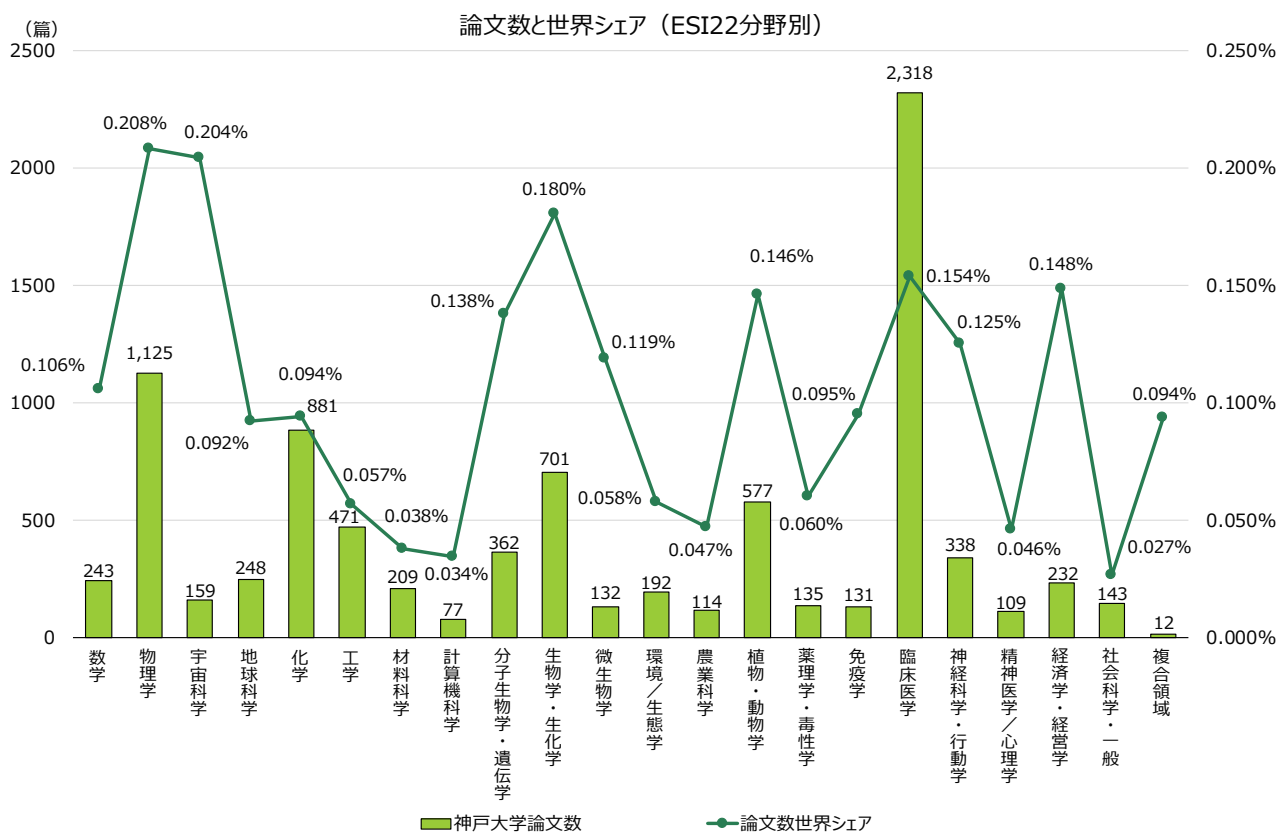


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2020年8月27日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

10-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクトが世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

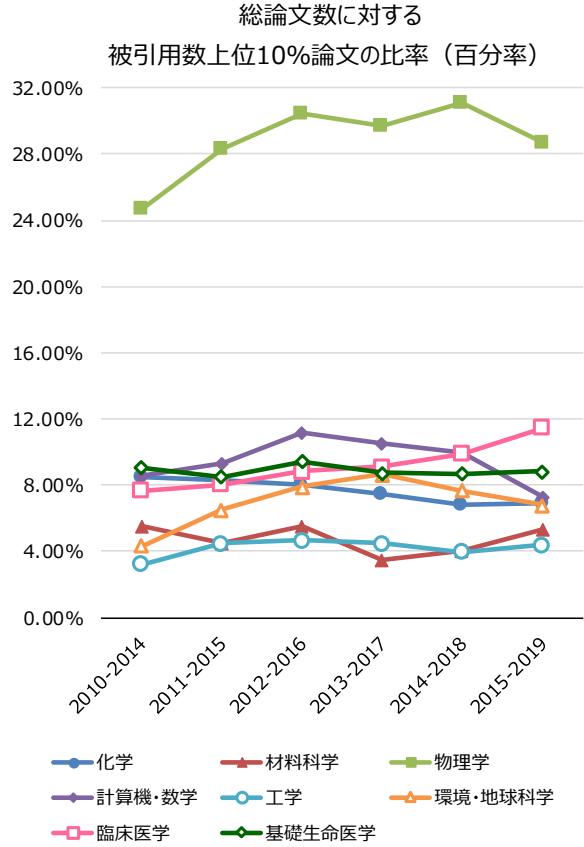
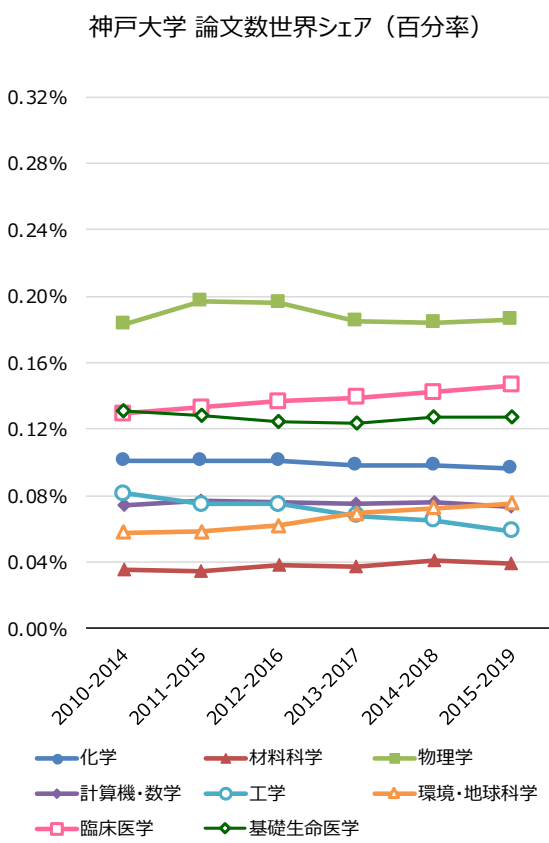


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2015～2019年の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2020年8月27日現在の数値である。

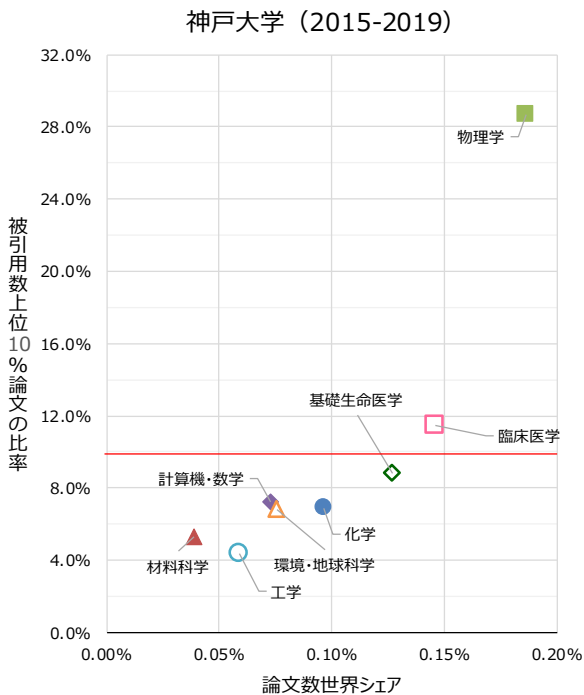
10-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

○ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では、物理学分野が突出していることがわかる。また、臨床医学分野が量・質ともに伸ばしている。

◆推移（2010-2019年、5年間隔）



◆マッピング

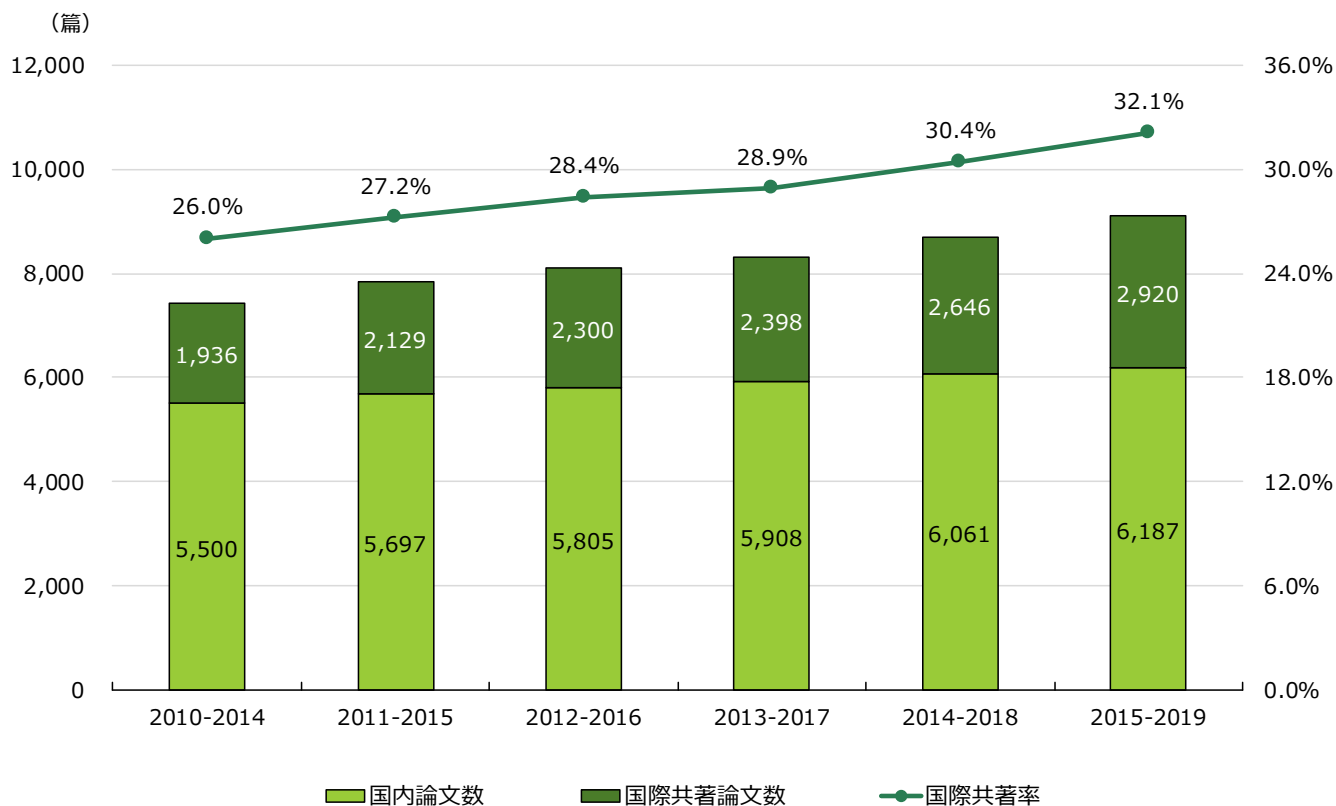


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2020年8月27日現在の数値である。

10-5 論文の量と質についての比較 — 国際共著 —

○ 本学の国際共著論文数・国際共著率はともに増加傾向にある。分野別で見ると、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で積極的に国際連携して研究を行っていることがわかる。

◆神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



◆神戸大学の国際共著論文の多い分野（2015-2019年の合計）

分野名 (Web of Science252分野)	国際共著論文数	国際共著率
PHYSICS, PARTICLES & FIELDS (物理学、粒子、界)	588	90.6%
ASTRONOMY & ASTROPHYSICS (天文学、宇宙物理学)	322	78.2%
BIOCHEMISTRY & MOLECULAR BIOLOGY (生化学、分子生物学)	137	28.3%
PHYSICS, NUCLEAR (物理学、核)	132	92.3%
PLANT SCIENCES (植物学)	107	32.4%
MATERIALS SCIENCE, MULTIDISCIPLINARY (物質科学、総合)	100	29.3%
PHYSICS, MULTIDISCIPLINARY (物理学、総合)	90	53.6%
CHEMISTRY, PHYSICAL (化学、物理)	89	28.9%
BIOTECHNOLOGY & APPLIED MICROBIOLOGY (バイオテクノロジー、応用微生物学)	88	29.0%
PHYSICS, APPLIED (物理学、応用)	84	30.4%
CELL BIOLOGY (細胞生物学)	83	30.7%
ECONOMICS (経済学)	79	28.4%
ONCOLOGY (腫瘍学)	69	15.3%
POLYMER SCIENCE (高分子科学)	68	43.0%
GENETICS & HEREDITY (遺伝学、遺伝)	66	31.6%
RADIOLOGY, NUCLEAR MEDICINE & MEDICAL IMAGING (放射線学、核医学、医用画像)	63	32.0%
NEUROSCIENCES (神経科学)	61	26.4%

※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文についてデータを分析した。
また、本データは2020年8月27日現在の数値である。

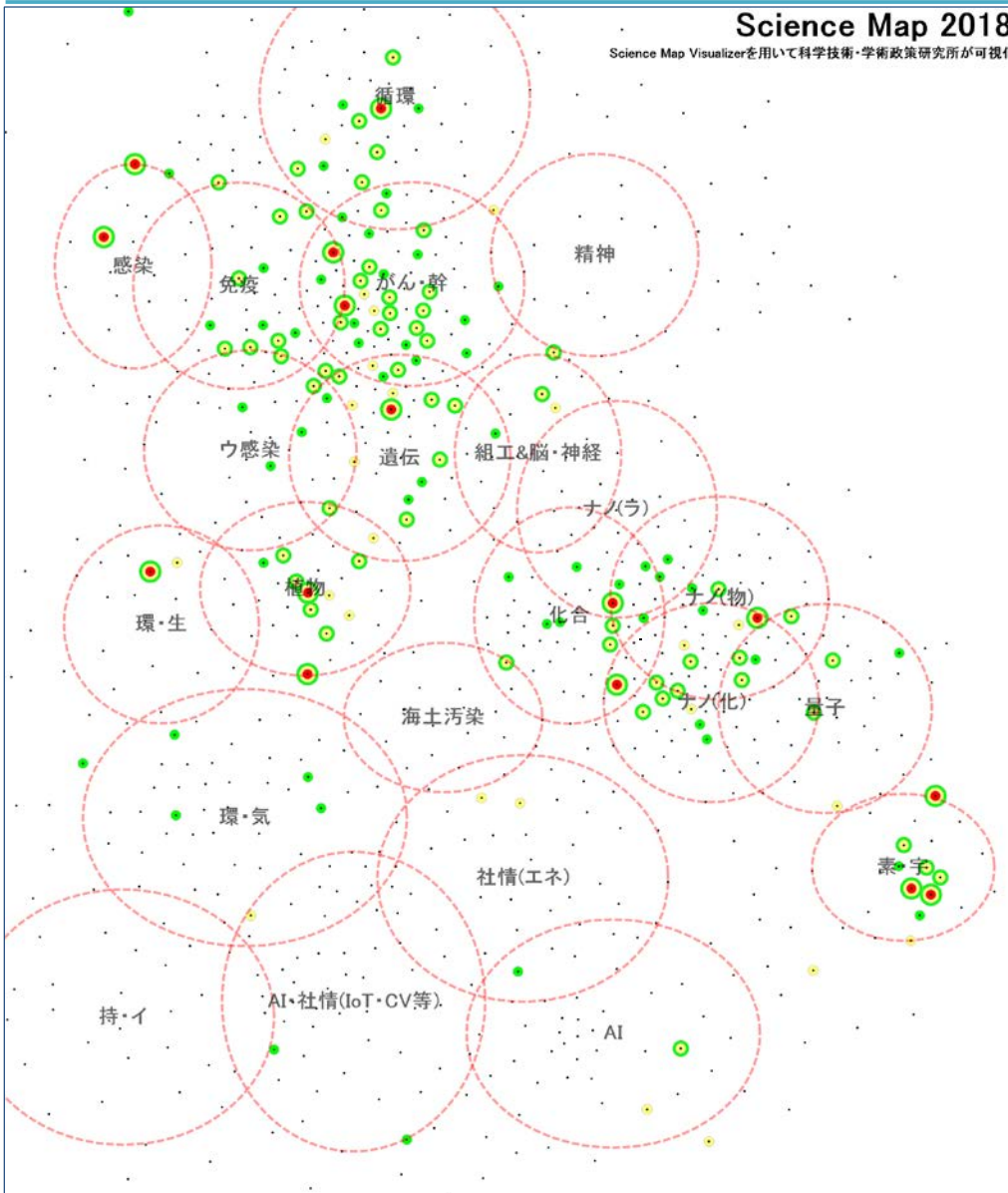
10-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- 本学では従来の「がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究」、「植物科学研究」、「ナノサイエンス研究（化学）」、「素粒子・宇宙論研究」の4分野に加え、「循環器系疾患研究」、「感染症研究」、「環境・生態系研究」、「化学合成研究」、「ナノサイエンス研究（物理学、ライフサイエンス）」分野でも世界をリードする研究が行われていることがわかる。
- コアペーパー、サイティングペーパー及びそのうちのTOP10%論文数のいずれも大幅に伸びている。

サイエンスマップとは？

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究の地図。

神戸大学



- 研究領域のコアペーパー、サイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)に1件入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパーに入っている場合(2件以上)
- 参画していない場合

◆研究領域群名

- 【循環】 循環器系疾患研究
- 【感染】 感染症研究
- 【免疫】 免疫研究
- 【がん・幹】 がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究
- 【精神】 精神疾患研究
- 【ウ感染】 ウイルス感染症研究
- 【遺伝】 遺伝子発現制御研究
- 【組工&脳・神経】 組織工学&脳・神経研究
- 【植物】 植物科学研究
- 【環・生】 環境・生態系研究
- 【環・気】 環境・気候変動研究
- 【海土汚染】 海洋・土壌汚染研究
- 【化合】 化学合成研究
- 【ナノ(ラ)】 ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)
- 【ナノ(物)】 ナノサイエンス研究(物理学)
- 【ナノ(化)】 ナノサイエンス研究(化学)
- 【量子】 量子情報処理・物性研究
- 【素・宇】 素粒子・宇宙論研究
- 【AI】 AI関連研究
- 【AI・社情(IoT・CV等)】 AI・社会情報インフラ関連研究(IoT・CV等)
- 【社情(エネ)】 社会情報インフラ関連研究(エネルギー等)
- 【持・イ】 持続可能な発展・イノベーション研究

◆用語

研究領域

2013～2018年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた902の領域。

コアペーパー

各研究領域を構成しているTop1%論文。

サイティングペーパー

コアペーパーを引用している論文。

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうちTop10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038
サイエンスマップ2018	15	73	100	479	131	1,214

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所, NISTEP REPORT No. 187 (2020年11月)、No. 178 (2018年10月)、No. 169 (2016年9月)、No. 159 (2014年7月)

11. 科学研究費

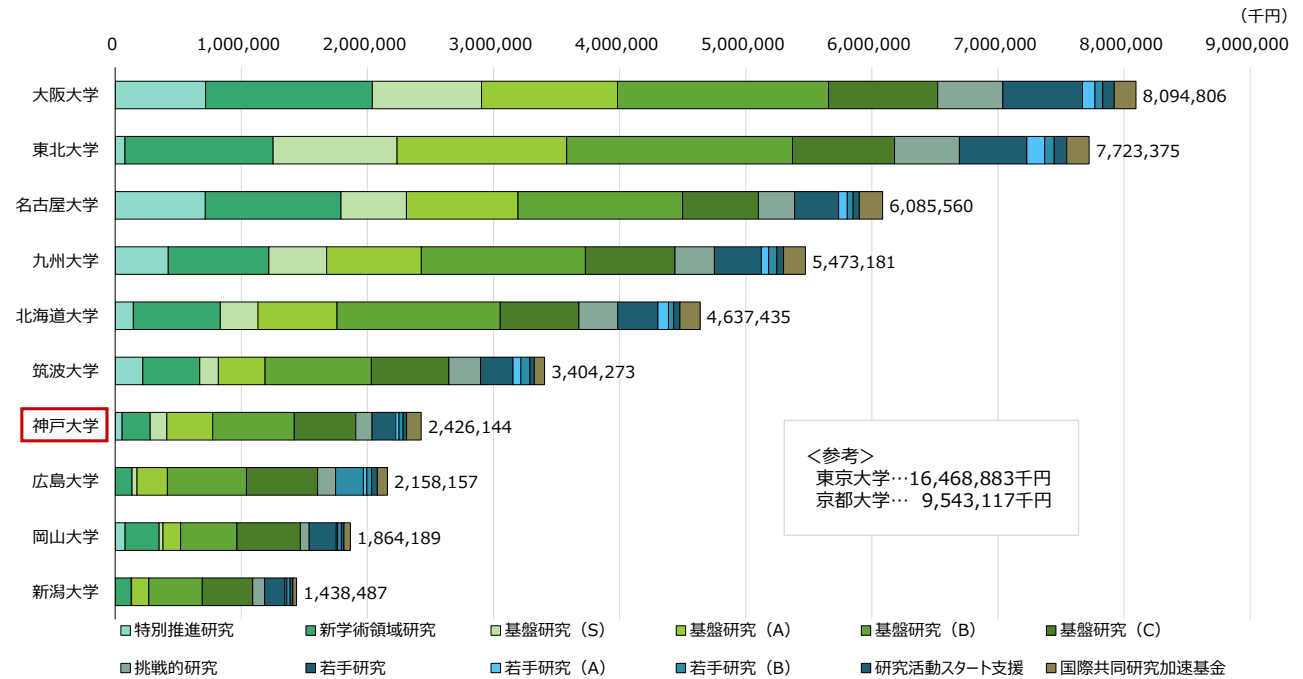
11-1 2020年度科学研究費助成事業獲得状況

種 目	新規申請件数	採択件数			新規採択率	配分額 (新規+継続)		
		新規	継続	合計		直接経費 (千円)	間接経費 (千円)	合計 (千円)
特別推進研究	1	0	1	1	-	59,900	17,640	77,540
	3	1	0	1	33.3%	76,300	23,220	99,520
新学術領域研究 (計画)	-	-	6	6	-	116,200	32,587	148,787
	25	2	6	8	8.0%	117,400	35,783	153,183
新学術領域研究 (公募)	46	7	13	20	15.2%	46,600	13,770	60,370
	41	14	13	27	34.1%	58,300	17,700	76,000
基盤研究 (S)	7	-	6	6	-	153,800	40,440	194,240
	13	1	6	7	7.7%	140,210	45,132	185,342
基盤研究 (A)	49	4	32	36	8.2%	298,483	83,430	381,913
	46	14	28	42	30.4%	374,727	117,000	491,727
基盤研究 (B)	184	61	148	209	33.2%	766,978	218,931	985,909
	187	59	153	212	31.6%	727,952	219,190	947,142
基盤研究 (C)	422	146	382	528	34.6%	458,600	137,580	596,180
	438	155	374	529	35.4%	485,250	145,575	630,825
挑戦的研究 (開拓)	27	-	4	4	-	18,860	3,810	22,670
	10	0	4	4	-	15,740	6,300	22,040
挑戦的研究 (萌芽)	152	-	52	52	-	62,600	18,780	81,380
	161	22	47	69	13.7%	121,100	36,330	157,430
挑戦的萌芽研究	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	3	3	-	0	0	0
若手研究 (A)	-	-	5	5	-	18,700	4,470	23,170
	-	-	9	9	-	30,624	8,541	39,165
若手研究 (B)	-	-	15	15	-	5,200	1,560	6,760
	-	-	62	62	-	35,500	10,650	46,150
若手研究	213	107	144	251	50.2%	265,600	79,680	345,280
	207	88	85	173	42.5%	192,500	57,750	250,250
研究活動スタート支援	42	-	16	16	-	13,800	4,110	17,910
	38	17	11	28	44.7%	27,900	8,310	36,210
国際共同研究加速基金	-	-	17	17	-	0	0	0
(国際共同研究強化 (A))	7	4	20	24	57.1%	65,800	19,740	85,540
国際共同研究加速基金	27	-	17	17	-	61,560	18,468	80,028
(国際共同研究強化 (B))	23	4	13	17	17.4%	63,900	19,170	83,070
合 計	1,170	325	858	1,183	27.8%	2,346,881	675,256	3,022,137
	1,199	381	834	1,215	31.8%	2,533,203	770,391	3,303,594

- 「国際共同研究加速基金」：2015年度から公募が始まった新規研究種目である。
- ※「国際共同研究強化」は2018年度から(A)、(B)に分けて公募を開始。(A)の新規採択分は2020年7月現在公募中のため未掲載。
- ※「国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)」は、「国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A))」に計上。
- 「挑戦的研究(開拓)」、「挑戦的研究(萌芽)」：2017年度から公募が始まった新規研究種目である。
- ※「挑戦的萌芽研究」は2016年度限りで新規の公募を終了。
- 「若手研究」：2018年度から公募が始まった新規研究種目である。
- ※「若手研究(A)」、「若手研究(B)」は2017年度限りで新規の公募を終了。
- 「新学術領域研究 (計画)」：2019年度限りで新規領域の公募を終了。

上段：2020年度採択状況 (2020.7現在)
 下段：2019年度採択状況 (最終版)
 ※表中の件数欄の「-」は該当なし又は申請中を示す。
 ※研究代表者として申請した課題のみを集計。

11-2 2019年度科学研究費助成事業獲得状況

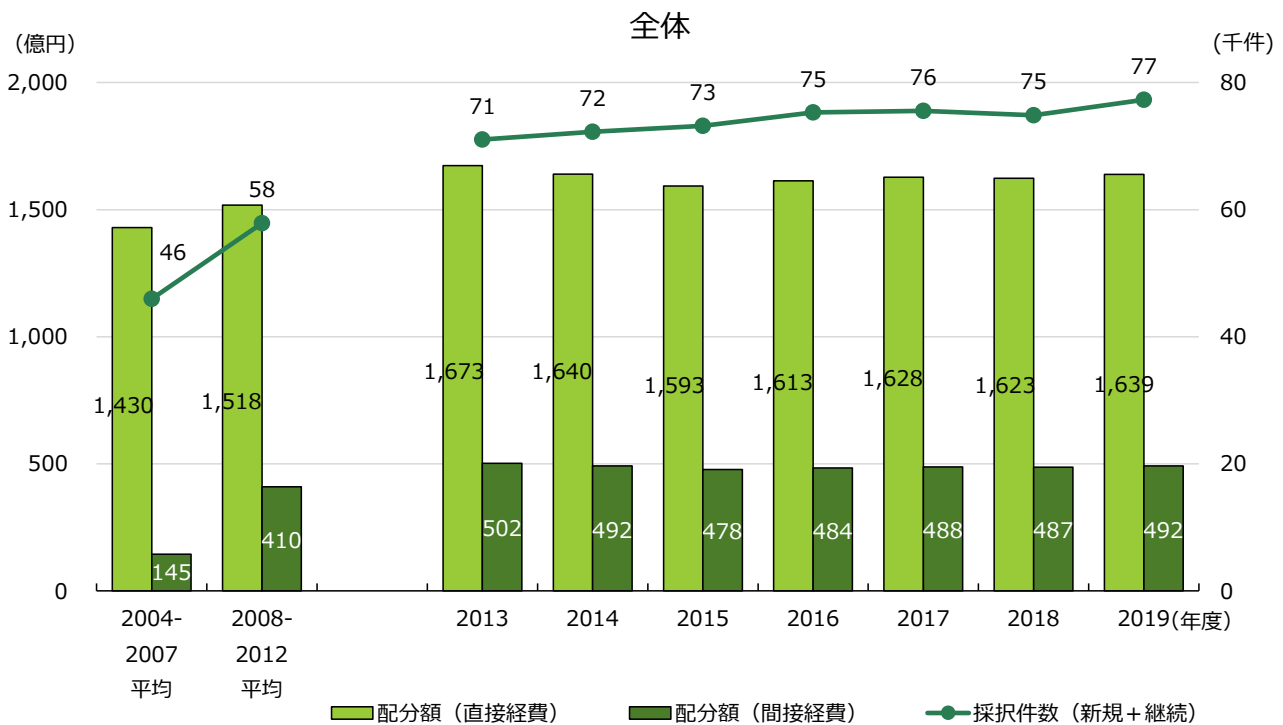
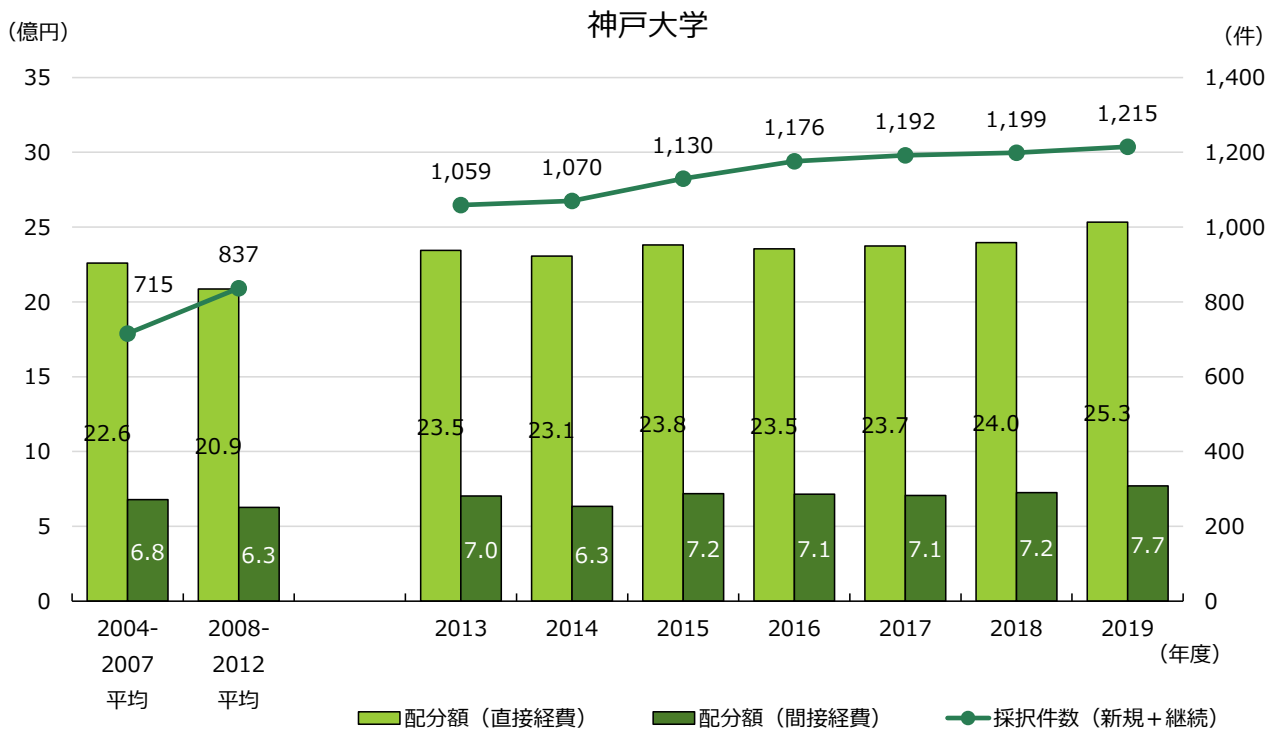


<参考>
 東京大学…16,468,883千円
 京都大学… 9,543,117千円

※学生収容定員1万人以上の国立大学法人を比較対象とし、各大学財務諸表（2019年度版）より科学研究費の明細が示されているものを集計した。
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

11-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にある。

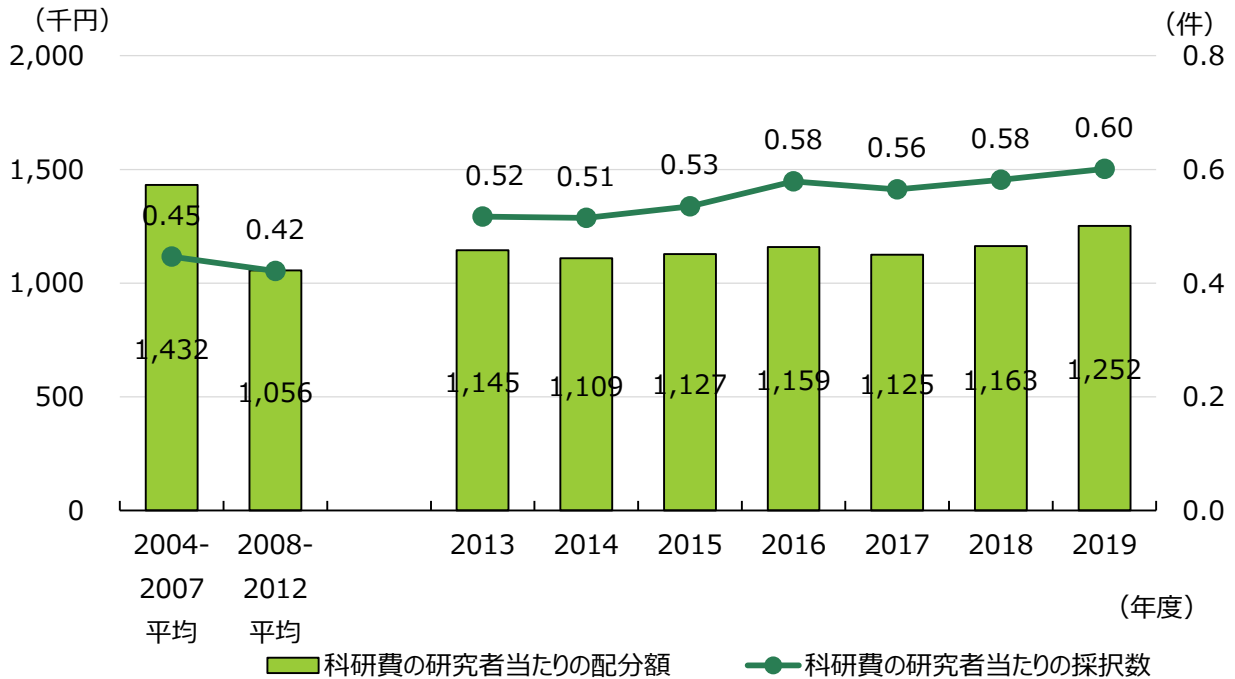


※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」、「基盤研究」、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究）」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省HP掲載「科学研究費補助金 配分結果」

11-4 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 — 推移 —

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、近年は緩やかな増加傾向にある。

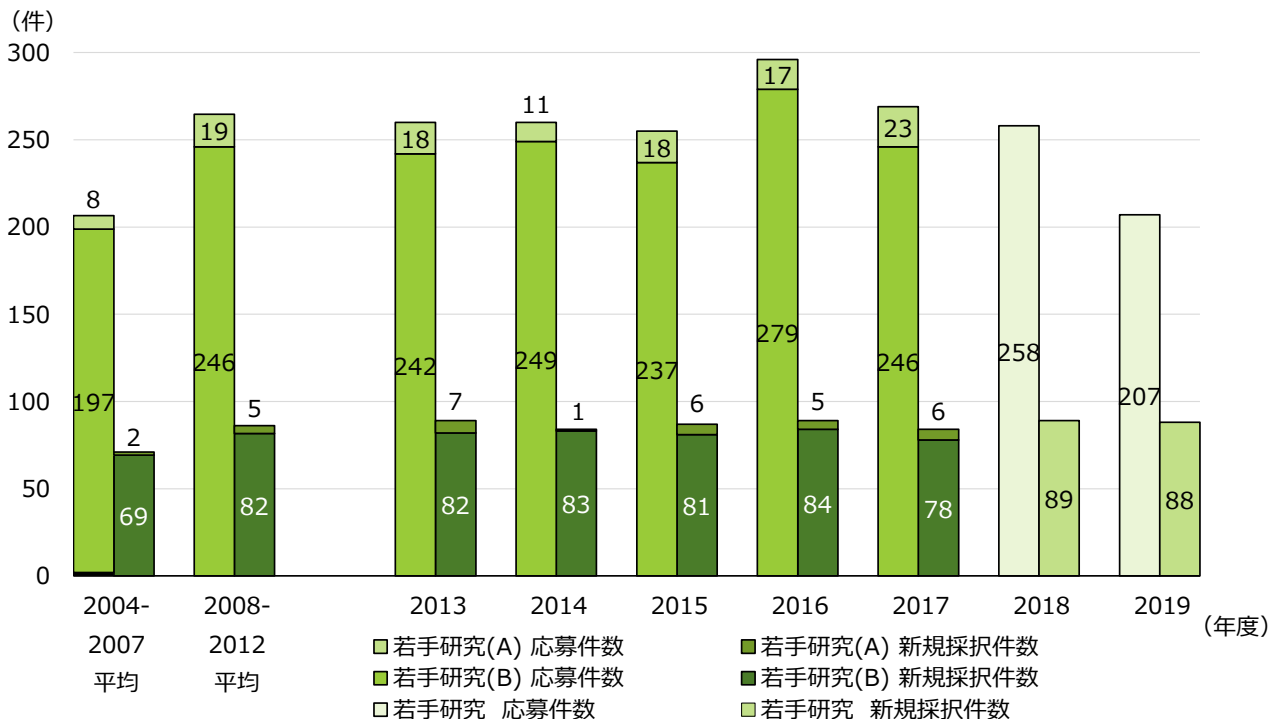


※科研費の研究者当たりの配分額 = 採択額 (直接経費) / 科研費応募資格者

※科研費の研究者当たりの採択数 = 科研費採択件数 (新規 + 継続) / 科研費応募資格者

11-5 科研費若手種目の応募件数と新規採択件数 — 推移 —

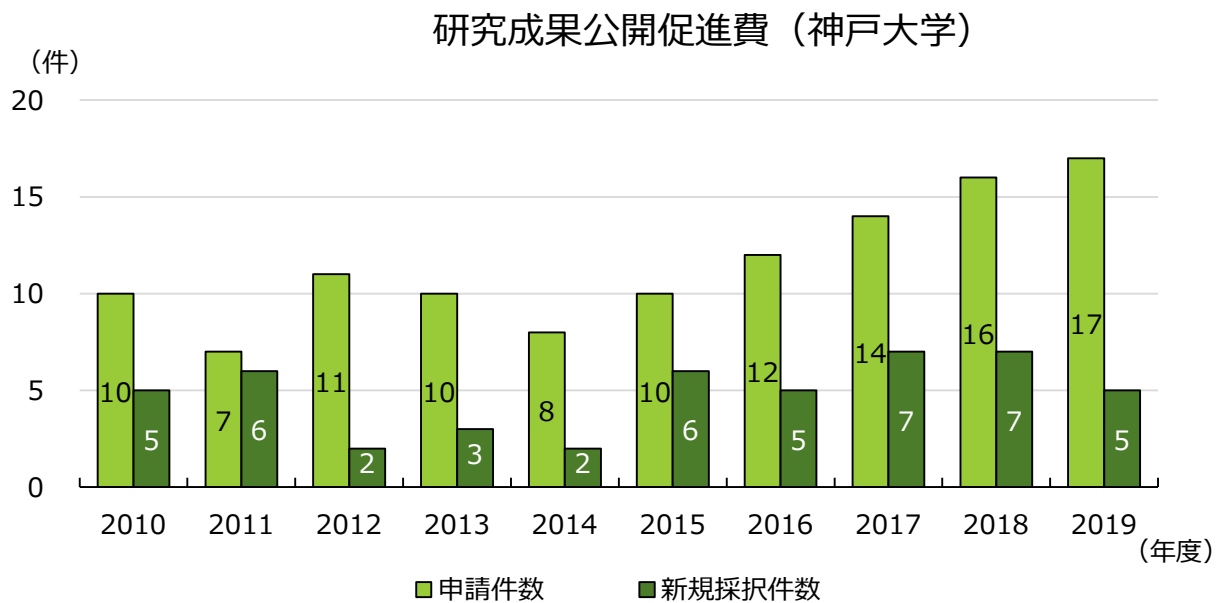
○ 科研費の若手種目の応募件数は減少しているが、採択件数は例年と同程度を維持している。



※2018年度から「若手研究(A)」は「基盤研究」に統合。「若手研究(B)」は新規種目の「若手研究」となった。

11-6 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 2019年度の新規採択件数の内訳は、学術図書1件、研究成果公開発表4件となっている。



○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

11-7 2018-2020年度科学研究費助成事業新規採択状況

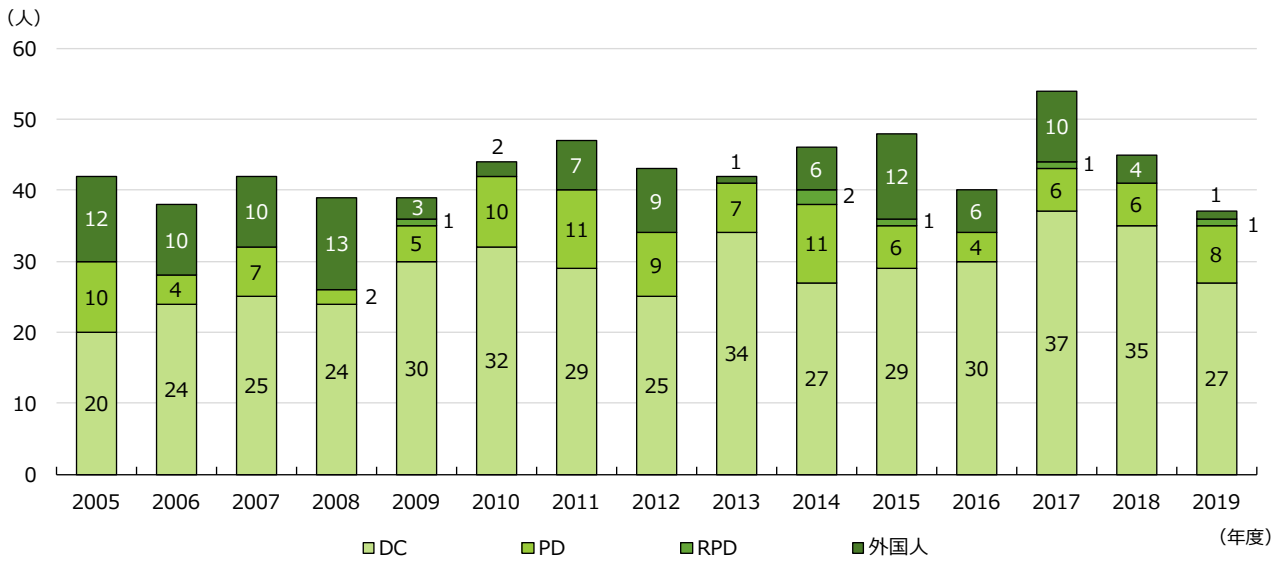
大区分	(研究分野)	中区分数	中区分別採択数上位10機関に本学がランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	6	39.0	62,700
			政治学およびその関連分野	9	17.3	40,283
			経済学、経営学およびその関連分野	2	99.0	202,900
B	(数物系科学)	7	解析学、応用数学およびその関連分野	8	17.0	20,700
C	(工学系科学)	8	建築学およびその関連分野	8	18.0	36,400
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	10	12.0	42,300
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	5	14.0	40,900
D		7	化学工学およびその関連分野	8	22.0	104,700
			応用物理工学およびその関連分野	6	9.0	69,800
E	(化学)	6	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	10	13.0	53,200
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	8	21.0	61,700
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	18.0	55,400
K		2	—	—	—	—
G	(生物系科学)	4	—	—	—	—
H	(医歯薬学)	3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	16.0	41,000
I		11	内科学一般およびその関連分野	8	74.0	102,900
			生体情報内科学およびその関連分野	10	35.0	67,800
J	(情報学)	3	—	—	—	—

出典：文部科学省「令和2(2020)年度科学研究費助成事業の配分について」

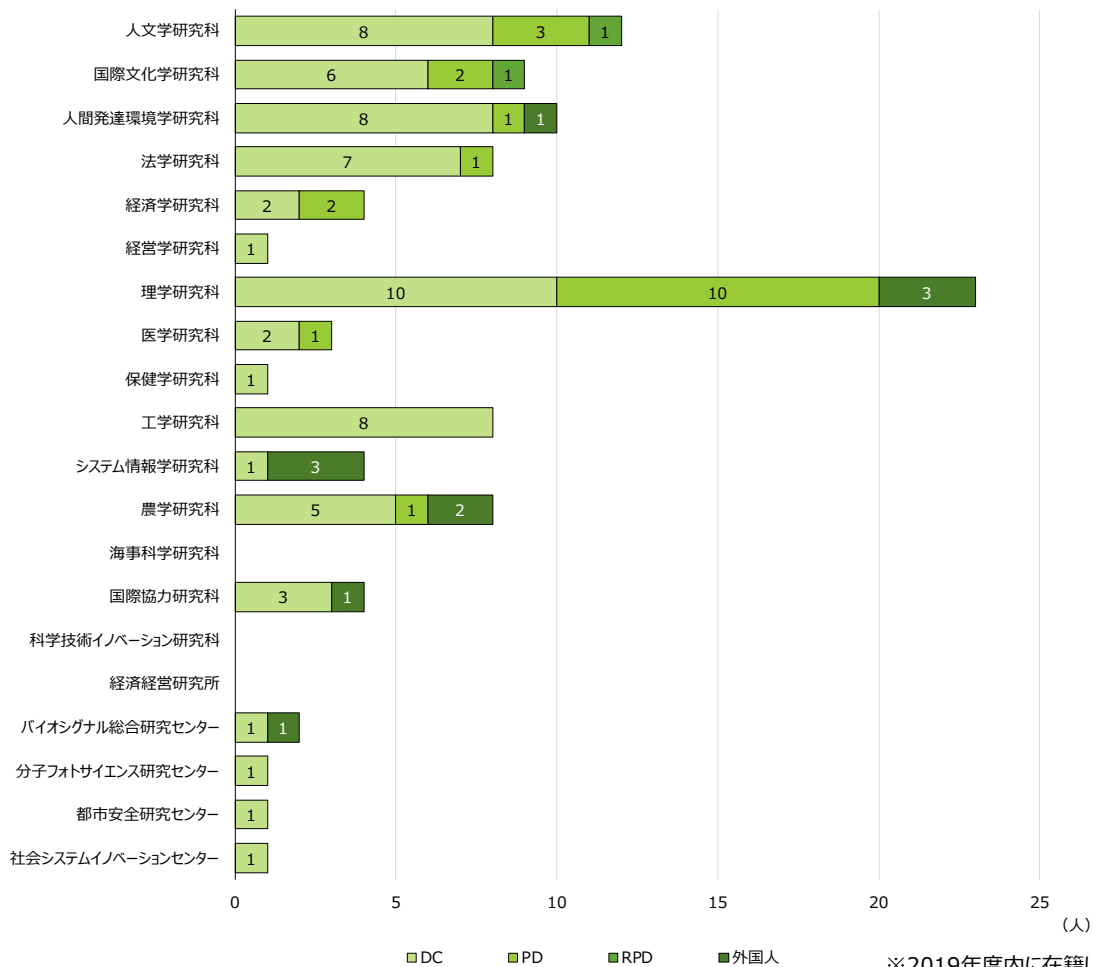
※2018年度から2020年度科学研究費(新規採択分)のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」、「計画研究及び公募研究」、「学術変革領域研究(計画研究)」、「基盤研究(特設分野研究は除く)」、「挑戦的研究(特設審査領域を除く)」、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金(国際共同研究基盤(B))」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。(対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計)

12. 日本学術振興会特別研究員

12-1 全学の受入れ状況 — 新規 —



12-2 研究科別受入れ状況 — 在籍者 —



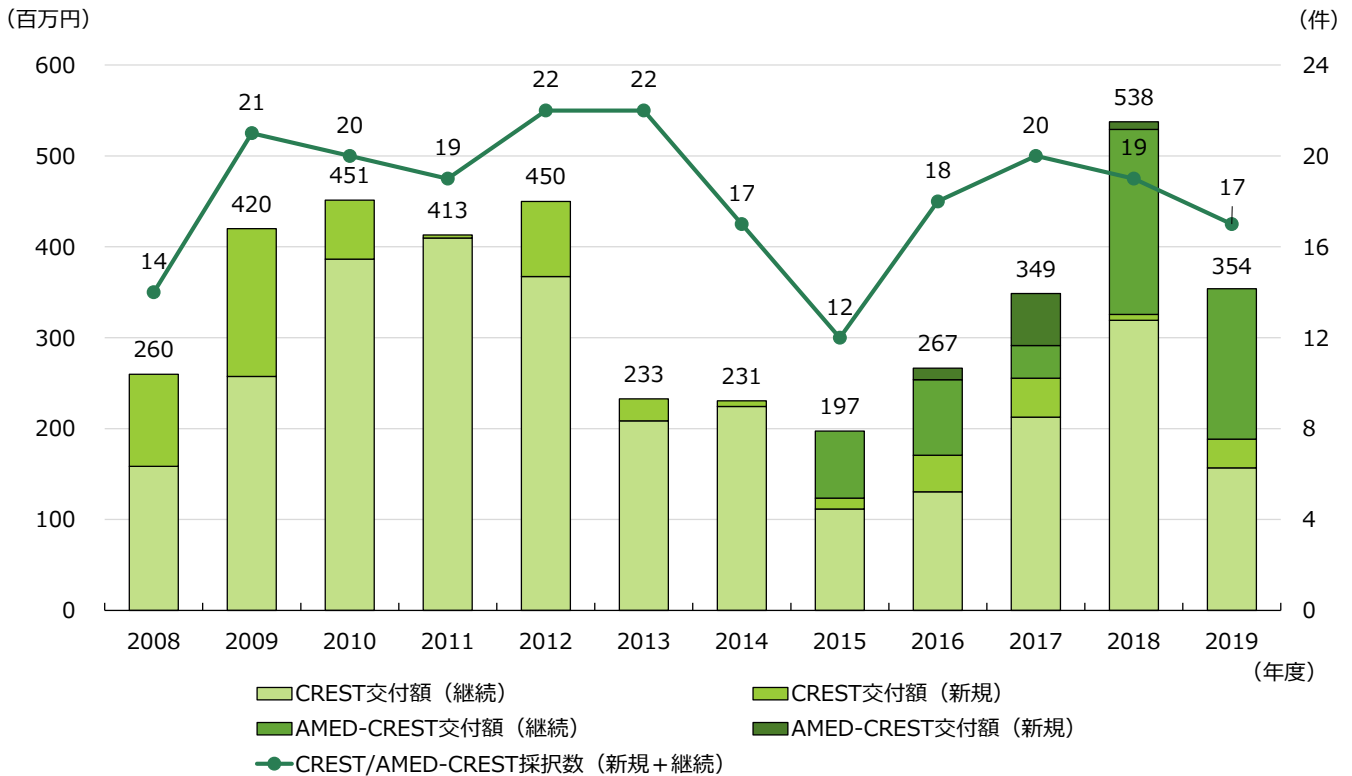
※2019年度内に在籍した者を集計。

DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
 PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
 RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出生又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
 外国人 : 博士の学位を取得前後の外国人日本学術振興会特別研究員

13. 研究プログラムの採択状況

13-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、 革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2009年度以降20件前後を保っており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。交付額については、過去最高であった昨年度から減少したが、近年では2番目に多くなっている。



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

CREST/AMED-CREST 2019年度継続中のプログラム一覧 (代表研究のみ)

プログラム名・取組名		実施担当部局
CREST	ホログラム光刺激による神経回路再編の人為的創出	医学研究科
	活性酸素生成抑制システムの非破壊評価系の確立とフィールドへの応用～危機早期診断システムの構築～	農学研究科
	分極制御非鉛圧電薄膜による高効率MEMS振動発電素子の創製	工学研究科
	提示系心理情報学の確立とシステム構築	工学研究科
	数学・数理学と情報科学の連携・融合による情報活用基盤の創出と社会課題解決に向けた展開	システム情報学研究科
AMED-CREST	ストレス関連疾患を担う機能性脂質の探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学研究科
	機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開	医学研究科
	包括的メタボロミクス・ターゲットプロテオミクスによるがん診断・薬効診断マーカー探索と革新的統合臨床診断ネットワーク構築	医学研究科

○ 「CREST」

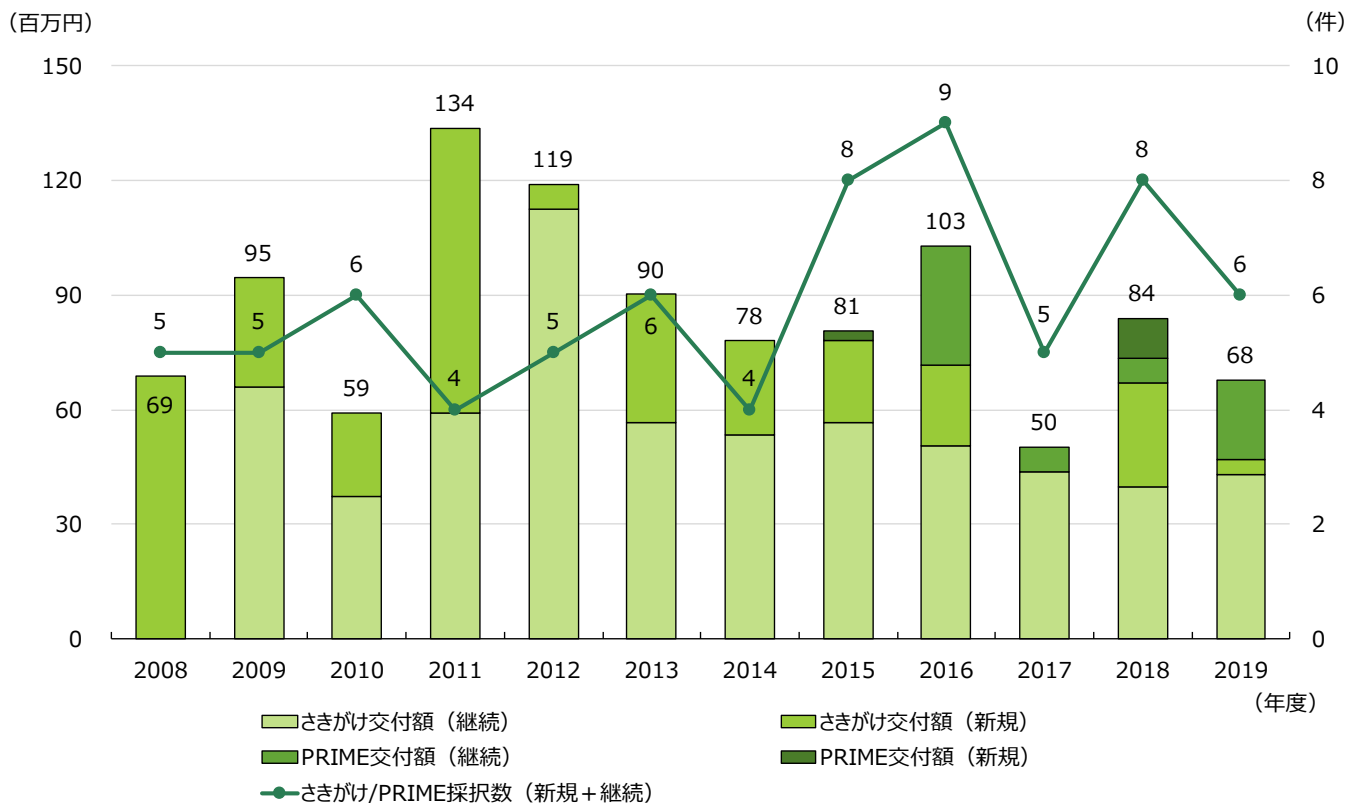
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

13-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」

○ 2019年度の採択件数は、新規2件を含む6件であった。



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

さきがけ/PRIME 2019年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名		実施担当部局
さきがけ	情報幾何学と離散力学の融合と社会ネットワーク解析への応用	システム情報学研究科
	高周波電子スピン共鳴によるマグノン熱伝導の制御	分子フォトサイエンス研究センター
	Triturated Computing System (粉末コンピューティングシステム)	システム情報学研究科
	接着の偏在によるモザイク形成メカニズム	医学研究科
	Mie共鳴による磁場増強を利用した光化学反応プラットフォームの構築	工学研究科
PRIME	ヒト腸内細菌Bacteroides 2 菌種の抗炎症作用機序の解明と慢性炎症性疾患治療への応用	医学部附属病院

○ 「さきがけ」

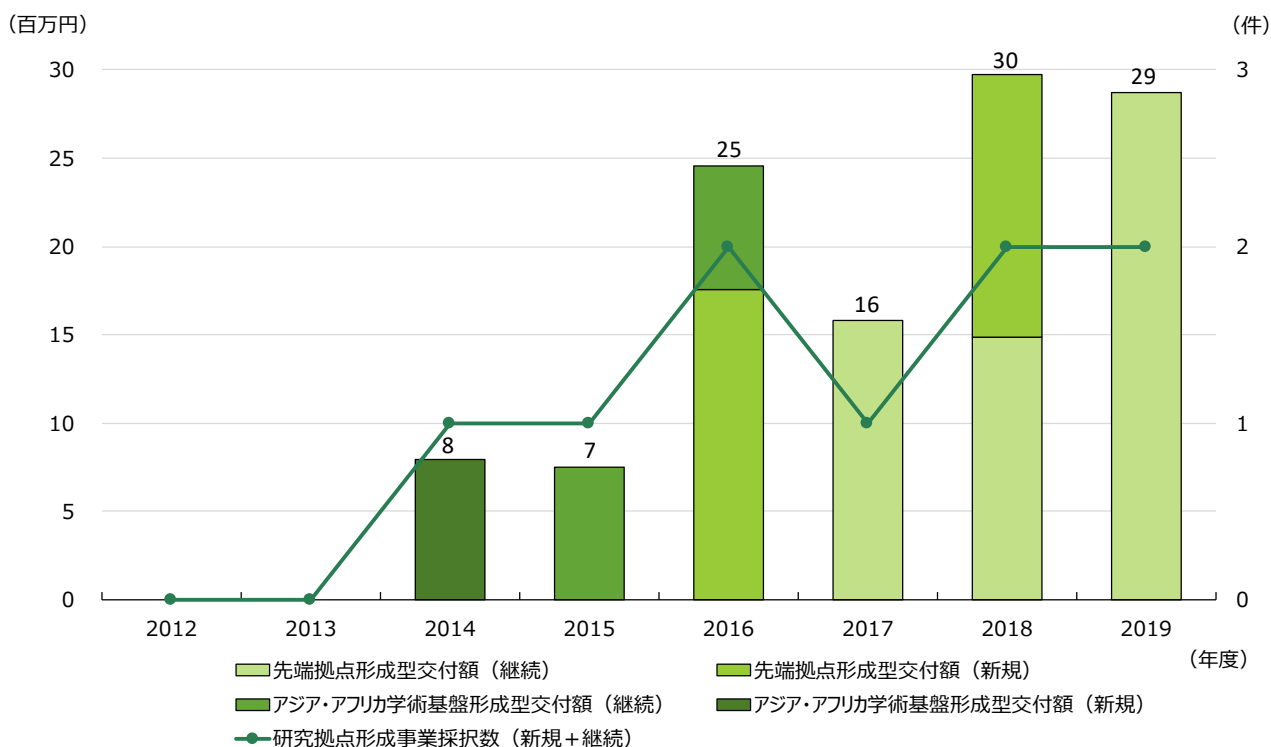
国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。

○ 「PRIME」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。

13-3 研究拠点形成事業

○ 全国で20件前後のプログラムが採択されており、本学は2014年、2016年、2018年に1件ずつ新規採択されている。



研究拠点形成事業 2019年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名	実施担当部局
日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成	国際文化学研究所
階層横断的グリ脳科学研究のための国際コンソーシアム拠点形成	医学研究科

○ 研究拠点形成事業

我が国において先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした事業。

14. 研究業績に関する主な受賞

14-1 代表的な受賞状況

2020年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（旧所属）	職名
【文化勲章】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【文化功労者】	西塚 泰美	1987年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	五百旗頭 真	2011年	法学研究科	名誉教授
	中井 久夫	2013年	医学部	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井 誠三	1989年	医学部	教授
	三嶋 豊	1994年	医学部	教授
	天野 明弘	2000年	経営学部	教授
	岡村 均	2007年	医学系研究科	教授
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	清野 進	2011年	医学研究科	教授
	金井 壽宏	2019年	経営学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚 泰美	1994年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【アルバート・ラスカー医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚 泰美	1989年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【ガードナー国際賞】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【朝日賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2008年	医学研究科	教授
【京都賞】基礎科学部門	西塚 泰美	1992年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【女性化学賞】	相馬 芳枝	2011年	自然科学研究科	特別顧問
【武田医学賞】	西塚 泰美	1982年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	高井 義美	2014年	医学研究科	教授
【日本学士院賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2017年	医学研究科	教授
	清野 進	2018年	医学研究科	教授
【日本学士院会員】	西塚 泰美	1991年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	河本 一郎	1995年	法学部	名誉教授
	三宅 一郎	1999年	法学部	名誉教授
	西村 和雄	2012年	社会科学系教育研究府	特命教授
	根岸 哲	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授
	大塚 啓二郎	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授

※本学在籍時及び名誉教授の受賞等を掲載

14-2 若手教員による受賞状況

2020年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【日本学術振興会賞】	野中 哲士	2017年	人間発達環境学研究科	准教授
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	佐藤 隆太	2015年	工学研究科	准教授
	倉重 佑輝	2016年	システム情報学研究科	准教授
	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
【科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献 （ナイスステップな研究者）】	末次 健司	2016年	理学研究科	特命講師
	源 利文	2016年	人間発達環境学研究科	特命助教
	西田 敬二	2017年	科学技術イノベーション研究科	教授

14-3 神戸大学出身者による受賞状況

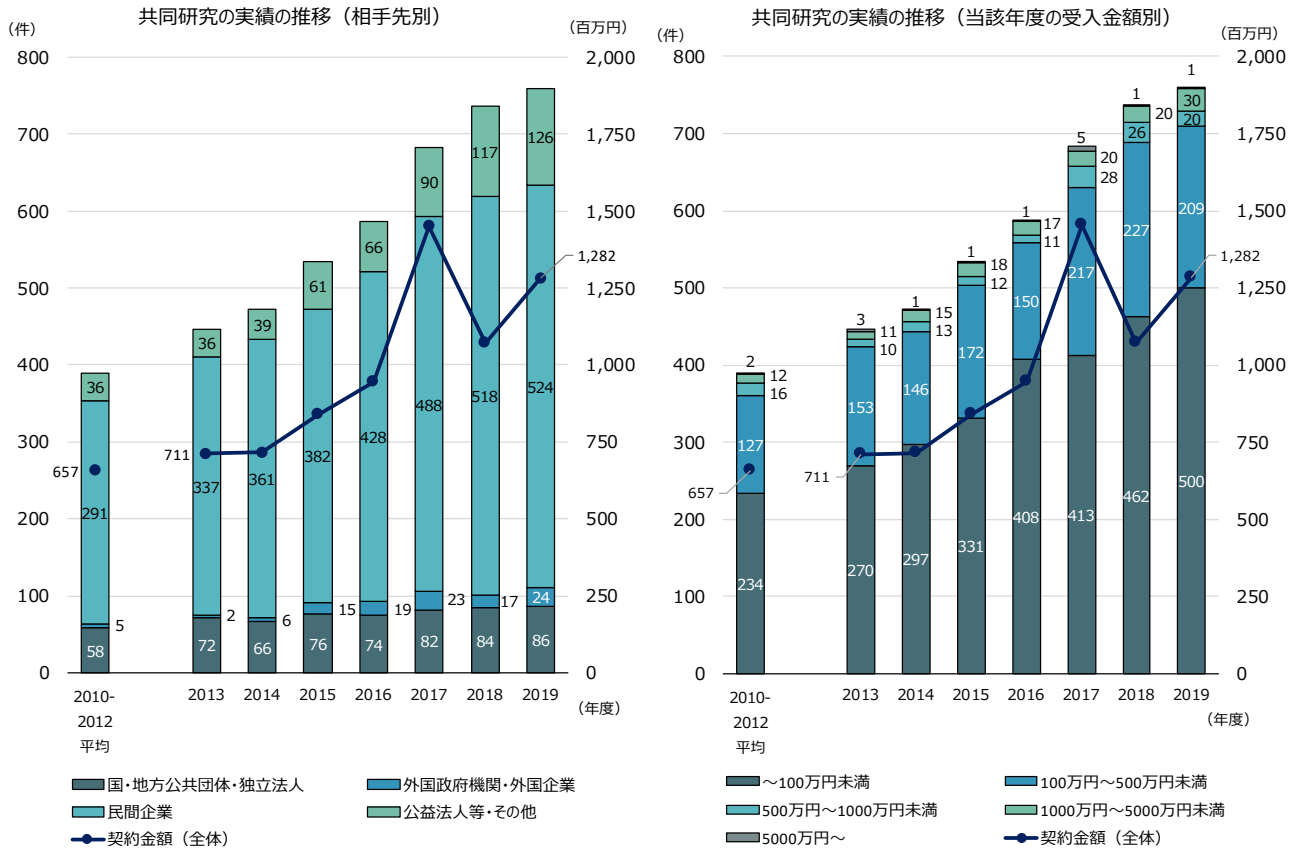
2020年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 （神戸大学工学部の前身）
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	-	2009年	
	【ミニミアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
	【日本学士院会員】	-	2010年	
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

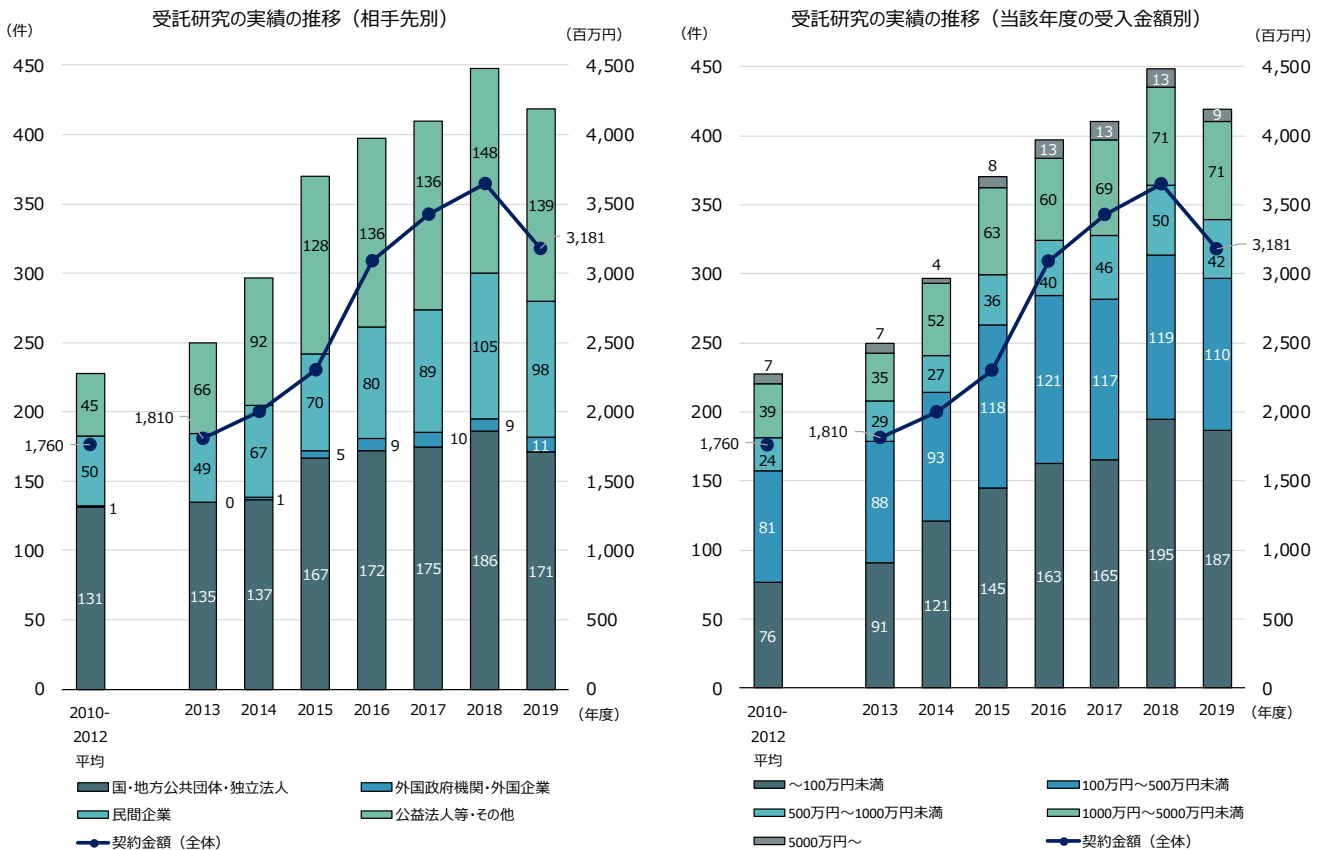
15. 産学官連携状況

15-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は各分野で順調に伸びている。
- 共同研究の契約金額は特に大きかった2017年度には及ばないが、期間を通じて増加傾向が続いている。

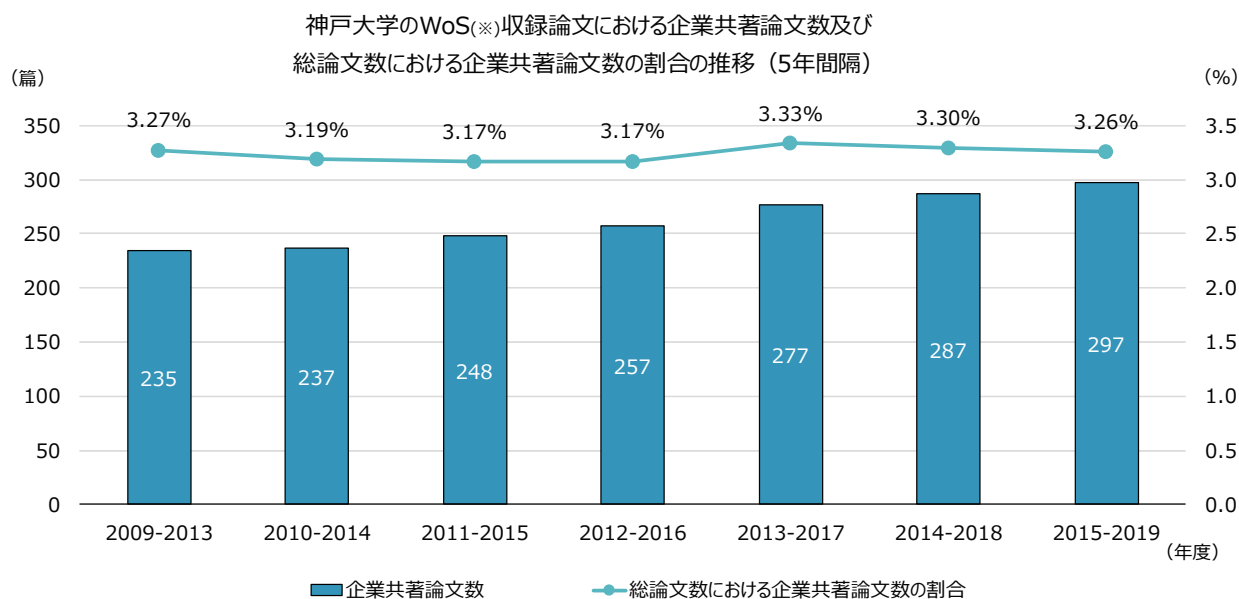


- 2013年度以降増加していたが、2019年度は件数、受入金額共に前年度と比べて減少した。



15-2 企業共著論文数の推移

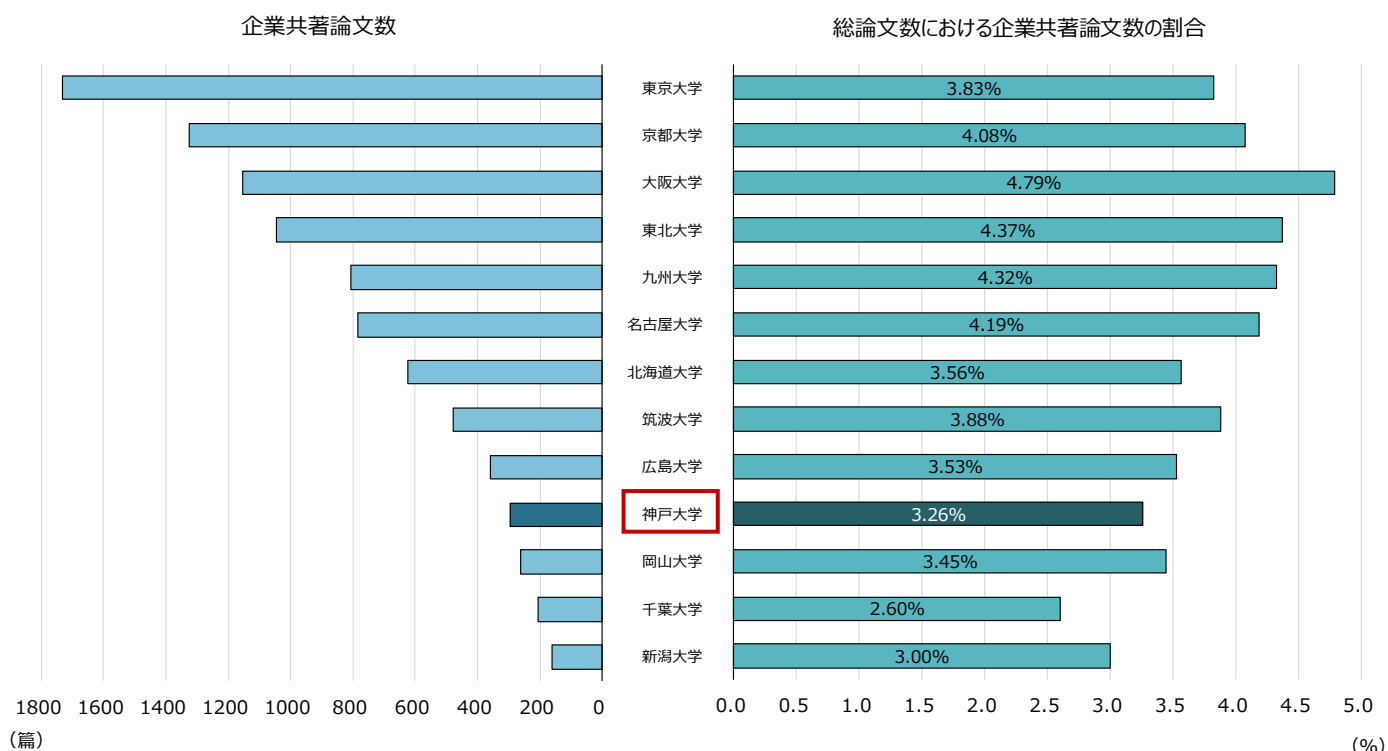
- 企業共著論文数は緩やかな増加傾向にある。



出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、データは2020年9月1日現在の数値である。
 ※「WoS」＝「Web of Science™」（クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース）の略。

15-3 企業共著論文の状況 – 大規模13大学間の比較 –

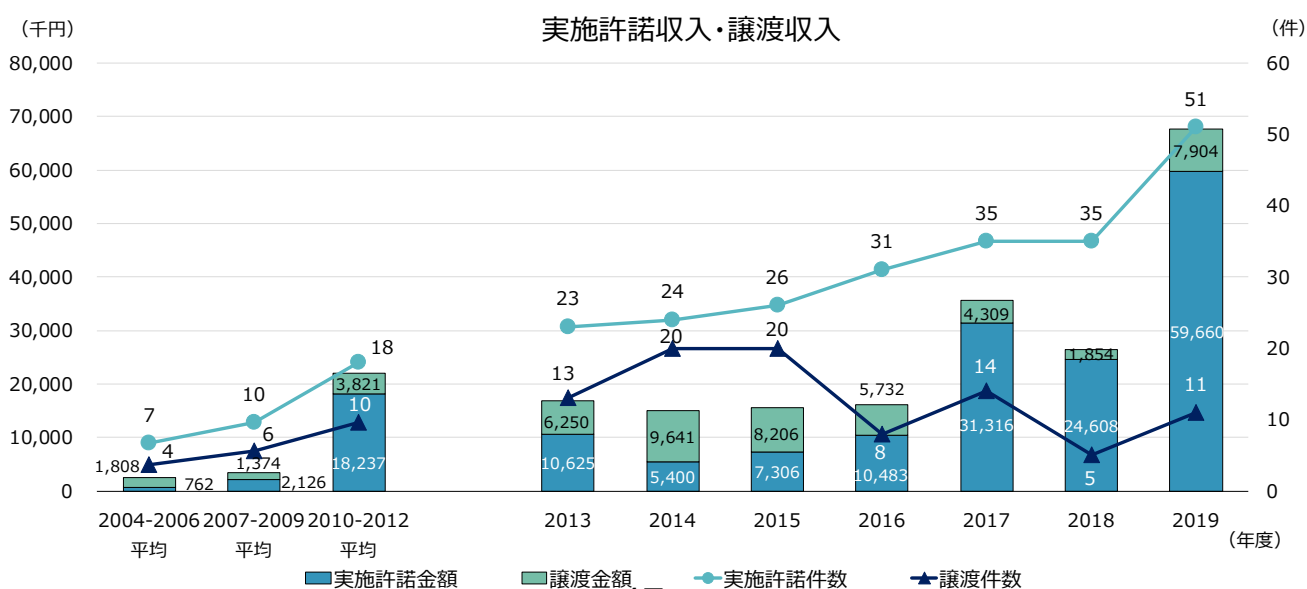
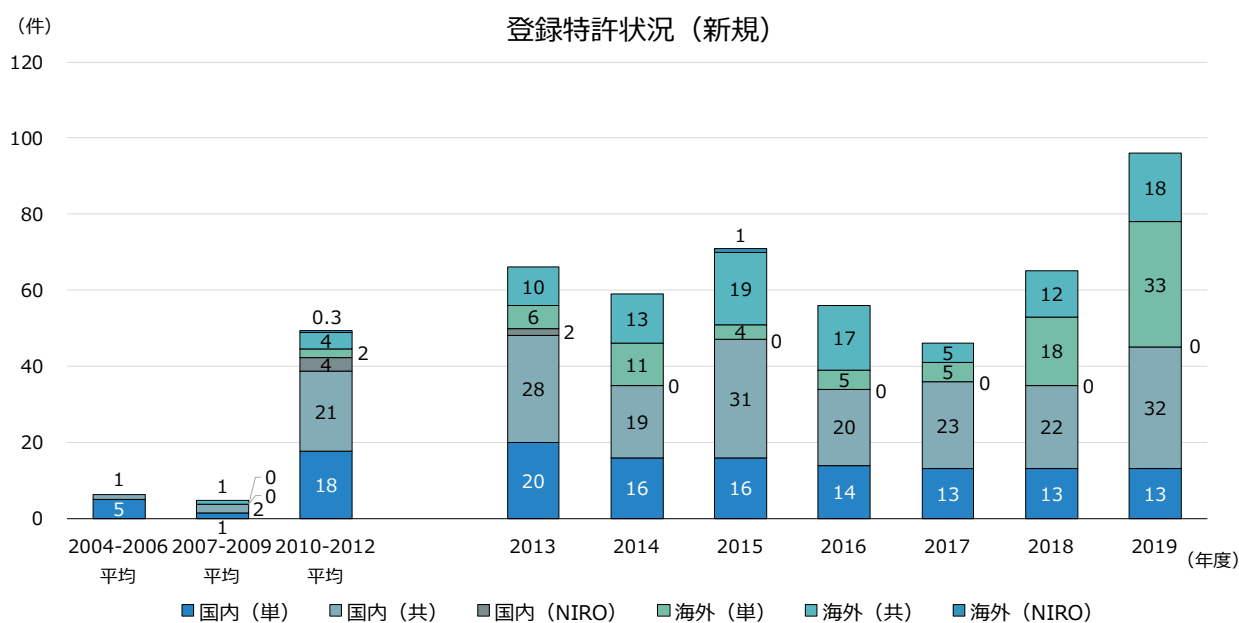
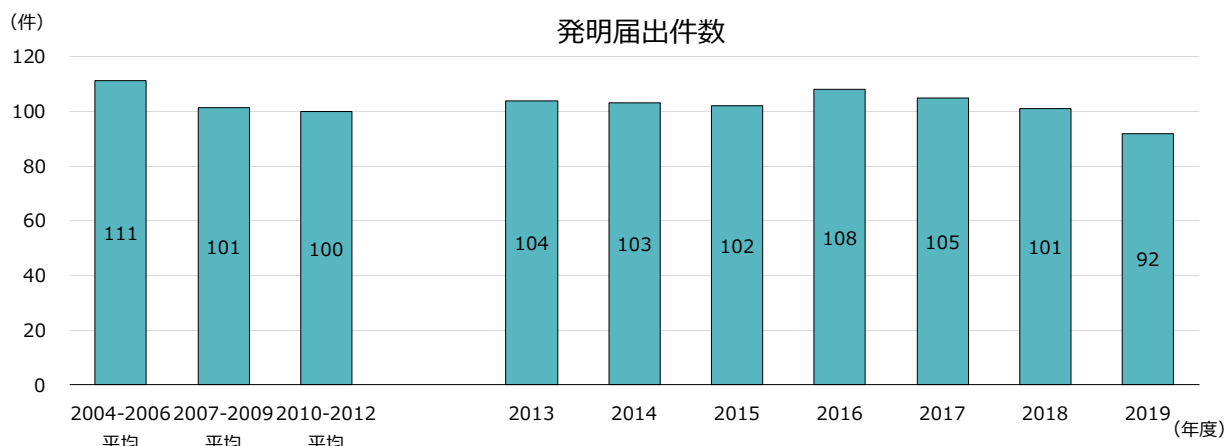
- 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は10位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合は11位であった。



出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、各大学における2015-2019の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2020年9月1日現在の数値である。

15-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数は、過去15年間、100件前後で推移している。
- 登録特許は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は安定的に推移していたが、2019年度は前年度に比べて大幅に増加した。
- 2019年度は実施許諾件数、実施許諾金額、譲渡件数、譲渡金額のいずれにおいても前年度に比べて大幅に増加した。



15-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計35社のベンチャー企業を設立している。
- 2016年に設立した「株式会社科学技術アントレプレナーシップ」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

(2020年5月1日現在)

形態	企業名	設立年月	事業の概要
株式会社	エイアールテック	2001年4月	集積回路の設計、開発・販売業務 および設計者育成
株式会社	ネオケミア	2001年5月	医薬品、医療用具、化粧品等の研究開発
株式会社	Bio-energy	2001年8月	バイオ燃料生産、アーミング菌体の開発など
株式会社	ピークル	2002年8月	制癌剤、遺伝子治療薬、バイオナノ粒子を用いる細胞の開発など
株式会社	環境管理会計研究所	2003年4月	マテリアルフロコスト会計の導入支援
株式会社	膠原病研究所	2003年6月	自己免疫疾患の治療薬開発、関節リウマチなど膠原病の治療薬の開発
株式会社	リタニアルバイオサイエンス	2004年3月	免疫賦活剤LBSカルチャー原末の研究開発、製造販売
有限会社	ジーン・アンド・ジーンテクノロジー	2004年5月	石油系炭化水素を生産する微細藻類の研究開発
株式会社	マスターオブサイエンス	2006年7月	安全性の高い医薬品の開発
株式会社	E S 研	2009年3月	省エネルギー技術コンサルティング業
株式会社	センサーズ・アンド・ワークス	2011年4月	焦電型赤外線センシング技術の開発販売
株式会社	Integral Geometry Science	2012年4月	計測機器、信号・画像処理ソフトウェアの専門事業
株式会社	mplusplus	2013年8月	LED電飾を使ったウェアラブル機器を主とした企画開発、コンサルティング
株式会社	科学技術アントレプレナーシップ	2016年1月	ベンチャー起業コンサルタント、M & Aに関するアドバイザーなど
株式会社	ドリームファスナー	2016年3月	医療機器分野の新商品開発、商品の企画、制作、販売
株式会社	シンプロジェン	2017年2月	長鎖DNA合成技術による「正確で長い」DNAを活用した事業
株式会社	バイオバレット	2017年2月	切らないゲノム編集技術を活用した事業開発
株式会社	ViSpot	2017年9月	ウイルス安全性評価試験（ウイルスクリアランス試験）受託
株式会社	イノベーション・アクセラ	2018年2月	アントレプレナーシップ教育事業、会員のネットワーキング事業とメンターの育成、シード・アクセラレーション事業
株式会社	BESTOWS	2018年8月	機械加工用アプリケーションソフトウェアの開発、販売および保守・点検など
株式会社	アルジー・ネクサス	2019年1月	微細藻類関連バイオベンチャー
株式会社	Re-VOL.	2019年3月	アプリ開発・運用、ITシステム・アプリの受託開発、有給長期インターンシップの紹介事業
株式会社	シンアート	2019年3月	合成生物及び合成化学の融合技術に係る研究及び開発
株式会社	リチエルカセキュリティ	2019年12月	セキュリティテストプログラムの研究及び開発、インシデントレスポンスの支援、コンサルティング、トレーニング提供
株式会社	バックス・バイオイノベーション	2020年3月	バイオテクノロジー関連技術による有用物質生産に関する受託サービス、自社製品開発

※HP等で内容を確認できる主な企業等を掲載。

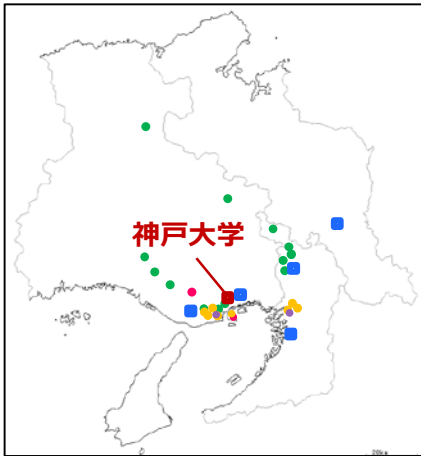
16. 国内の大学等との連携協定

○ 本学は、国内の数多くの機関や企業と連携協定を結び、研究・教育・医療の各分野において、充実した社会発展への寄与に取り組んでいる。

◆ 大学間連携協定等締結状況 (2020.5.1現在)



◆ 近畿地方の大学間連携協定等締結先 (2020.5.1現在)



- = 大学 (本部所在地)
- = 自治体等 (庁舎等所在地)
- = 民間企業 (本社所在地)
- = 国立研究開発法人等 (所在地)
- = 官公庁 (庁舎)

※このページにて記されている連携協定は全学的に締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

○ 東北地方の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	東北大学	2011年10月23日
大・研	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構の歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携・協力に関する基本協定書	東北大学、大学共同利用機関法人人間文化研究機構	2018年1月26日

○ 関東地方の連携先との大学間連携協定等 (一部近畿地方の連携先含む)

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	一橋大学、大阪市立大学	2010年2月1日
民	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	一般社団法人日本プロジェクト産業協議会	2014年4月1日
	国立大学法人神戸大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協力に関する協定	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	2014年6月23日
	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	アステラス製薬株式会社	2018年3月30日
	国立大学法人神戸大学と第一三共株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	第一三共株式会社	2018年5月31日
独	教育研究活動や国際交流への支援、及びこれに資する人材育成等を目的とした連携協定	株式会社クレディゾン	2018年11月26日
	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	2011年3月1日
	国立大学法人神戸大学と独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)	2017年6月7日
	国立大学法人神戸大学と独立行政法人海洋研究開発機構 ^(※) との包括連携協定	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	2012年12月20日

○ 近畿地方の連携先との大学間連携協定等

区分	協定名称	協定締結機関	締結日	
大	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	神戸薬科大学	2007年7月17日	
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	京都大学	2010年4月1日	
	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	京都大学、大阪大学	2013年12月21日	
	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	兵庫県立大学	2018年1月23日	
自	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	神戸市灘区	2004年12月2日	
	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	小野市	2005年1月26日	
	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町 (現・朝来市) との連携協力に関する協定	朝来市	2005年3月23日	
	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	加西市	2009年5月19日	
	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	兵庫県	2010年8月2日	
	国立大学法人神戸大学と篠山市 (現・丹波篠山市) との連携協力に関する協定	丹波篠山市	2010年8月30日	
	教員養成のための連携協力に関する協定	大阪府豊能地区 (豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町) 教育委員会	2012年12月18日	
	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	神戸市	2013年5月24日	
	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	三木市	2013年6月27日	
	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	兵庫県教育委員会	2014年1月30日	
	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	神戸市教育委員会	2015年11月6日	
	民	国立大学法人神戸大学と川崎重工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	川崎重工業株式会社	2006年10月23日
		連携協力協定	本州四国連絡高速道路株式会社	2009年7月1日
		神戸大学と池田銀行 (現・池田泉州銀行) の連携協力に関する協定	池田泉州銀行	2009年8月6日
国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定		株式会社カネカ	2010年12月14日	
国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定		株式会社神戸新聞社	2014年7月7日	
国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定		バンドー化学株式会社	2014年9月24日	
国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定		阪神高速道路株式会社	2015年12月15日	
国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定		小野薬品工業株式会社	2018年3月30日	
研		国立大学法人神戸大学と独立行政法人理化学研究所 ^(※) 計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携・協力に関する協定	国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究センター (R-CCS)	2012年5月15日
		独立行政法人防災科学技術研究所 ^(※) 兵庫耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター	2014年9月29日
	国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定	国土交通省近畿地方整備局	2015年7月8日	
官	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定	兵庫県警察本部、兵庫県立大学	2016年2月19日	

○ 四国地方の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	徳島大学	2018年1月23日

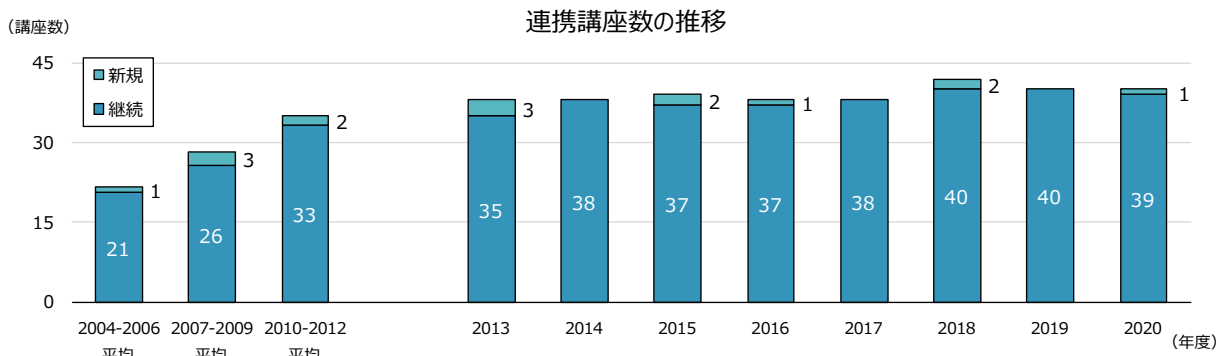
○ 九州地方の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
自	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	大分県中津市	2016年4月22日

【区分】大…大学、自…自治体等、民…民間企業等、独…独立行政法人、研…国立研究開発法人等、官…官公庁等
 (※)…2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

17. 連携大学院等実施状況

- 本学では、ほとんどの研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織と連携講座を設けており、2020年度は40講座となっている。
- 寄附講座、共同研究講座等も増加しており、12講座・研究部門となっている。



※グラフの講座数は下記一覧の「講座名」数を表す。

◎連携講座一覧(2020年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館 (独)国立文化財機構 奈良国立博物館	2007年度
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
人間発達環境学研究所	人間環境学専攻	環境先端科学	国立研究開発法人国立環境研究所 国立研究開発法人産業技術総合研究所	2007年度
経営学研究科	経営学専攻・現代経営学専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	1998年度
		事業価値評価	GCA(株)	2006年度
		経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	1999年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(公財)高輝度光科学研究センター	2007年度
		理論生物化学	国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター	2011年度
	生物学専攻	発生生物学	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007年度
		生物制御科学	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015年度
医学研究科	医科学専攻	惑星地球変動史	国立研究開発法人海洋研究開発機構 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 先端技術センター	2013年度
		応用惑星学	気象庁気象研究所	2016年度
		生理学・細胞生物学	国立研究開発法人理化学研究所 多細胞システム形成研究センター	2002年度
		生化学・分子生物学	(財)高輝度光科学研究センター	2000年度
		微生物感染症学	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	2007年度
		地域社会医学・健康科学	兵庫県立健康生活科学研究所	2008年度
		内科学	(株)カン研究所	2011年度
			兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	2001年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2008年度
		外科系	兵庫県立こども病院	2013年度
			兵庫県立ひょうごこころの医療センター	2020年度
			兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
保健学研究科	保健学専攻	リハビリテーション科学	国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2013年度
		地域防災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	2007年度
工学研究科	建築学専攻	機能性薄膜学	パナソニック(株) 先端技術研究所	2007年度
	電気電子工学専攻	知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部 神戸総合技術研究所	2007年度
	機械工学専攻	機能応用モデル	国立研究開発法人情報通信研究機構	2007年度
		開智型ものづくり	川崎重工(株) 技術開発本部	2009年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		化学エネルギー変換プロセス学	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		生物機能工学	(財)サントリー 生物有機化学研究所	2009年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	2010年度
		ケミカル・バイオセンシング	国立研究開発法人産業技術総合研究所	2011年度
環境エネルギー・材料学	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	2018年度		
システム情報学研究科	システム科学専攻	応用システム	三菱電機(株)	2007年度
	情報科学専攻	感性アートメディア	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
		知能統合	国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018年度
	計算科学専攻	応用計算科学	国立研究開発法人海洋研究開発機構	2010年度
農学研究科	資源生命科学専攻	大規模計算科学	国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究機構	2013年度
		食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	国立研究開発法人海洋研究開発機構	2007年度
		地域環境科学	(財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	2009年度

◎寄附講座(2020年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	寄附者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学講座	MSD(株) ノボルディスクファーマ(株) 興和創薬(株) 大正富山医薬品(株)	2018年10月1日 ~ 2023年3月31日
		病理学講座	北播磨総合医療センター	2020年4月1日 ~ 2023年3月31日
		地域社会医学・健康科学講座	兵庫県	2020年4月1日 ~ 2025年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
			神戸市	2018年4月1日 ~ 2021年3月31日
			シミックホールディングス(株) 日本ユニシス(株)	2019年8月1日 ~ 2022年7月31日
		内科学講座	日本メトロニック(株) アボットメディカルジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
		内科系講座	神戸市	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			神戸市	2020年4月1日 ~ 2024年3月31日
		外科学講座	シスメックス(株)	2018年10月1日 ~ 2021年9月30日
			シスメックス(株)	2020年4月1日 ~ 2023年3月31日
			兵庫県/養父市	2020年4月1日 ~ 2021年3月31日
(株)メディカロイド	2019年4月1日 ~ 2021年3月31日			
神戸市	2017年4月1日 ~ 2022年3月31日			
(株)サージカル・スペイン 兵庫県病院事業管理者	2018年4月1日 ~ 2021年3月31日 2018年4月1日 ~ 2023年3月31日			

◎寄附研究部門(2020年5月1日現在)

センター名	部門名	寄附者	講座期間
バイオシグナル総合研究センター	シグナル分子応答研究部門	(公財)住友電工グループ 社会貢献基金	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日

◎共同研究講座(2020年5月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	共同研究者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生化学・分子生物学講座	イーザイ(株)	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
		内科系講座	GEヘルスケアジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	2019年7月1日 ~ 2022年6月30日
			キヤノンメディカルシステムズ(株)	2020年1月1日 ~ 2022年12月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	(株)プロテックス・ジャパン	2020年4月1日 ~ 2025年3月31日

◎共同研究部門(2020年5月1日現在)

研究科名	専攻名	部門名	共同研究者	講座期間
理学研究科	惑星学専攻	高性能プロセッサコデザイン部門	(株)テラピクセル・テクノロジーズ	2019年8月1日 ~ 2022年3月31日

18. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。
 なお、2018年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、2024年3月31日まで認定されている。

内海域環境教育研究センター マリンサイト ※2016年度に自然科学系先端融合研究環より移行

【 拠点名 都市域沿岸の海洋生物・生態系と環境管理に関わる教育共同利用拠点 】

2019年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	14	41	181
公立大学	3	14	30
私立大学	6	7	30
民間・独立行政法人等	8	10	14
外国の研究機関	27	35	39
計	58	107	294



2019年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
全国公開臨海実習 Aコース	沿岸域生態系の主要な構成要素の1つである海藻類を対象に、その生物多様性を、分類・生態・形態・生理・進化・遺伝子などの多様な側面から学んだ。（利用者数：10名）
全国公開臨海実習 Bコース	ため池と河川の生物群集が陸域からの資源供給に支えられていることを実測するとともに、それら陸域－淡水域間の相互作用が河口付近に形成される干潟の生物群集とどのように関係しているか検証した。（利用者数：7名）
全国公開臨海実習 Cコース	神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」による海洋実習を行った。海水の水温・塩分・溶存酸素濃度・光量・流速などの観測、海水・プランクトン・海底堆積物の採取・分析を通して、内湾環境の多様性とその原因を考察した。（利用者数：4名）
奈良女子大学 臨海実習	藻類の多様性と進化・沿岸環境との関わりについての講義、船舶を用いた沿岸環境の観察、淡路島の沿岸における海藻類・海産底生動物の生態観察・採集、実験室における海藻類・海産底生動物の同定、標本作製、組織観察などを行った。（利用者数：16名）
コロラド州立大学 Semester at the sea	Aquatic Conservation and Seafood Sustainability in Japanに関するセミナーを行った。（利用者数：31名）

大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター

【 拠点名 農場と食卓をつなぐ先端農業フィールド教育拠点 】

2019年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	9	20	20
公立大学	12	152	288
私立大学	6	81	149
民間・独立行政法人等	5	306	418
外国の研究機関	0	0	0
計	32	559	875



2019年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
農場と食卓をつなぐフィールド演習	神戸大学開講の大学コンソーシアム単位互換科目。9/4～6にウシの管理、ブドウの収穫と調製、イネの管理、キャベツの定植、場内散策、野草の利用などについて実習し、ワークショップを行った。（利用者数：11名）
農場から食卓まで （兵庫県立大学）	利用大学開講科目「特別フィールドワーク」の一環として実施。10/27にウシの飼養管理・鼻紋採取、サツマイモの収穫・調製などについて実習した。（利用者数：20名）
農場から食卓まで （京都産業大学）	利用大学開講科目「基礎特別研究」の一環として実施。11/4-5にウシの飼養管理、サツマイモ・ナシの収穫、農業などについて実習した。（利用者数：16名）
大動物診療実習 （大阪府立大学）	利用大学開講科目「大動物診療実習」を本学で実施。6/25-27、10/23-25に繁殖雌ウシの繁殖検診・栄養度判定・代謝プロファイルテスト、子ウシの去勢・診断・治療などについて実習した。（利用者数：延べ42名）
農業と遺伝資源 （兵庫県立農業大学校）	利用大学校開講科目「畜産特論」の一環として実施。11/25に畜産エリア案内と但馬牛の遺伝資源と改良についてワークショップを行った。（利用者数：10名）

大学院海事科学研究科附属 練習船深江丸

【 拠点名 海洋分野に関わる海事技術・海洋環境・ヒューマンファクタを学ぶ海上アクティブラーニング教育環境の共同利用拠点 】

2019年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	94	94
公立大学	1	31	62
私立大学	6	105	190
民間・独立行政法人等	1	21	21
外国の研究機関	0	0	0
計	9	251	367



2019年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学基礎論 I	心理学の諸問題に対処するための高度な知識や技能を修得することを目的とし、特に、応用・社会心理学的なアプローチに役立つと思われる具体的な技法を学ぶことを通して、新たな提言ができることを目指した。授業は原則として講義形式で行ったが、実習的要素も盛り込み、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」を利用して海上交通心理学関連の実習を行った。（利用者数：12名）
神戸女学院大学 人間科学部 演習 I B	関心のあるテーマが共通した学生でグループになり、共同で研究（実験、調査、観察）を行うとともに、グループで主体的に研究し、データ解析及び論文へのまとめを行った。また、他のメンバーとのディスカッションを通じて、心理学の研究方法について理解を深めた。さらに、並行して、各自の卒論のテーマにつながる文献を読んで発表し、ゼミ生全員でディスカッションした。船舶（船内・海上）における安全意識・安全対策に関する体験実習として、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、船舶実習を行った。（利用者数：25名）
大阪大学 工学部 地球総合工学科 船舶設計製図	船舶の全体形状、居住施設、船倉、設備等を示した見取り図である船体一般配置図の船舶設計における重要性と、各種船舶の一般配置図の概要を学び、課題船舶の一般配置図を製図するため、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、船内の調査を行った。（利用者数：41名）
大阪府立大学 工学域 船舶工学特殊講義	船舶工学の中でも特に他の講義では深く取り扱うことの少ない船用機関、及び船用機関と船舶推進装置の関係などに関して基礎から概説・詳述した。また、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」による演習航海を通して、船舶の運航に関する理解を深めた。（利用者数：31名）
奈良大学 文学部 地理学講読・調査法（六）	フィールドワーク（野外巡検）を企画し、動画および報告書の作成を通してフィールドワークのまとめを行った。一連の調査を通しては、先行研究の整理と地形図、空中写真、空間データ、衛星画像等の情報収集及び分析を通して、地域構造、社会生活、経済活動、人口変化、地域文化といった総合的研究の基礎を学んだ。これらの演習に加えて、関連技術として、海上での最新の測位システムや地形図と海図の違いについて学ぶために、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」にて船上実習を行った。（利用者数：18名）

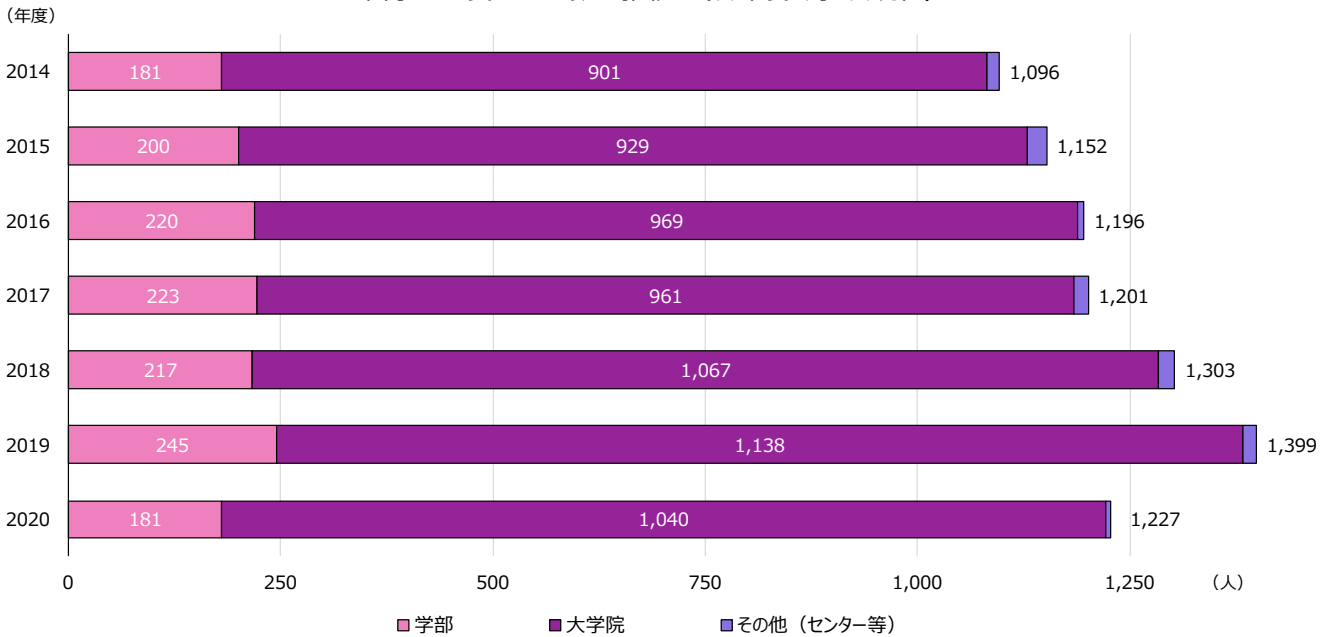
19. 留学

○ 留学生の受入れについて、2019年度（5月1日時点）は前年度の1,303名を上回り、過去最多となる1,399名を受け入れたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により大きく減少した。

19-1 外国人留学生受入れ状況 — 在籍段階別 —

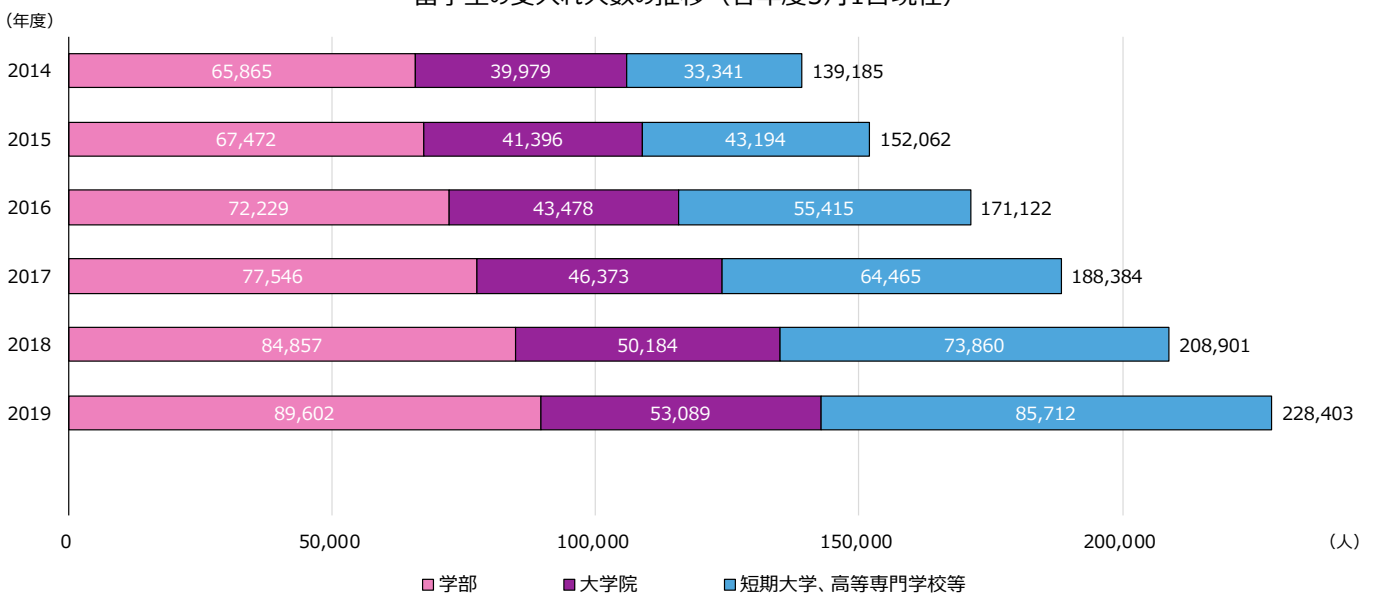
◆神戸大学◆

留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



◆全国◆

留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）

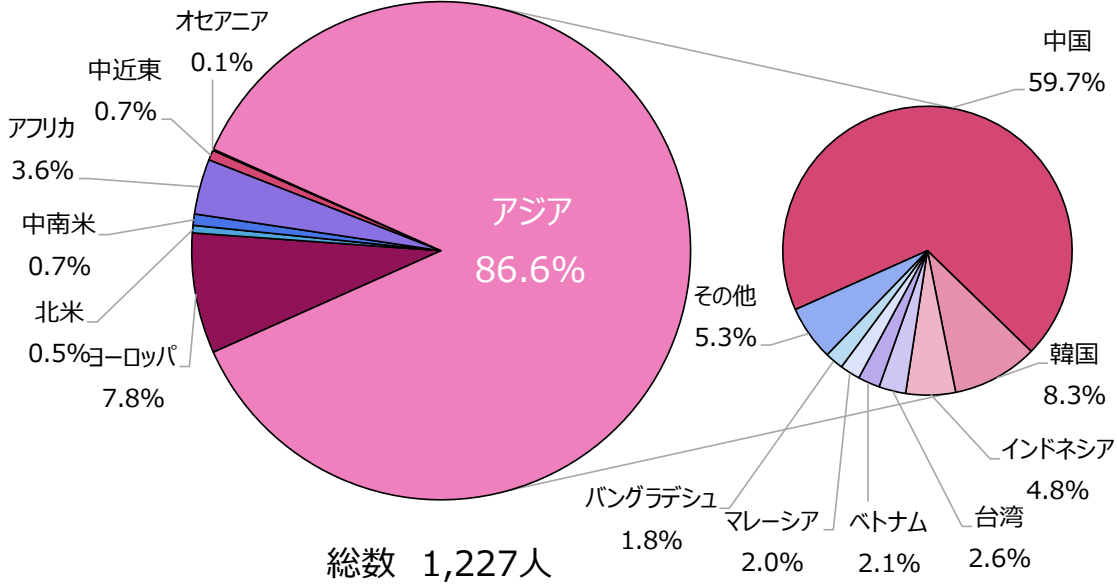


出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

19-2 外国人留学生受入れ状況 - 地域別 -

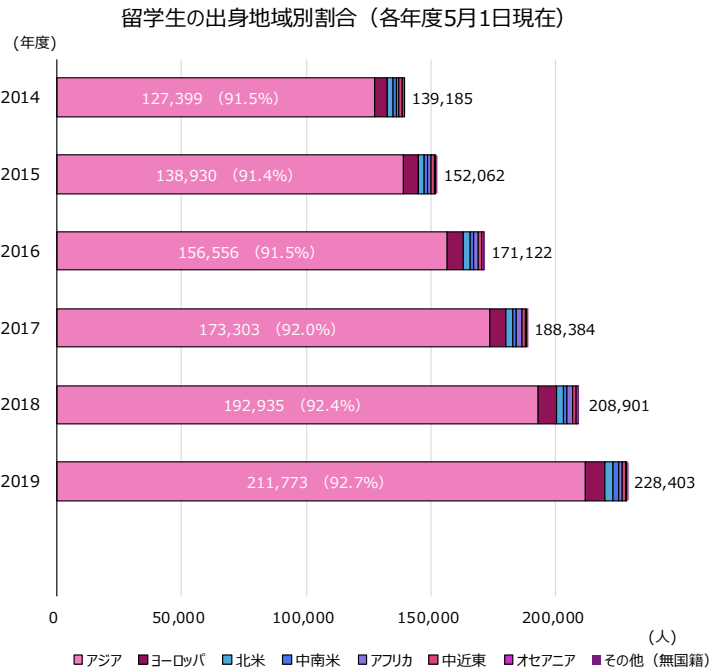
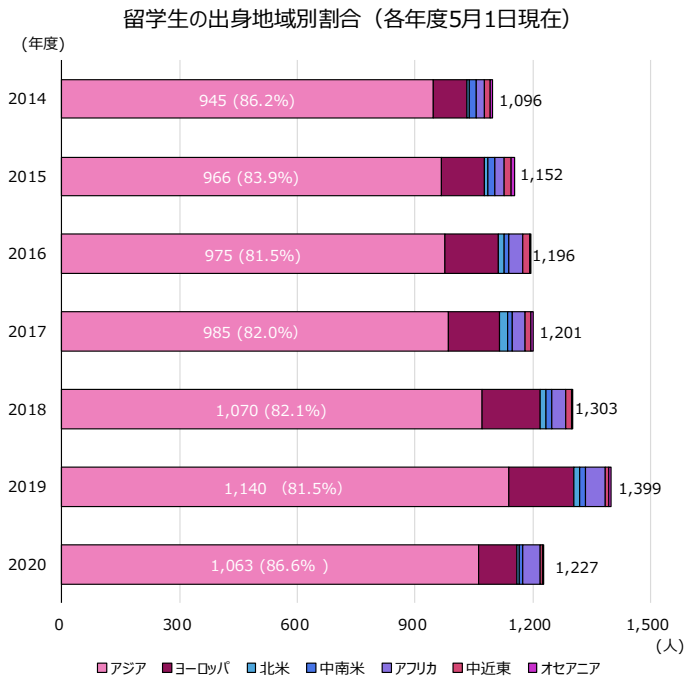
◆神戸大学◆

受入れ留学生数の地域別割合（2020年5月1日現在）



◆神戸大学◆

◆全国◆



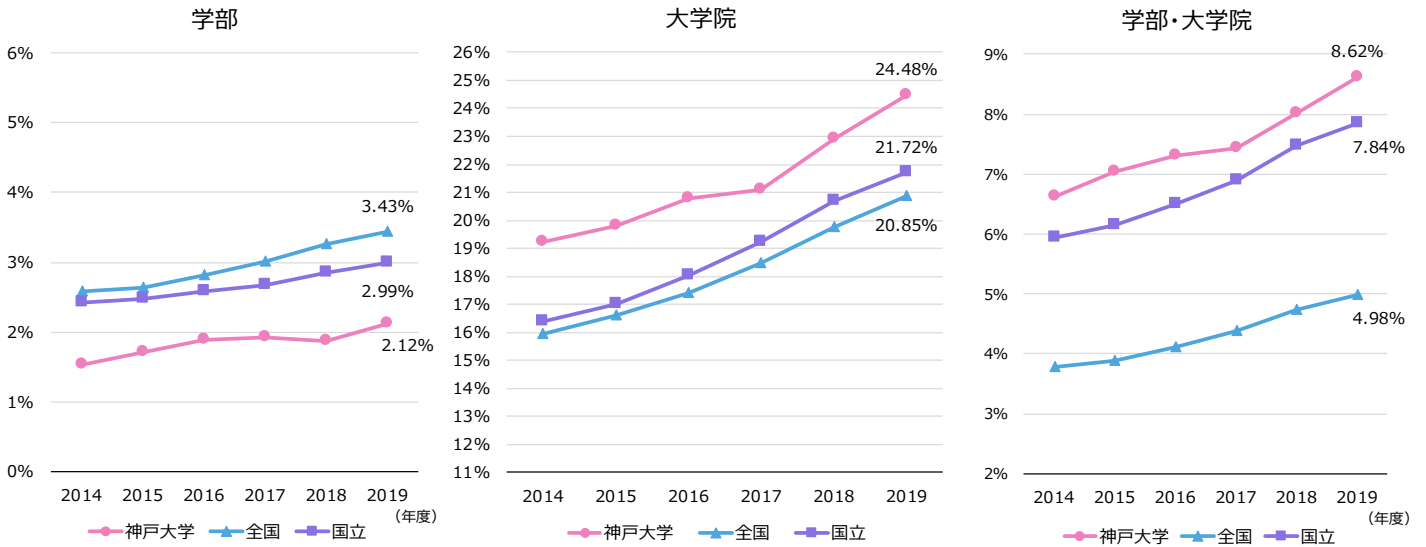
出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。

※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

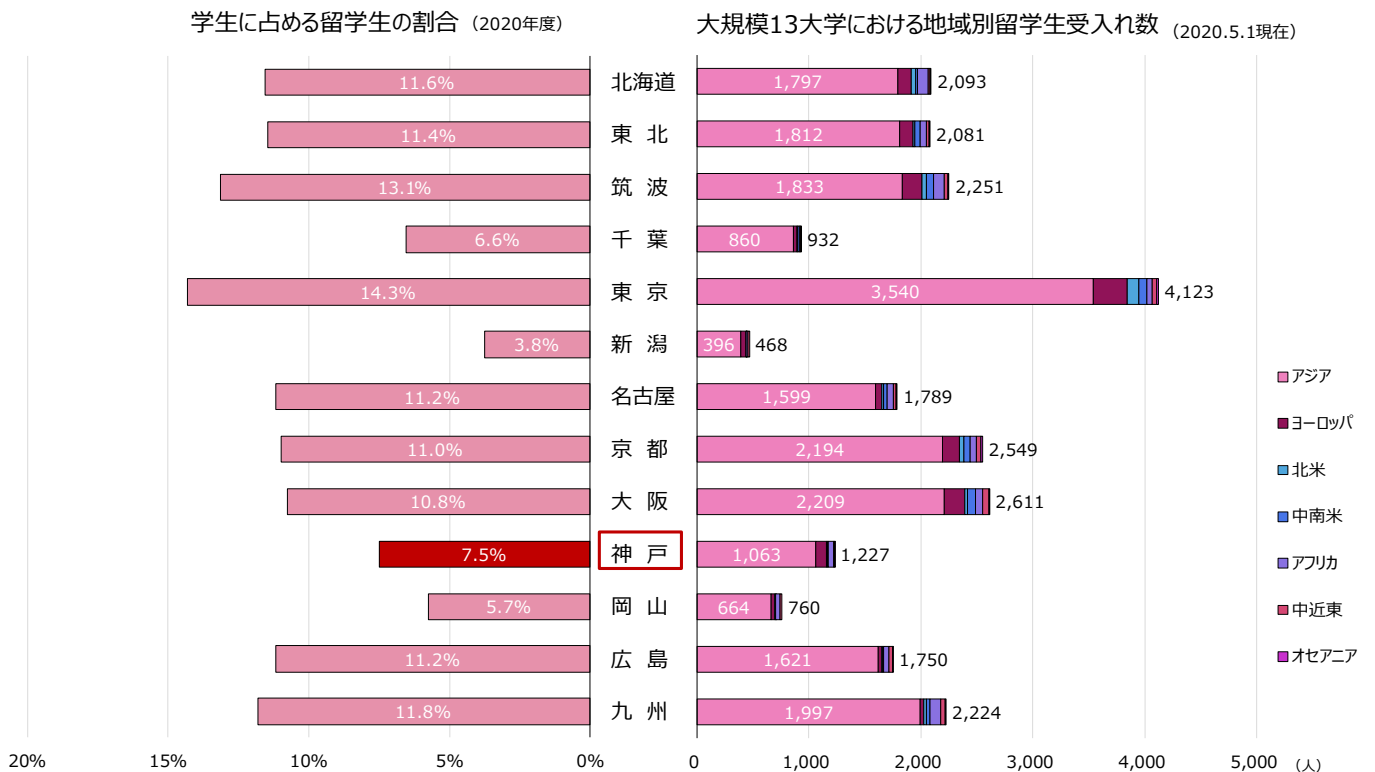
19-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率



出典 (全国・国立) : (留学生数) JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、(学生数) 文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率 (学部・大学院留学生比率) = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

19-4 大規模13大学の外国人留学生受入れ状況



出典 (学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(7-A) 学生数」 ※別科や専攻科を含む

出典 (留学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(11) 国費留学生, 私費留学生, 留学生以外の外国人学生」 ※留学生以外の外国人学生は含まない

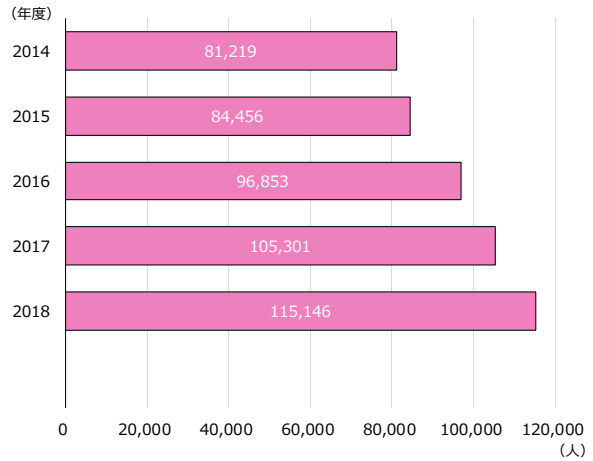
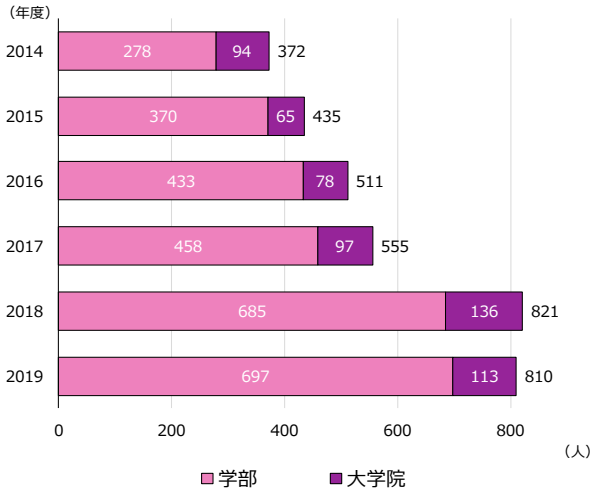
※留学生の割合 = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

- 本学では学生の海外留学を支援するため、2018年度からグローバル教育管理システムを導入したことにより、留学手続きが以前よりも簡略化され、派遣数が前年度比で約1.5倍増と大幅に伸びた。
- 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると、神戸大学は相対的にヨーロッパへの派遣比率が高い。EUの中心地であるブリュッセルにオフィスを構え、ヨーロッパ諸国との国際連携活動を展開している本学の特徴と言える。

19-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

◆神戸大学◆

◆全国◆



※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数

※神戸大学（左）…単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

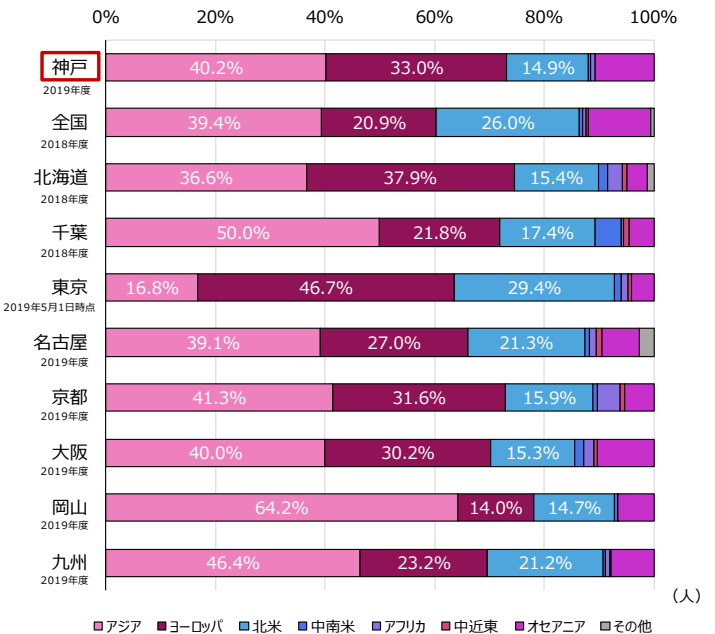
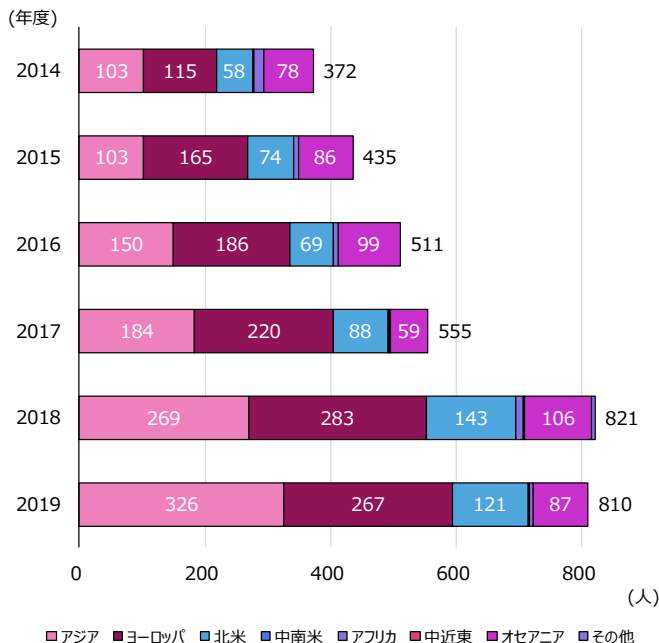
※全国（右）…協定等に基づく日本人留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍大学等把握分）の合計。

出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

19-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

◆神戸大学◆

◆各大学◆



※各大学のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。

※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。

北海道大学…協定等に基づく学生の海外派遣者数及び協定等に基づかない学生の海外派遣者数の合計

千葉大学…学生交流協定校以外への派遣を含む

東京大学、大阪大学…定義の記載なし

名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等

京都大学…外国へ渡航した学生数

神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの

岡山大学…スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より

九州大学…過年度に留学を開始した者を含む

出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

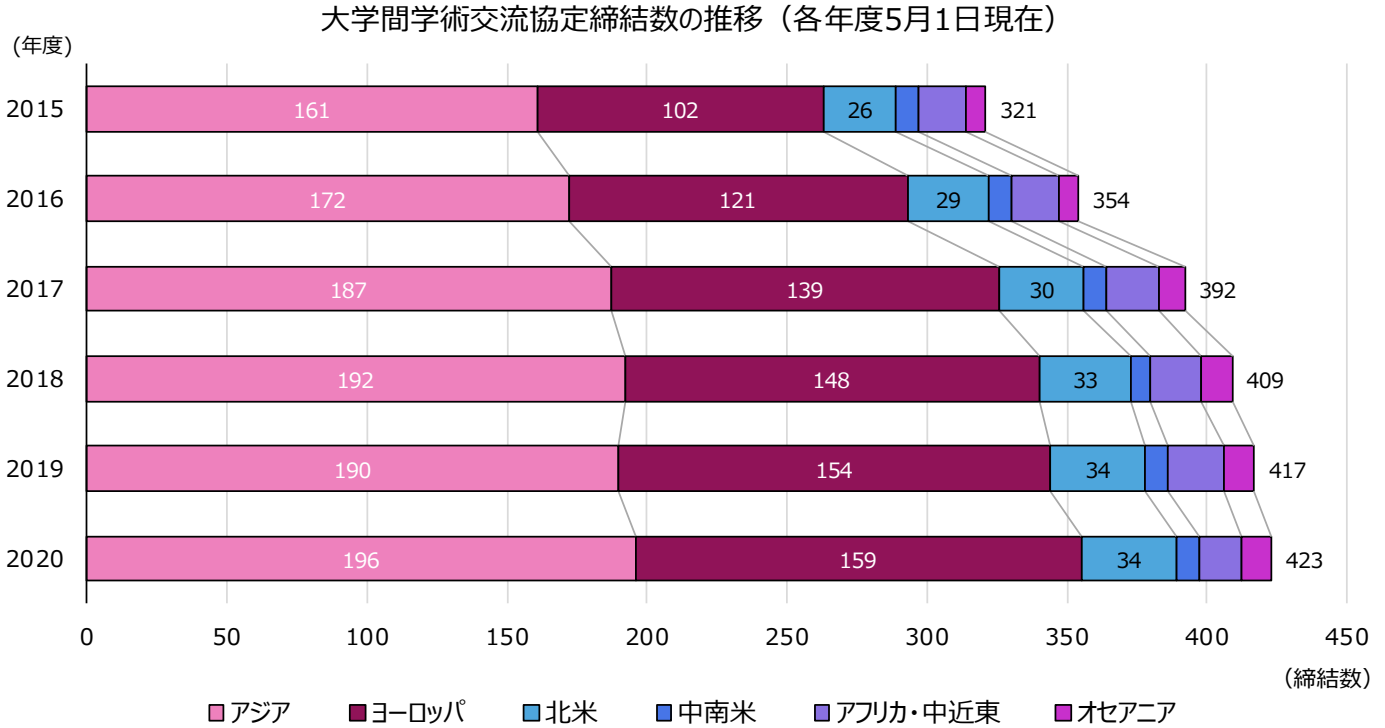
※「協定等に基づく日本人学生派遣数」と参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍学校において把握している限り）」の合計。

出典（各大学）：各大学のHP等

20. 海外大学との交流状況

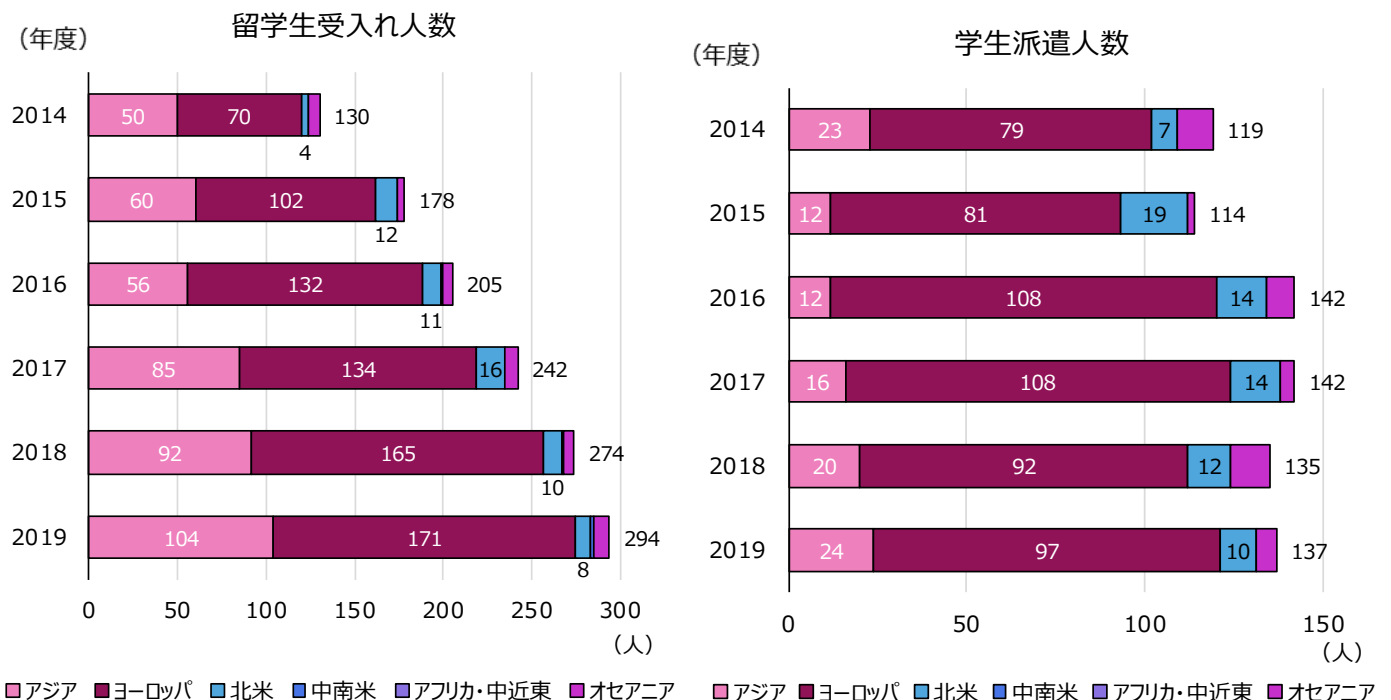
20-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア及びヨーロッパを中心に増加傾向にある。



20-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

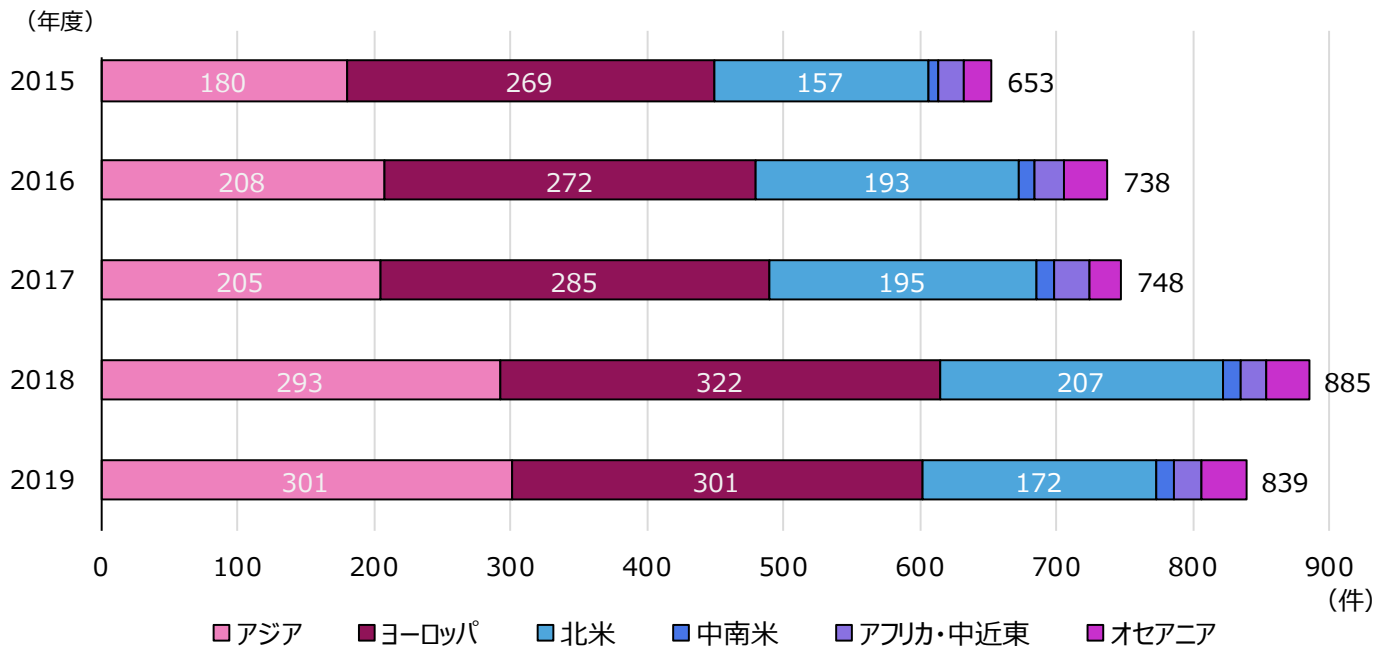
○ 大学間学術交流協定数の伸びと同調して、留学生受入れ人数は増加している。ヨーロッパの大学との交流が多くを占める一方、協定数の割にアジアの大学との交流が少なかったが、2017年度以降の留学生の受入れは大きく増加している。



20-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

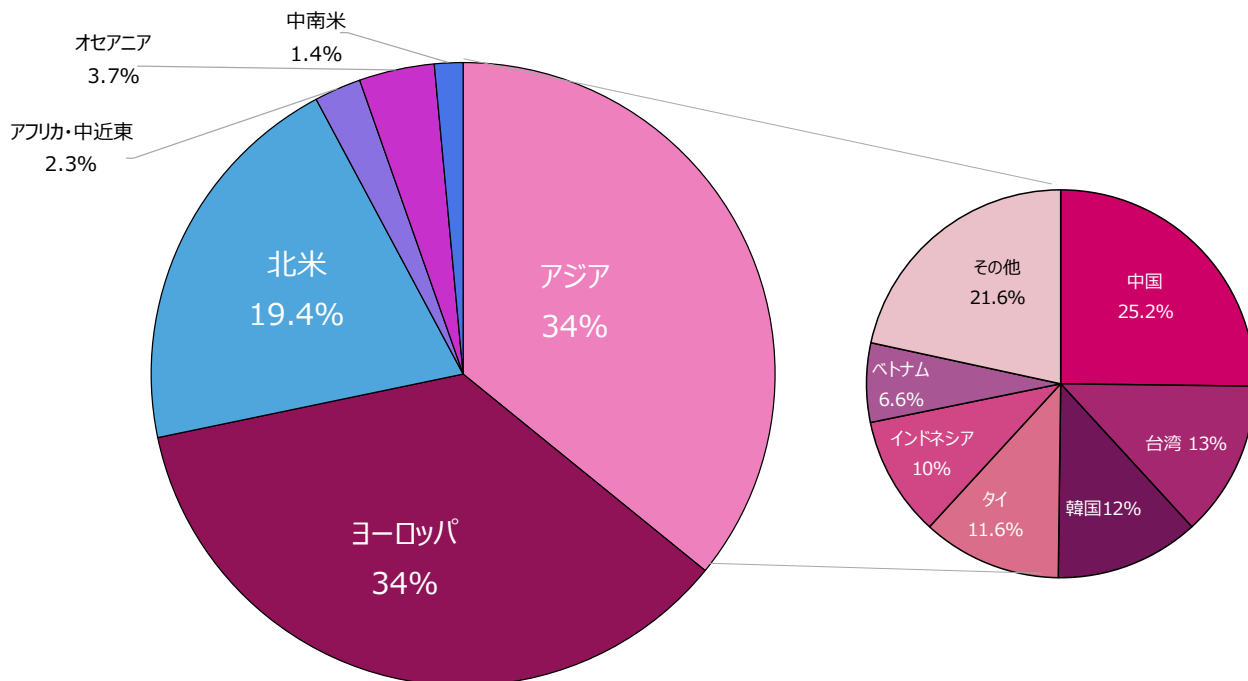
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米地域との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別ではアジアとの共同研究が増加しており、初めてヨーロッパと並んだ。そのアジアの国別に見ると、中国、台湾、韓国の順になっており、その他さまざまな国との研究が進んでいる。

海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2019年度）



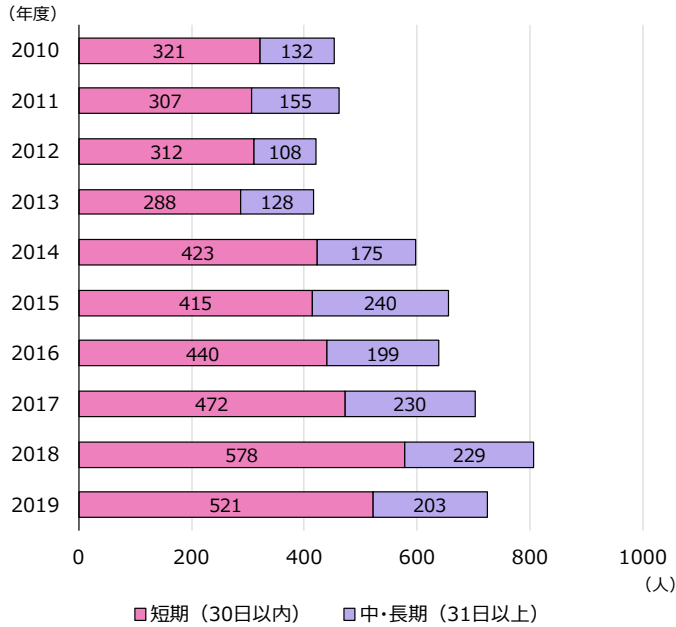
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

21. 研究者等交流状況

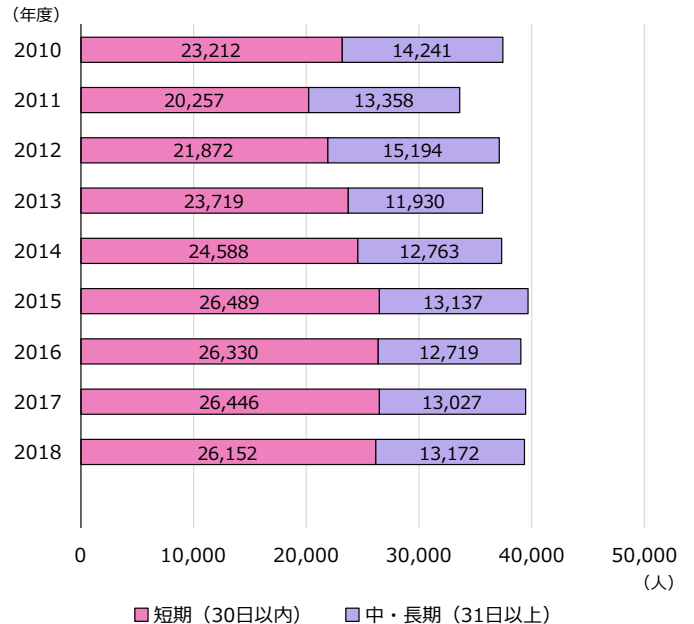
21-1 外国人研究者受入れ数の推移

○ 本学における外国人研究者受入れ数については、2013年度までは毎年400～450名程度を推移していたが、2014年度以降は600～700名程度となり、2018年度は800名を超えたが、2019年度は700人台となった。

神戸大学における期間別外国人研究者受入れ数



国公立大学・独立行政法人等の期間別受入れ研究者数

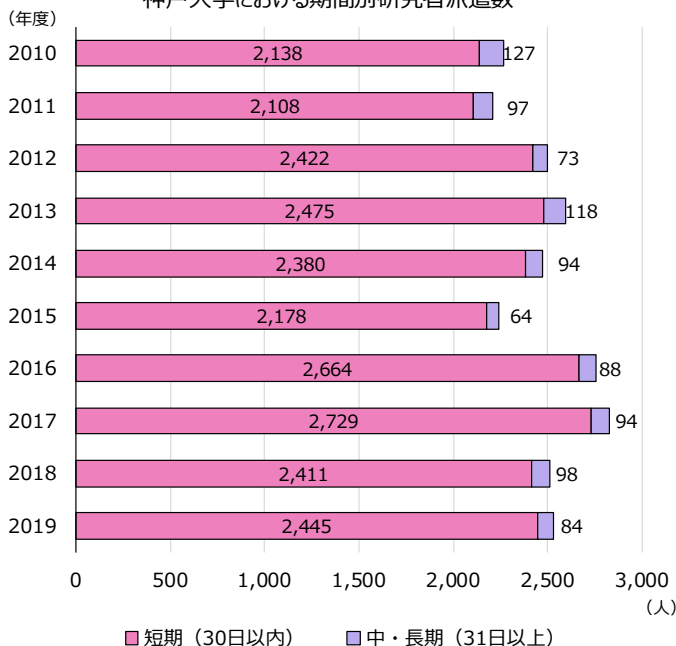


出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

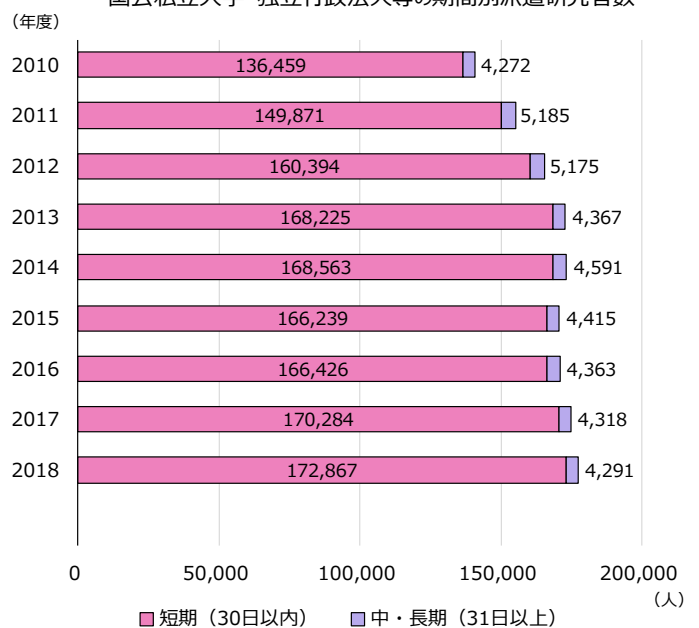
21-2 研究者海外派遣数の推移

○ 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
 ○ 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、2017年度は統計を開始した2008年度以降最多となる2,823名を派遣したが、近年は2,500人台に留まっている。

神戸大学における期間別研究者派遣数



国公立大学・独立行政法人等の期間別派遣研究者数



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

22. 国際化の状況

22-1 スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学との比較

- 本学は、外国人教員等数の総教員数に対する割合が高い。
- 外国語による授業の実施率、外国人留学生の全学生に対する割合等は高くないため、今後さらなる国際化が求められる。

①外国人教員等数の割合

順位	大学名	外国人教員等数	専任教員数	外国人教員等の割合
1	九州大学	1,061	2,385	44.5%
2	広島大学	720	1,732	41.6%
3	神戸大学	626	1,542	40.6%
4	岡山大学	554	1,479	37.5%
5	東北大学	1,034	3,121	33.1%
6	北海道大学	767	2,331	32.9%
7	大阪大学	1,010	3,565	28.3%
8	筑波大学	519	1,857	27.9%
9	名古屋大学	648	2,331	27.8%
10	千葉大学	333	1,308	25.5%
11	東京大学	1,282	5,776	22.2%
12	京都大学	529	3,404	15.5%

(2019年5月1日現在)

②外国人教員等数当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国人教員等数	外国人教員等数当たりの学生数
1	東北大学	18,395	1,034	17.79
2	九州大学	18,953	1061	17.86
3	広島大学	15,884	720	22.06
4	東京大学	28,485	1,282	22.22
5	岡山大学	13,353	554	24.10
6	大阪大学	24,414	1,010	24.17
7	北海道大学	18,713	767	24.40
8	名古屋大学	16,152	648	24.93
9	神戸大学	16,726	626	26.72
10	筑波大学	17,267	519	33.27
11	千葉大学	14,513	333	43.58
12	京都大学	23,513	529	44.45

(2019年5月1日現在)

③外国語による授業の実施率

順位	大学名	外国語による授業数	全授業科目数	実施率
1	名古屋大学	3,451	10,698	32.3%
2	広島大学	3,647	12,492	29.2%
3	九州大学	2,872	12,991	22.1%
4	北海道大学	1,786	8,775	20.4%
5	筑波大学	2,618	13,375	19.6%
6	岡山大学	1,236	9,450	13.1%
7	東北大学	1,042	8,823	11.8%
8	東京大学	1,655	14,991	11.0%
9	京都大学	1,307	13,762	9.5%
10	神戸大学	594	6,392	9.3%
11	大阪大学	1,280	18,120	7.1%
12	千葉大学	678	11,877	5.7%

(2018年度実績)

④外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生(※)の割合
1	東京大学	4,168	28,485	14.6%
2	筑波大学	2,372	17,267	13.7%
3	名古屋大学	2,037	16,152	12.6%
4	九州大学	2,387	18,953	12.6%
5	広島大学	1,899	15,884	12.0%
6	北海道大学	2,223	18,713	11.9%
7	東北大学	2,162	18,395	11.8%
8	京都大学	2,633	23,513	11.2%
9	大阪大学	2,594	24,414	10.6%
10	神戸大学	1,399	16,726	8.4%
11	千葉大学	1,018	14,513	7.0%
12	岡山大学	768	13,353	5.8%

(2019年5月1日現在)

⑤日本人学生の海外留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	海外留学経験者数	全学生数(外国人留学生除く)	海外留学の割合
1	千葉大学	914	13,573	6.7%
2	岡山大学	767	12,735	6.0%
3	筑波大学	823	14,855	5.5%
4	神戸大学	821	15,466	5.3%
5	東北大学	808	16,148	5.0%
6	広島大学	668	14,147	4.7%
7	北海道大学	759	16,426	4.6%
8	九州大学	598	16,565	3.6%
9	大阪大学	689	21,281	3.2%
10	東京大学	736	24,084	3.1%
11	名古屋大学	303	14,284	2.1%
12	京都大学	234	20,937	1.1%

(2018年度実績)

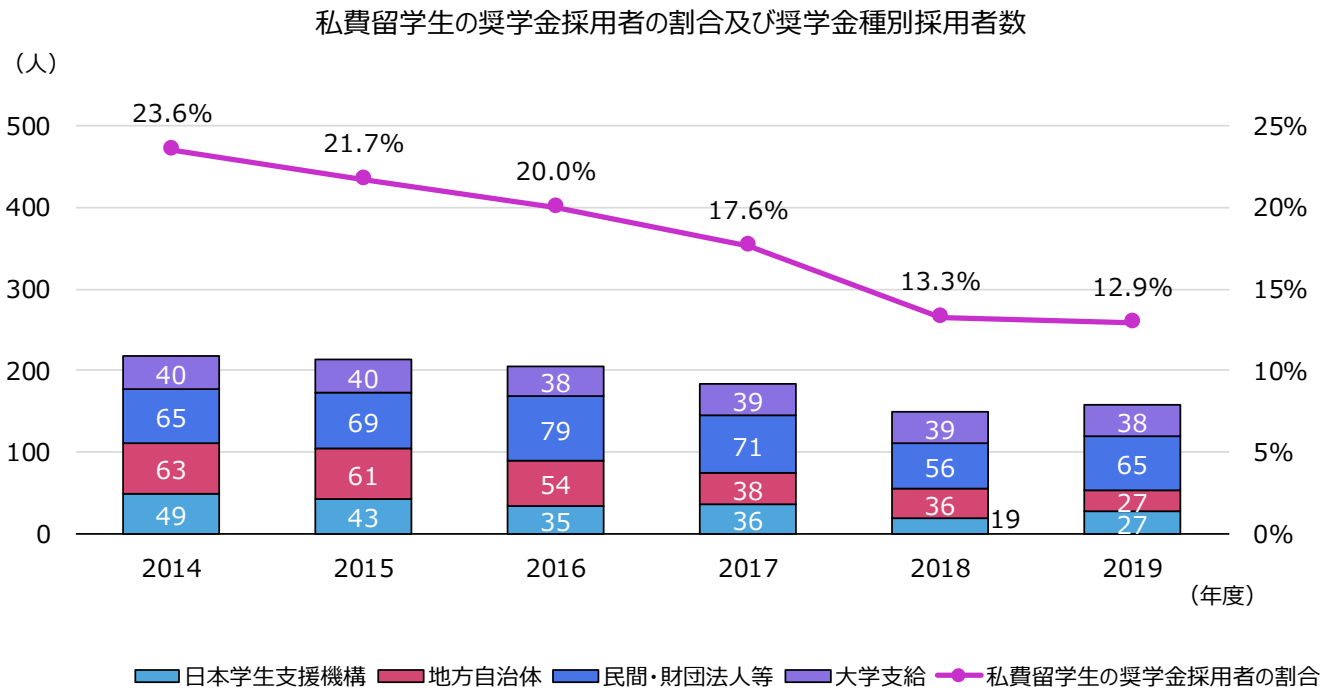
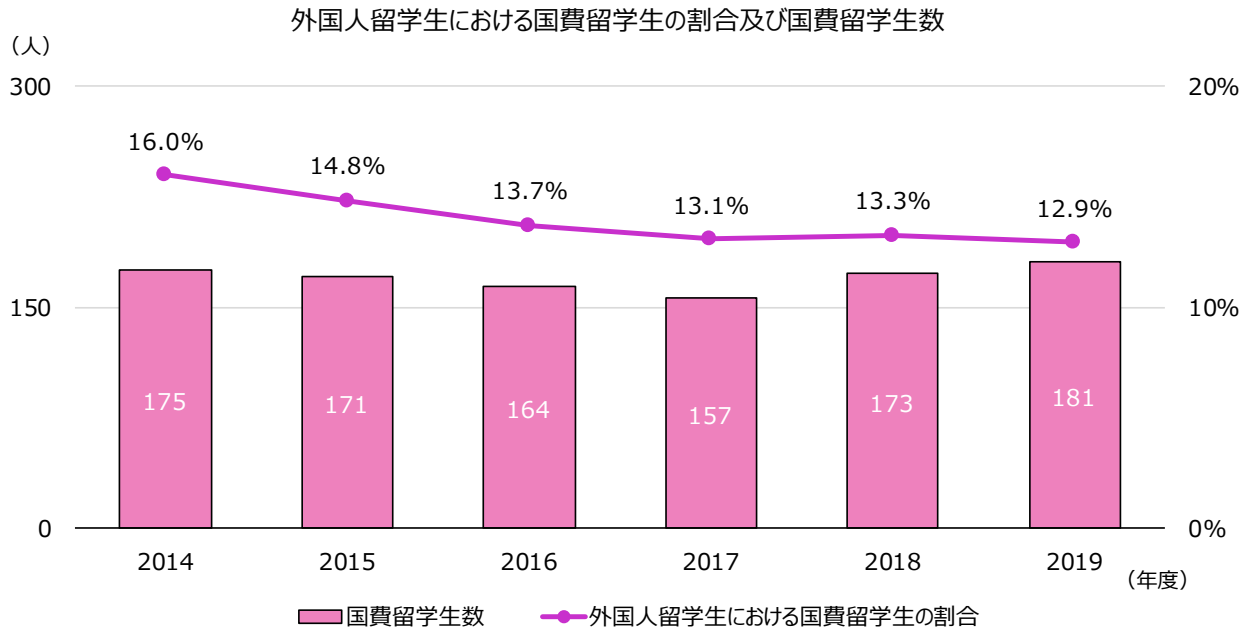
出典：独立行政法人 日本学術振興会 「スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援」 令和元年度フォローアップ結果より

国立大学で学部入学定員の上位13大学（大規模13大学）のうち、事業採択大学と比較

- ※ 外国人教員等数：外国籍の教員に加え、国外の大学での学位取得、通算1年以上教育研究に従事した日本人教員を含む。
- ※ 外国語による授業の実施率：日本語の併用や外国語教育を主たる目的とするものを除く。
- ※ 外国人留学生：在留資格が「留学」の者のみ計上。
- ※ 日本人学生の海外留学生数：2018年4月1日から2019年3月31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数
- ※ 全学生数：非正規課程の学生を含む。

22-2 留学生への経済支援について

- 外国人留学生数が増加している一方で、奨学金採用者数はあまり変わっていないため、奨学金採用者の割合は低下している。
- 私費留学生の奨学金採用者の内訳としては、2014年度に大学支給を拡大したが、地方自治体、日本学生支援機構の減少傾向にある。



※外国人留学生数は学校基本調査より算出しており、科目等履修生・聴講生・研究生等を含む。

※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

23. 附属病院

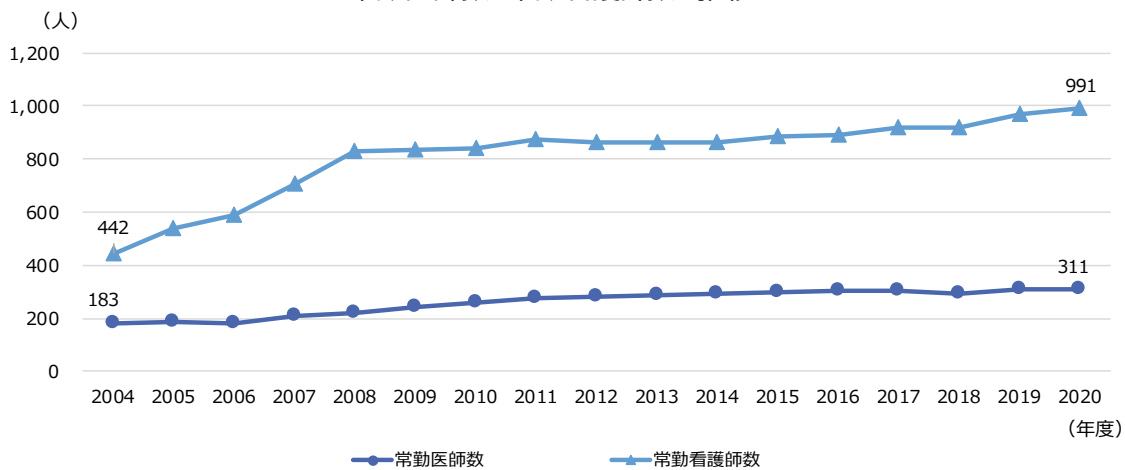
23-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増えている。それに伴い、常勤看護師数も増加している。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1008床	46床	311名	991名
(うちICCRC120床)		(うちICCRC5名)	(うちICCRC43名)

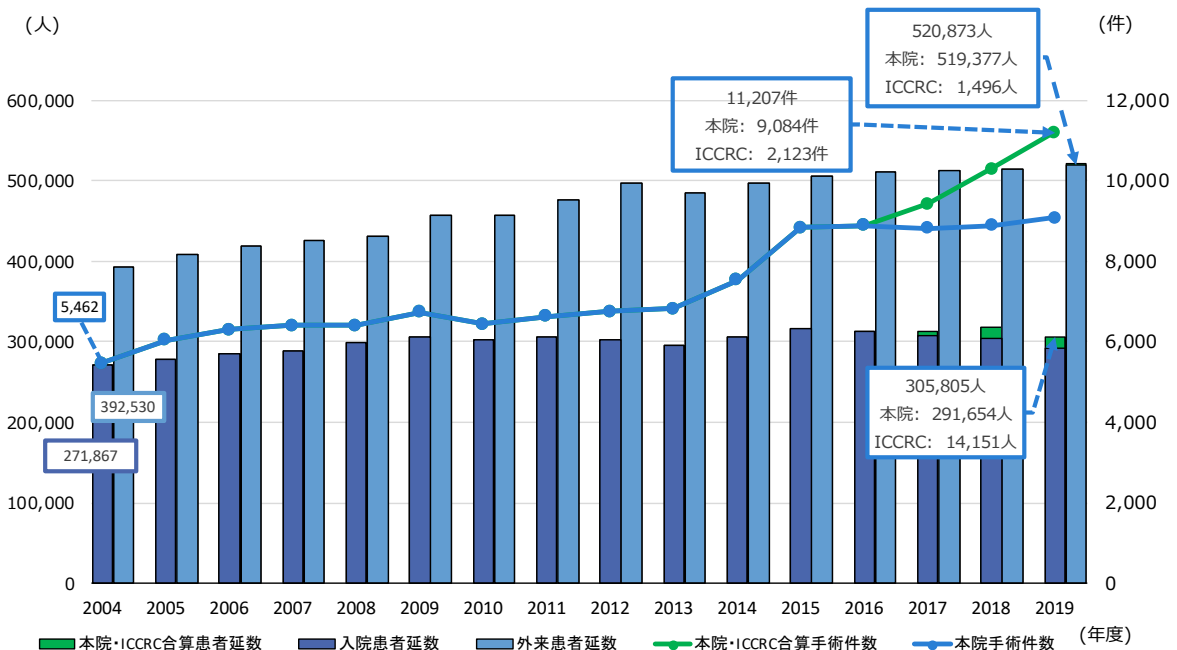
2020年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



23-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

○ 患者延べ数は2004年度と比較すると約1.2倍に増加している。また、総手術件数は法人化時（2004年度）から2016年度にかけて約1.6倍に増加し、2017年度のICCRCの設置により、2019年度にかけて約2.1倍に増加した。



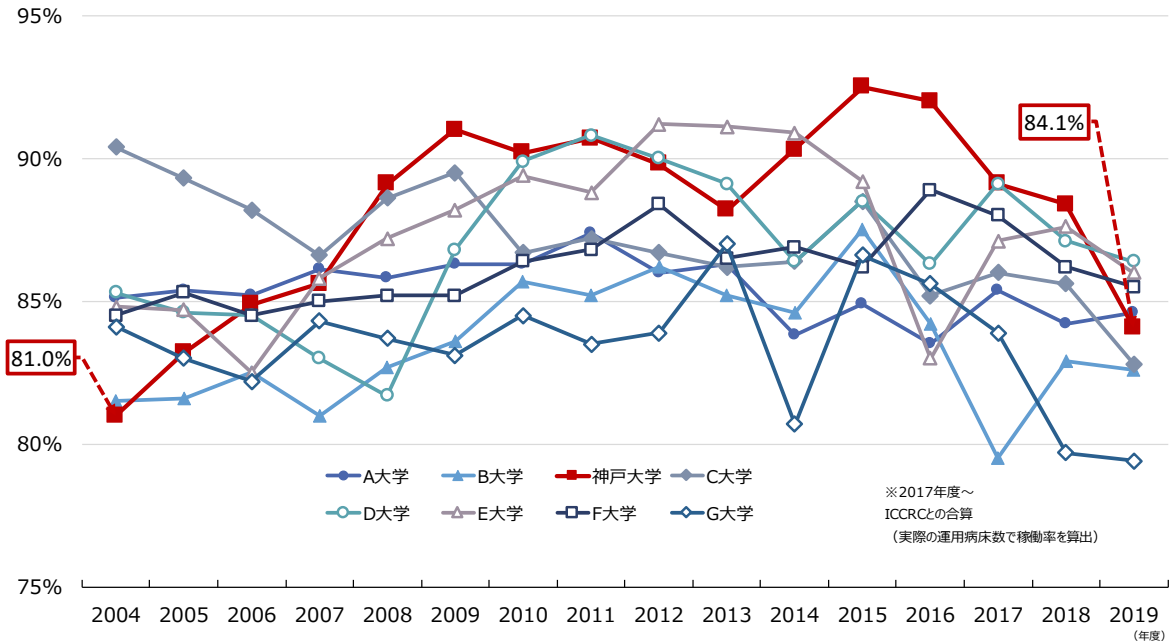
入院患者延数・退院患者数+在院患者延数 外来患者延数・新来患者数+再来患者数

23-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 2019年度の本学の病床稼働率は84.1%と低下が続いており、病床数が同規模である8国立大学の附属病院間で比較したところ5位であった。平均在院日数（一般病床）は12.9日と短縮が進んでおり、8国立大学の附属病院間で比較したところ5位であった。

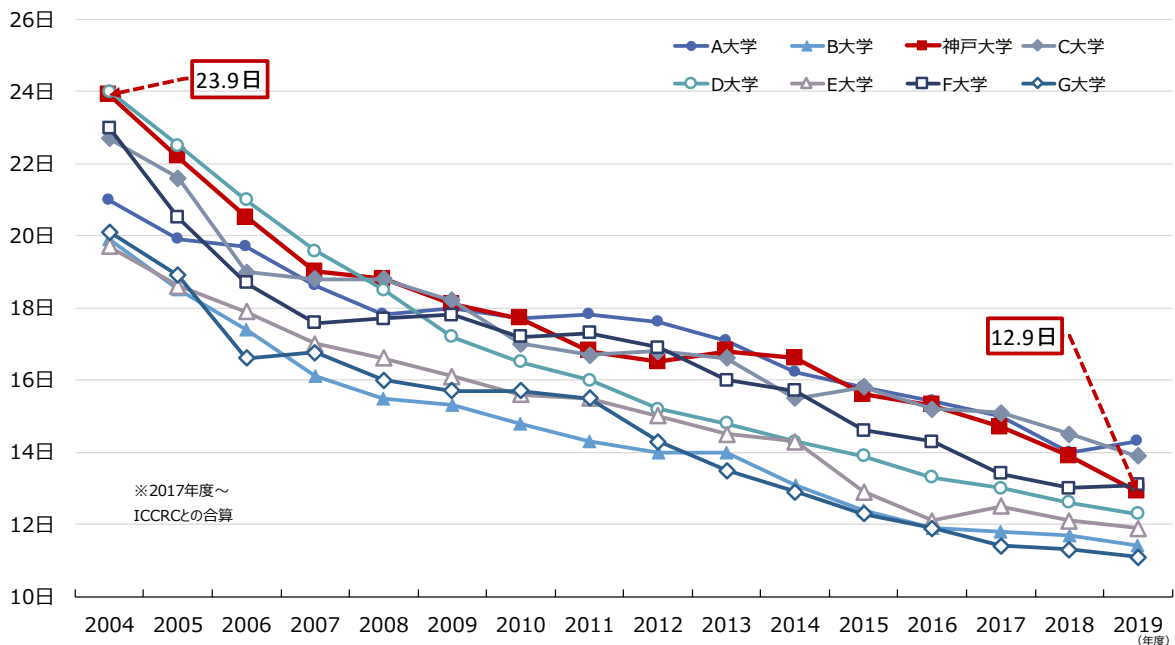
病床稼働率の推移（2004～2019年度）

病床数が同規模である国立8大学について比較



平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2019年度）

病床数が同規模である国立8大学について比較

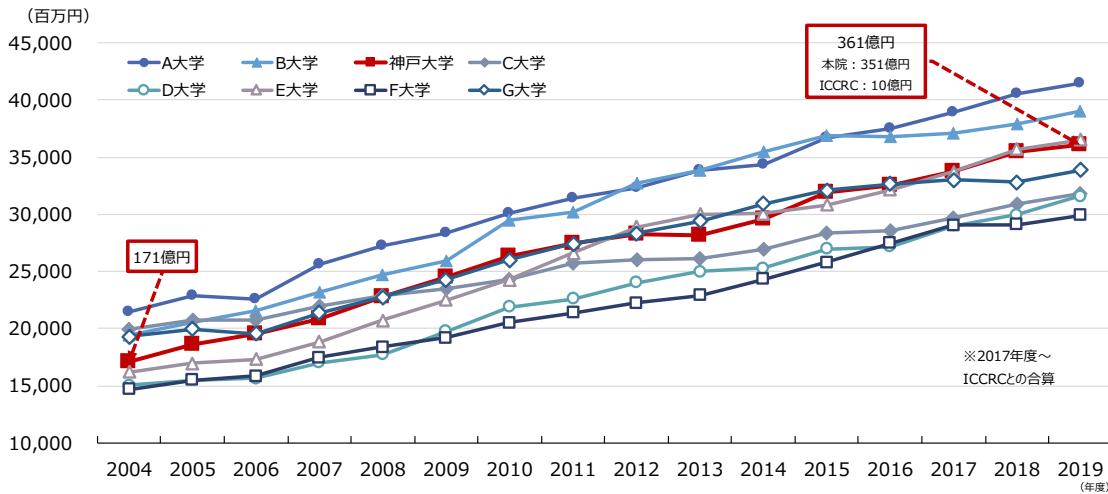


出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床））：国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。（承認番号：136-20200909）

23-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

○ 本学の2019年度診療報酬請求額は361億円であり、法人化時（2004年度）の約2.1倍となっている。

診療報酬請求額の推移（2004～2019年度）
病床数が同規模である国立8大学について比較



《参考》

(千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (平成30事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (平成30事業年度)
A大学	1,086床	3,734,287	D大学	874床	3,380,016
B大学	1,010床	3,640,846	E大学	850床	3,238,136
神戸大学	994床	3,067,230	F大学	845床	2,971,638
C大学	939床	2,658,661	G大学	845床	3,243,591

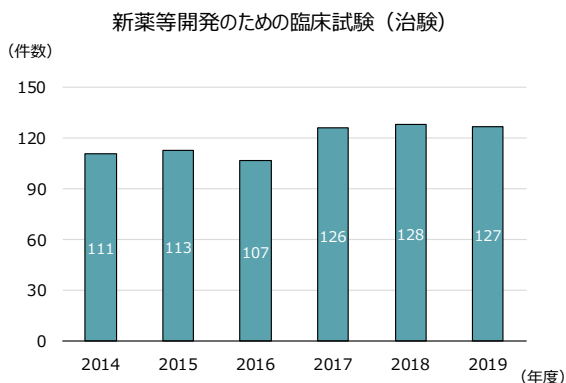
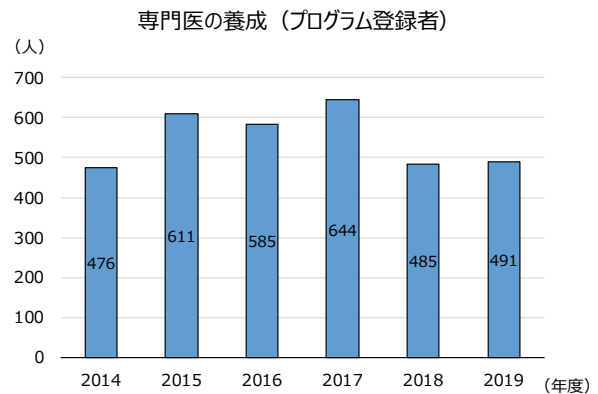
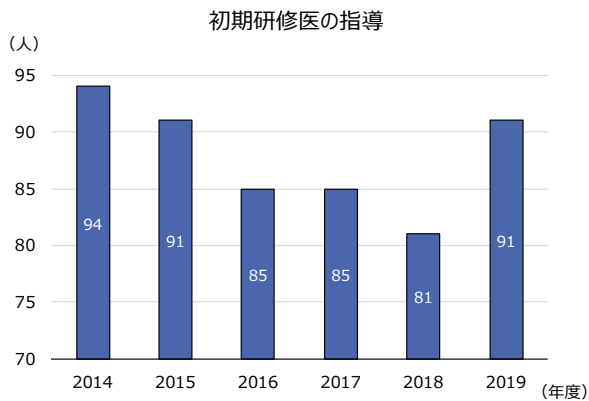
出典（診療報酬請求額、病床数）：国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。（承認番号：136-20200909）

出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表(附属病院の運営費交付金収益)

※本学の病床数は2020年6月1日時点の運用病床数

23-5 附属病院の取り組み — 教育・研究への貢献 —

○ 2019年度、本学では初期研修医を91人受け入れ、専門医を491人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）の件数は127件と、2017年度以降同水準を維持している。



24. 附属学校

基本データ

2020年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	119	6	7
附属小学校	410	12	20
附属中等教育学校	737	18	47
附属特別支援学校	49	9	33
計	1,315	45	107

○ 附属幼稚園・小学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)

○ 附属中等教育学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
(2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定)
・2015年度～2019年度 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定
・2020年度～2024年度 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定

中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、それ以降主に大学等へ進学している。

【主な進学先】

(国公立大学)

神戸大学、東京大学、金沢大学、京都大学、大阪大学、大阪教育大学、岡山大学、徳島大学、大阪市立大学、兵庫県立大学 他

(私立大学)

慶應義塾大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、関西大学、近畿大学、関西学院大学、甲南大学、神戸学院大学、神戸親和女子大学、武庫川女子大学、兵庫医療大学、立命館アジア太平洋大学 他

単位:人

区分	2019年3月卒業			2020年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	30	26	56	22	27	49
海外の大学	2	0	2	0	0	0
私立大学(大学校含む)	18	53	71	20	44	64
短期大学	0	1	1	0	1	1
各種・専門学校	1	4	5	1	1	2
就職:企業等	0	0	0	0	1	1
就職:公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	27	12	39	30	13	43
卒業生数	78	96	174	73	87	160

教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

附属学校園	実習の種類	実習者数(人)
附属幼稚園	教育実習	18
附属小学校		39
附属中等教育学校		59
附属特別支援学校	介護等体験	35
		111

神戸大学day等の開催

2020年

中等教育学校においては、5月に4・5年生の生徒を対象とした、神戸大学全体及び各学部のガイダンスや講義を実施する「神戸大学day」を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期となり、現在、実施は未定である。



2019年11月

文学部の協力により、連携授業を実施し、六甲台キャンパスにおいて、70名の小学生・中等教育学校生及び31名の保護者が大学の授業・実習を受けた。



海外交流事業

2015年度より中等教育学校においてSGH(スーパーグローバルハイスクール)事業として、「グローバルキャリア人の育成」に資するため、国内外の交流事業を行っており、2019年度は延べ192名の生徒を海外に派遣した。

また、附属小学校においても「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、オーストラリアに児童38名、アメリカ(ハワイ・ホノルル)に児童13名を派遣したほか、フランスのマノスクPACA国際学校に教諭を派遣するなど、活発な国際交流事業を展開している。



25. 公開講座等

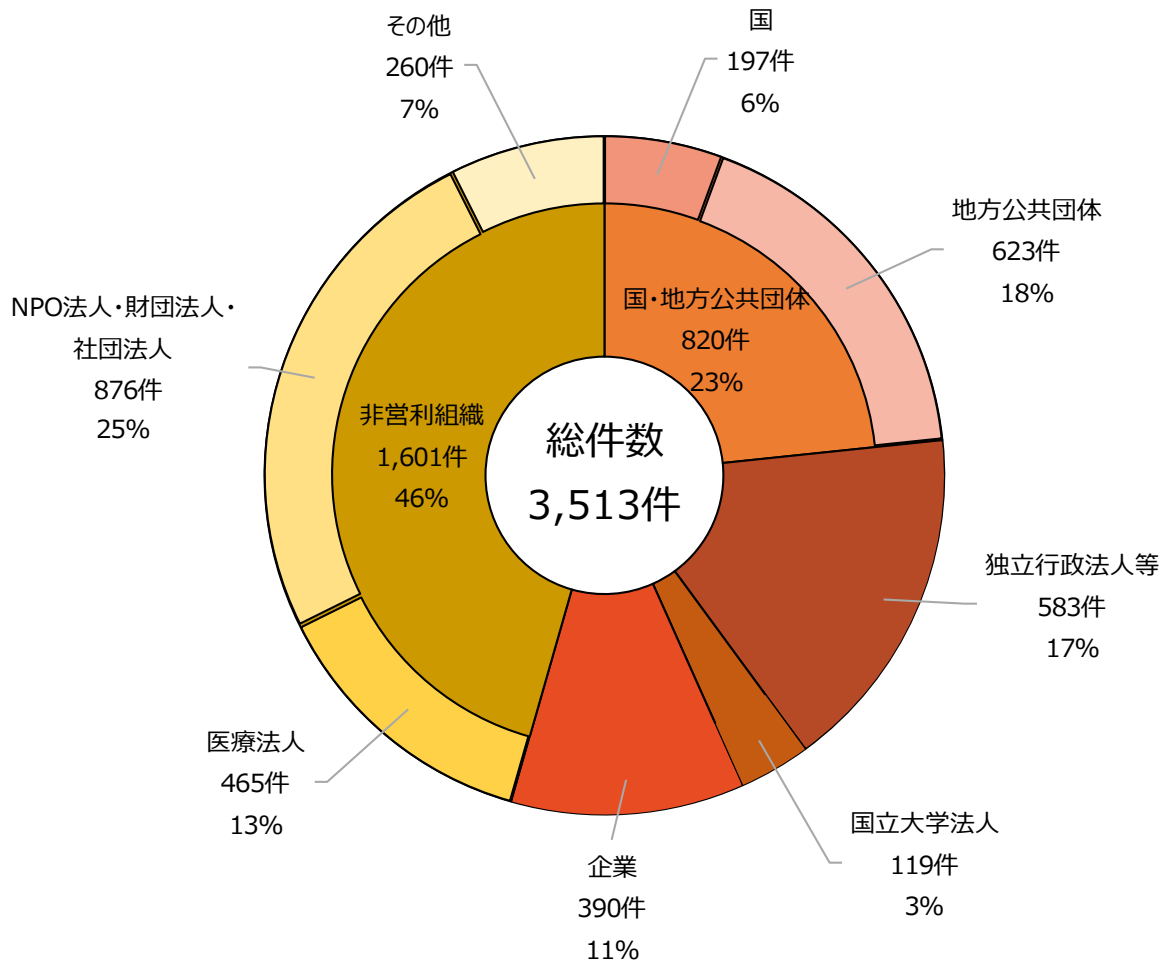
【2019年度】

部局名	講座等名	受講対象者	時間数 (時間)	募集人数 (人)	受講者数 (人)
人文学研究科	「とき」の人文学	一般市民、学生	3.3	80	48
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2019	一般市民	9	20	16
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2019オプションプログラム古文書解読講座	一般市民	6	20	18
国際文化学研究科	芸術と多文化共生：その歴史と現在を考える（全2回）	一般社会人、学生（中学生以上）	3	200	36
人間発達環境学研究科	アカデミックサロン神戸大学大学院生企画 ウキウキするかど	一般市民	2	—	58
	難訓練・タウンミーティング 防災避難訓練「生存確率」	一般市民	3	—	120
	連続講座「いきいきウォーキング」（全4回）	一般市民	6	—	52
	連続講座「春の園芸教室 - 野菜や草花を育ててみよう -」（全3回）	一般市民	4.5	25	26
	連続講座「秋のいきいきウォーキング」（全4回）	一般市民	6	—	46
	連続講座 秋の園芸教室（全4回）	一般市民	4.5	25	26
	音楽文化のトランスポーター-vol.5 青野原収容所不慮の記憶を辿る	学生、教員、研究者、一般市民	2.5	—	50
理学部	サイエンスセミナー 2019「サイエンス最前線」	学生（高校生）、一般市民	50分×5	120	75
医学部附属病院国際がん医療・研究センター	神戸から発信する最新がん治療法	一般市民	1.7	200	200
医学研究科	第37回神戸大学大学院医学研究科公開講座 「超高齢社会を生き抜く」	一般市民、学生等	4	100	95
保健学研究科	「最新の研究から家庭の保健・医療へ」 —健康長寿の延伸のために—	一般市民、学生（高校生以上）	2	100	76
工学部	工学が切り拓く豊かな未来	一般市民、学生（高校生以上）	9	100	74
海事科学研究科	和船の活躍した時代	一般市民、学生（高校生以上）	3.5	90	64
国際協力研究科 (キャンパスアジア室)	インターンシップ・セミナー —国際援助機関と開発途上国政府機関に焦点を当てて—	学生、一般市民	1.5	—	24
	開発運営政策セミナー 「韓国との教育開発協力—SDGs 目標の達成に焦点を当てて—」	学生、一般市民	2	—	21
	リスクマネジメントセミナー 「日韓関係はニューノーマルなのか？危機なのか？」	学生、一般市民	1.5	—	7
	キャリアセミナー「国際協力機構」	学生、一般市民	1	—	20
	開発運営政策セミナー 「アクセスを超えて—持続可能な開発目標4.2における就学前教育の質の追求—」	学生、一般市民	2	—	19
	キャリアセミナー「国際協力機構」	学生、一般市民	3	—	20
	キャリアセミナー「世界銀行」	学生、一般市民	1.5	—	20
	開発運営政策セミナー 「モンゴルのインクルーシブ教育推進におけるユニセフの役割」	学生、一般市民	2	—	20
	キャリアセミナー「英文履歴書・カバーレターの書き方講座」	学生、一般市民	1	—	27
	開発運営政策セミナー 「教員養成についての教訓—上海の事例から—」	学生、一般市民	2	—	20
	キャンパスアジアリスクマネジメントセミナー 「Natural Resource Management based on Community - Case studies from Timor-Leste and Bali, Indonesia -」	学生、一般市民	1.5	—	20
	キャンパスアジアリスクマネジメントセミナー 「"Fund for all, by all" to respond to the humanitarian needs of those furthest behind」	学生、一般市民	1	—	18
	国際協力研究科 (極域協力研究センター)	「北極における海洋保護区の政治：プロセスの促進(阻害)要因は何か？」	学生、一般市民	1.5	—
「南極条約体制における紛争解決」		学生、一般市民	1.5	—	5
「北極における持続可能な海洋観光業：課題と機会」		学生、一般市民	1.5	—	10
「北極の共有財、北極評議会、そして北極の先住民民族」		学生、一般市民	7	—	10
	「ロシアの北極戦略：国際協力の展望」	学生、一般市民	1	—	10
国際協力研究科 (開発法学プログラム)	世界所有権機関WIPO知的財産権実務研修ワークショップ	学生、一般市民	6	—	15
学術・産業イノベーション創造本部	Innovation Design Management	一般市民	12	20	9
社会システムイノベーションセンター	設立3周年記念講演会シリーズ アジア経済見通し2019 - 災害に強い地域の実現に向けて	教職員、学生、一般市民	1.5	100	40
	設立3周年記念講演会シリーズ Improving Education Outcomes in Developing Countries: Evidence, Knowledge Gaps, and Policy Implications	教職員、学生、一般市民	1.5	100	30

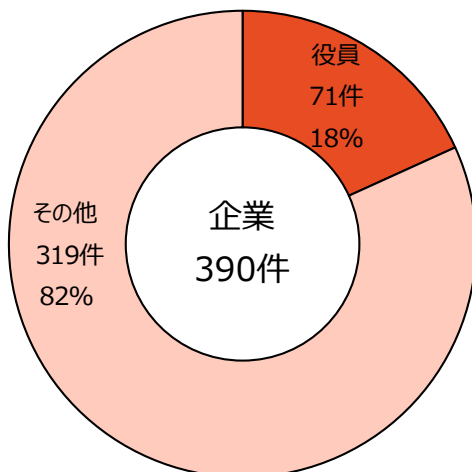
26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外機関への参画状況について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が40%、企業及び非営利組織への参画が57%となっている。
- 企業への参画件数390件のうち、71件（18%）は役員としての参画である。

◆組織別参画状況（2019年度）



◆企業への参画状況（2019年度）



※ 小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

※ 2019年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2019年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合については、複数カウントしている。

※ 他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

27. 教員

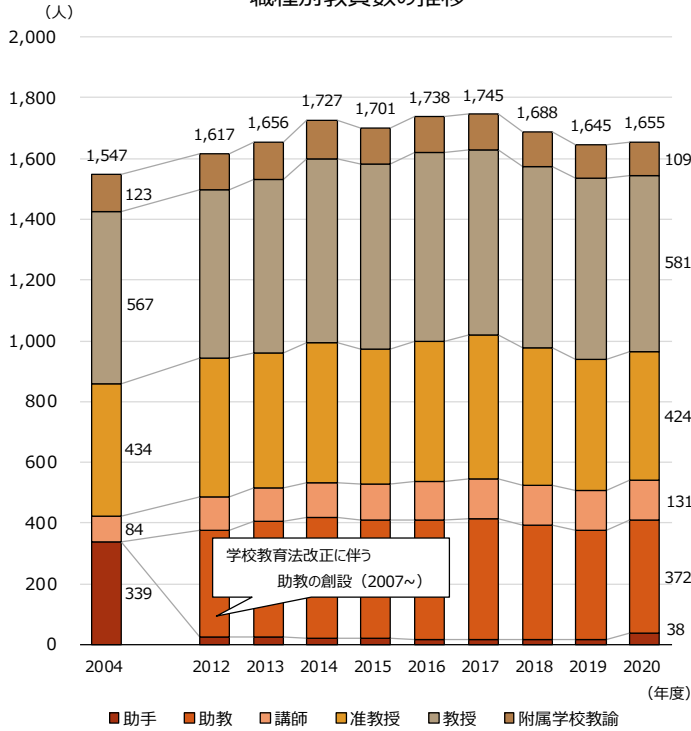
27-1 教員数の推移等

○ 法人化した2004年度と比べ、常勤教員（承継内）は減少し、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

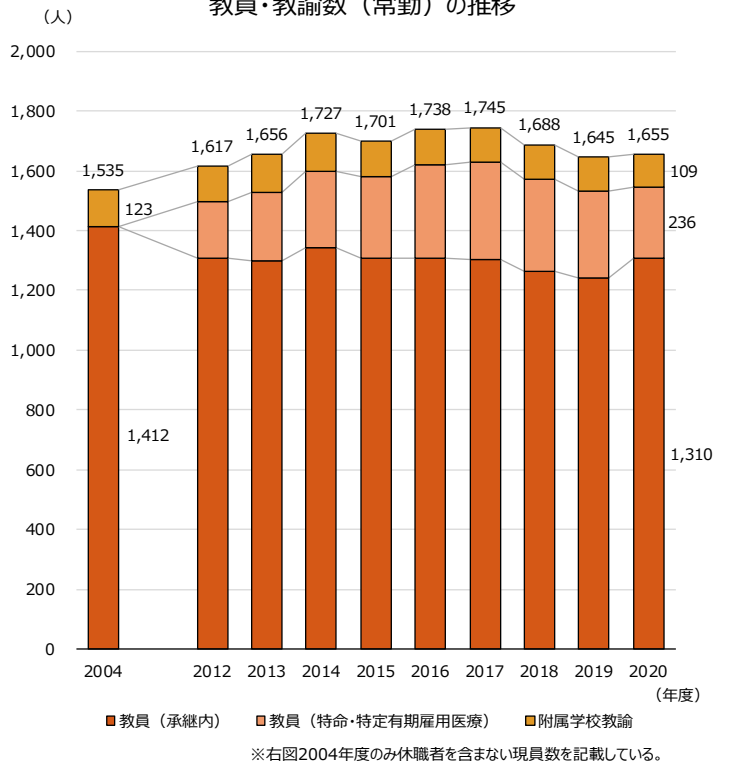
各年度5月1日現在

◆教員◆（神戸大学）

職種別教員数の推移

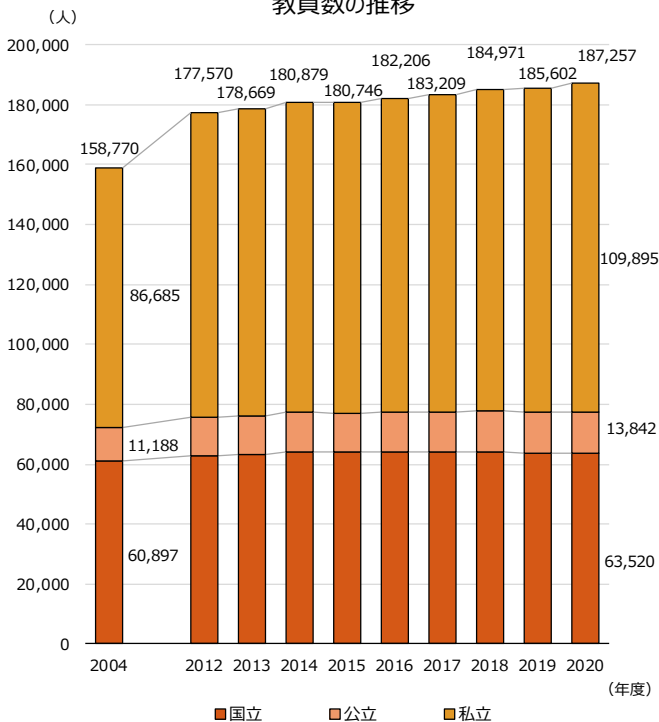


教員・教諭数（常勤）の推移



◆教員◆（全国）

教員数の推移



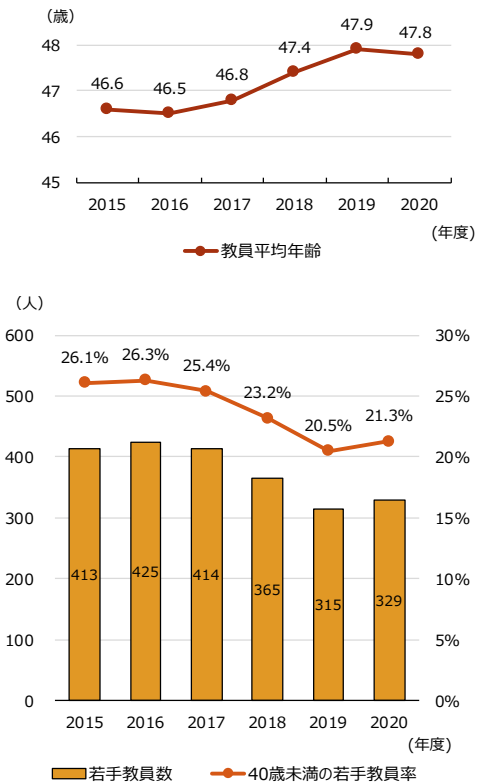
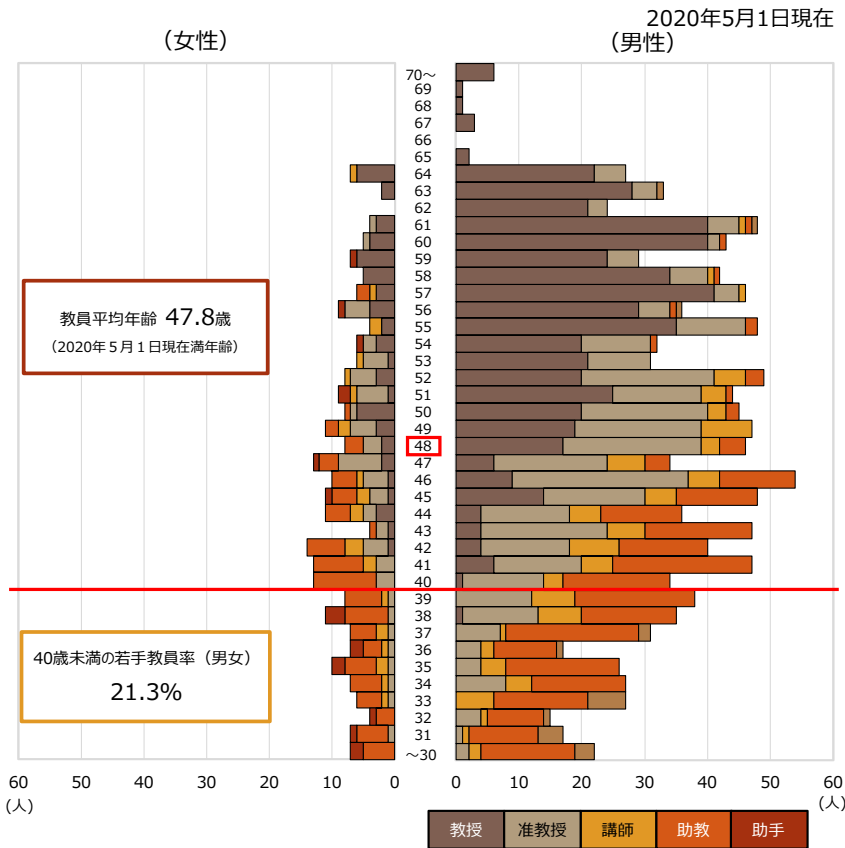
27-2 若手教員・外国人教員・女性教員等の推移等

- 教員の平均年齢は、近年上昇傾向にあり、2010年度から開始した定年延長の影響が現れていると言える。40歳未満の若手教員率は近年減少傾向にあったが、2020年度は前年度から増加している。
- 外国人教員については、2017年度より人数が微減していたが、2020年度は増加した。
- 女性教員については、人数、割合ともに緩やかな増加傾向にあったが、2018年度に人数は減少し、そのまま推移している。

各年度5月1日現在

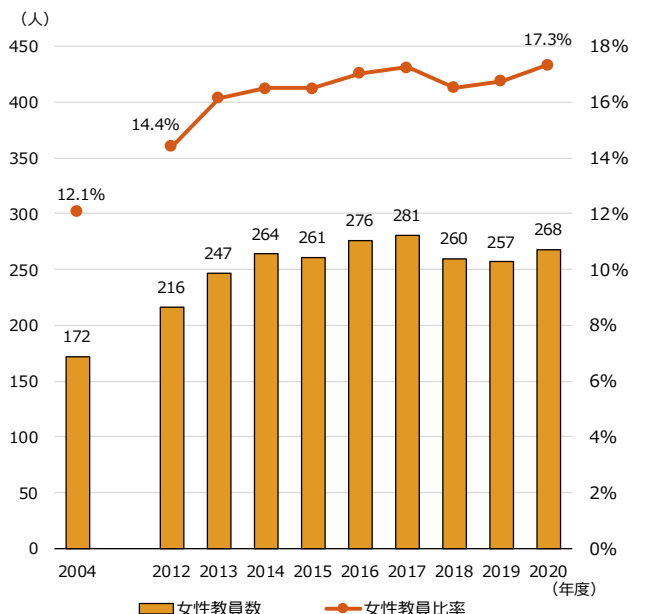
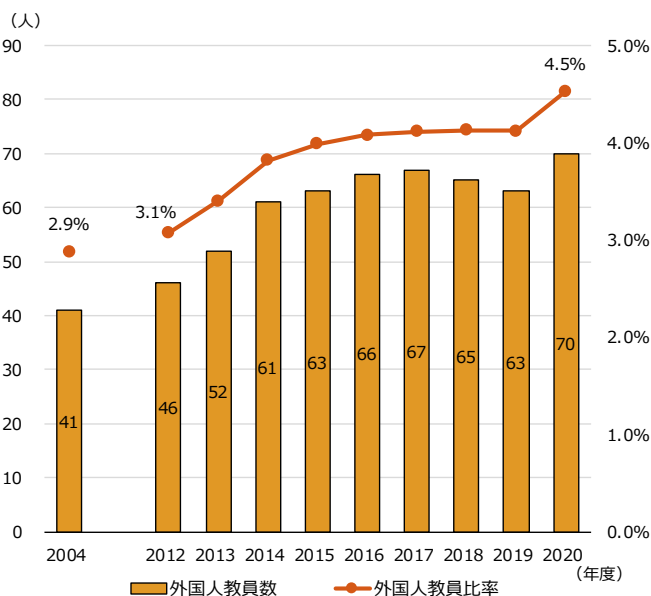
◆男女別・年齢別・職種別教員数◆ (神戸大学)

◆教員の平均年齢と若手教員数の推移◆ (神戸大学)



◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆ (神戸大学)

◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)

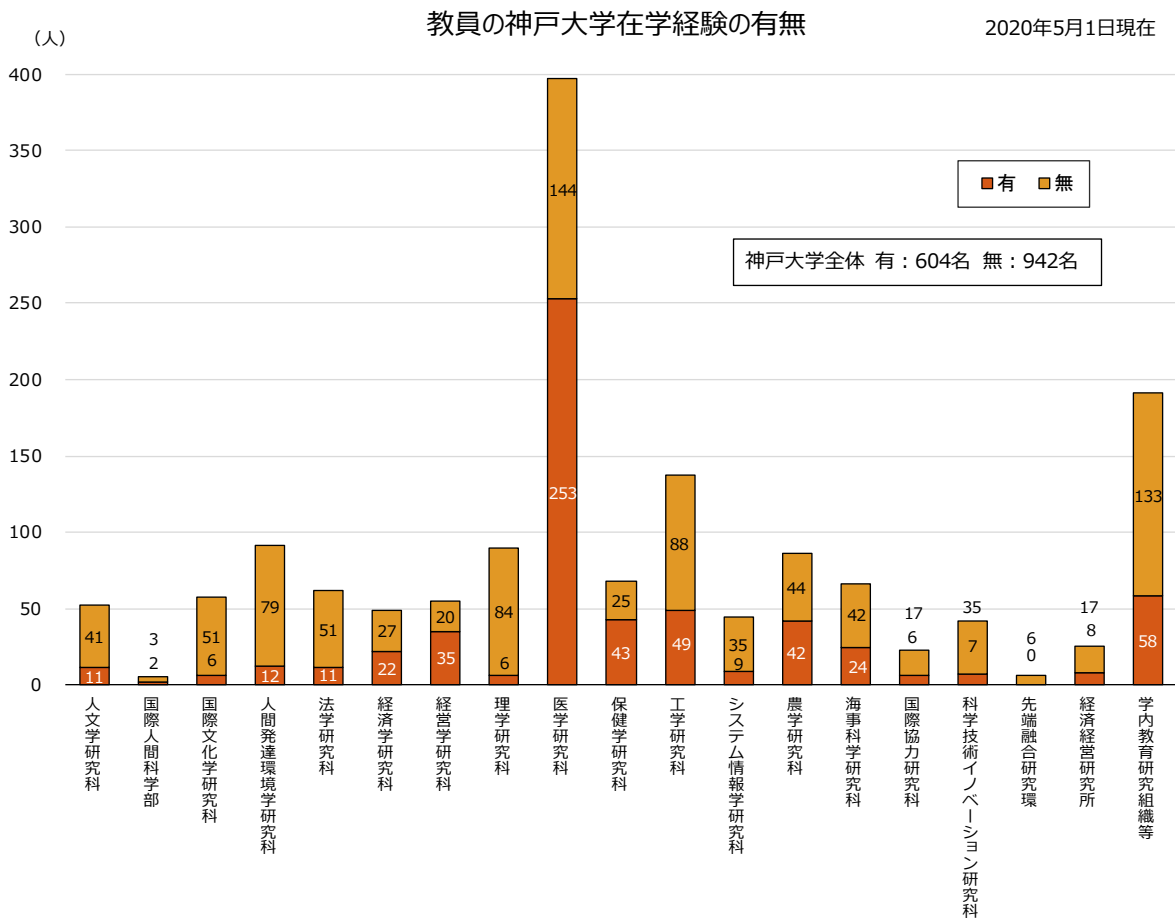


※2020年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、フランス及びドイツ等20の国と地域となっている。

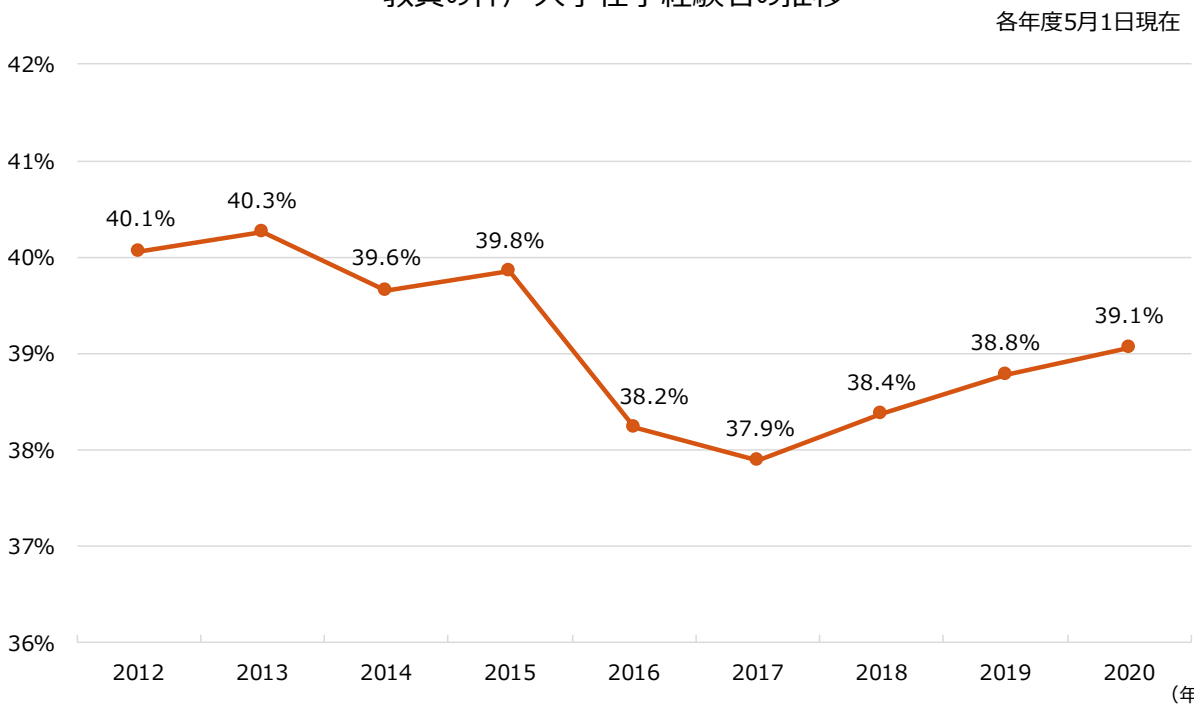
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 教員の公募により幅広い人材の採用が進み、近年は神戸大学在学経験者が40%を切る状態が続いている。



教員の神戸大学在学経験者の推移



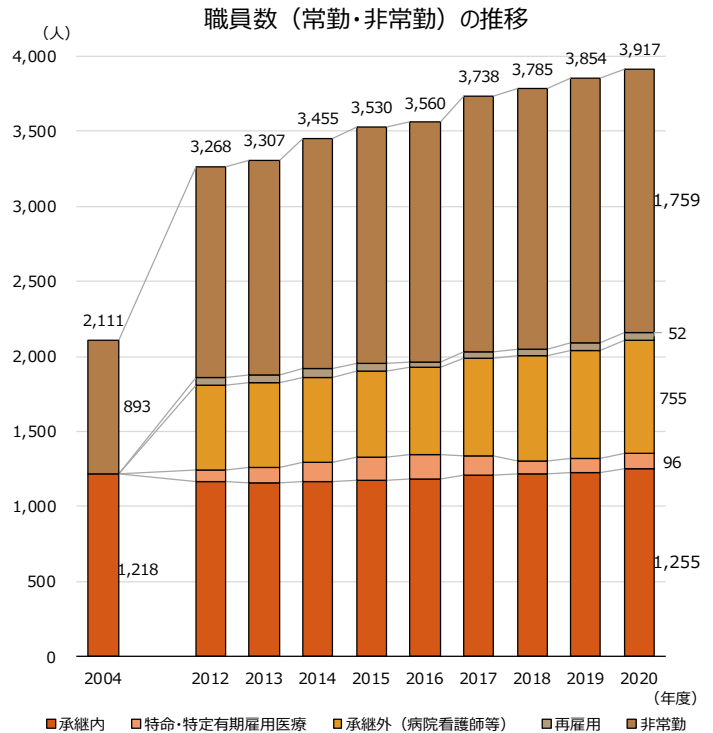
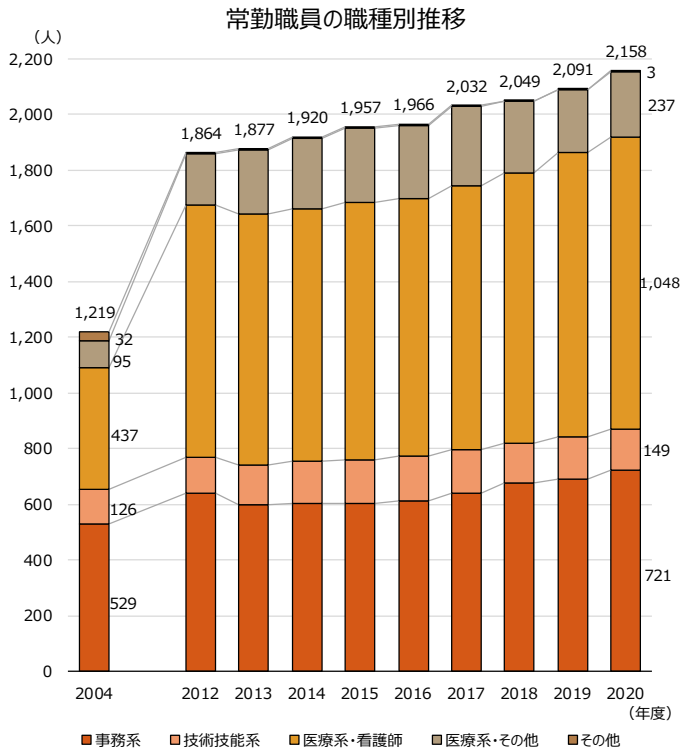
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

28. 職員

- 法人化した2004年度と比べ、非常勤職員は大幅に増加しており、職種別では、医療系職員が大幅に増加していることが分かる。
- また、女性職員については、法人化時に比べ人数・割合ともに大幅に増加しているが、これは看護師等の医療系職員の増加によるものである。

◆職員◆ (神戸大学)

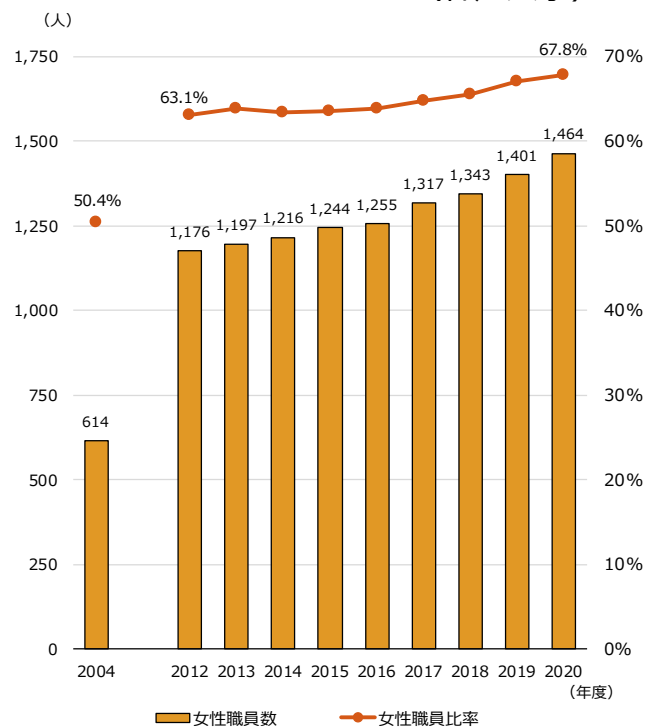
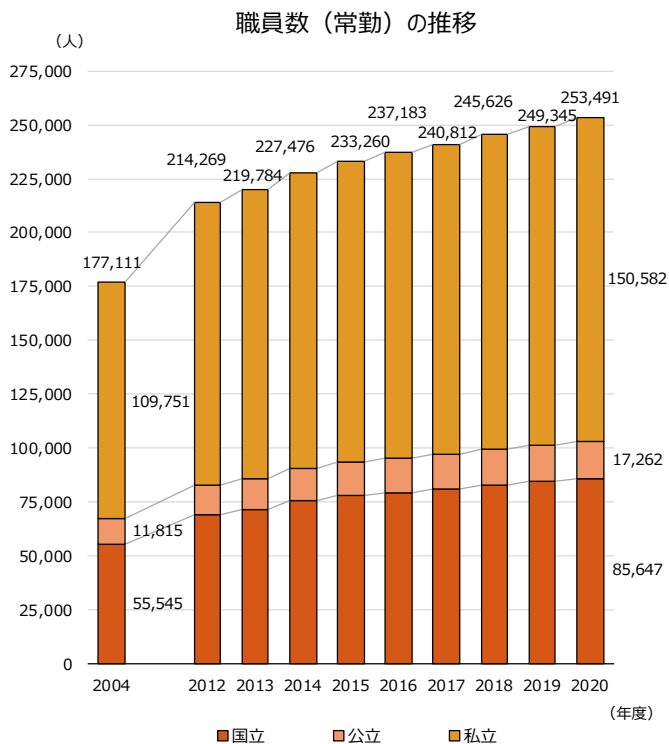
各年度5月1日現在



※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆職員◆ (全国)

◆女性職員数・女性職員比率の推移◆ (神戸大学)



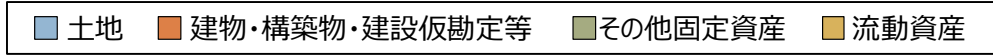
出典：文部科学省「学校基本調査」

※休職者を含む。

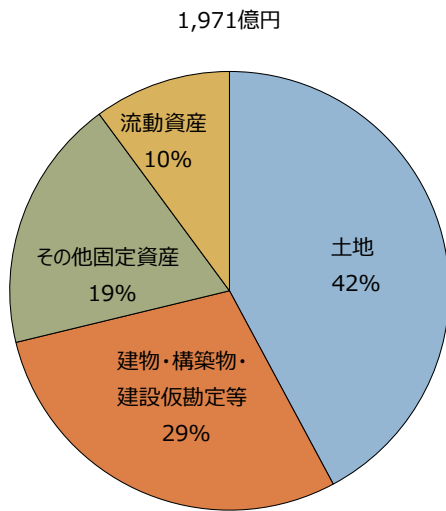
29. 財務

29-1 貸借対照表の概要

○ 土地・建物等が総資産に占める割合は約71%となっている。2004年度以降、新たな資産の取得があったものの、減価償却による簿価の減少に伴って、総資産額に大きな変動はない。

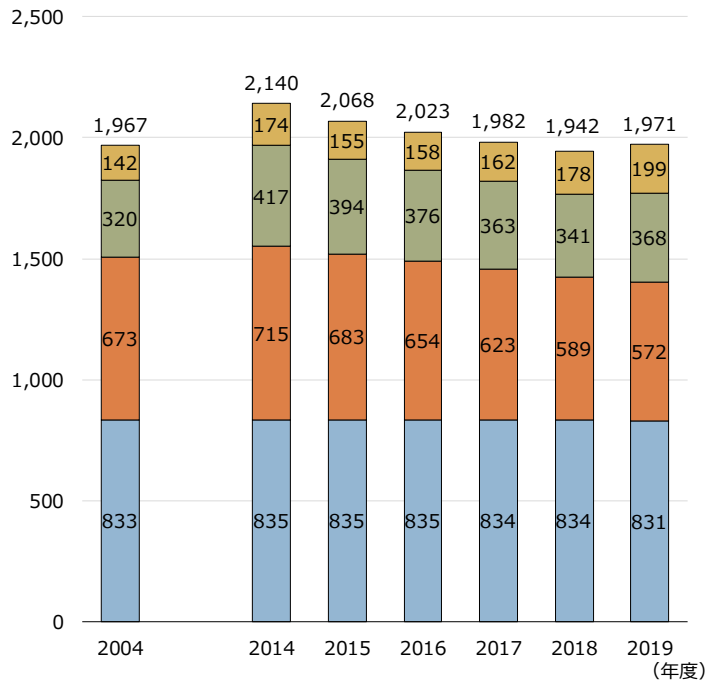


2019年度 総資産額



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

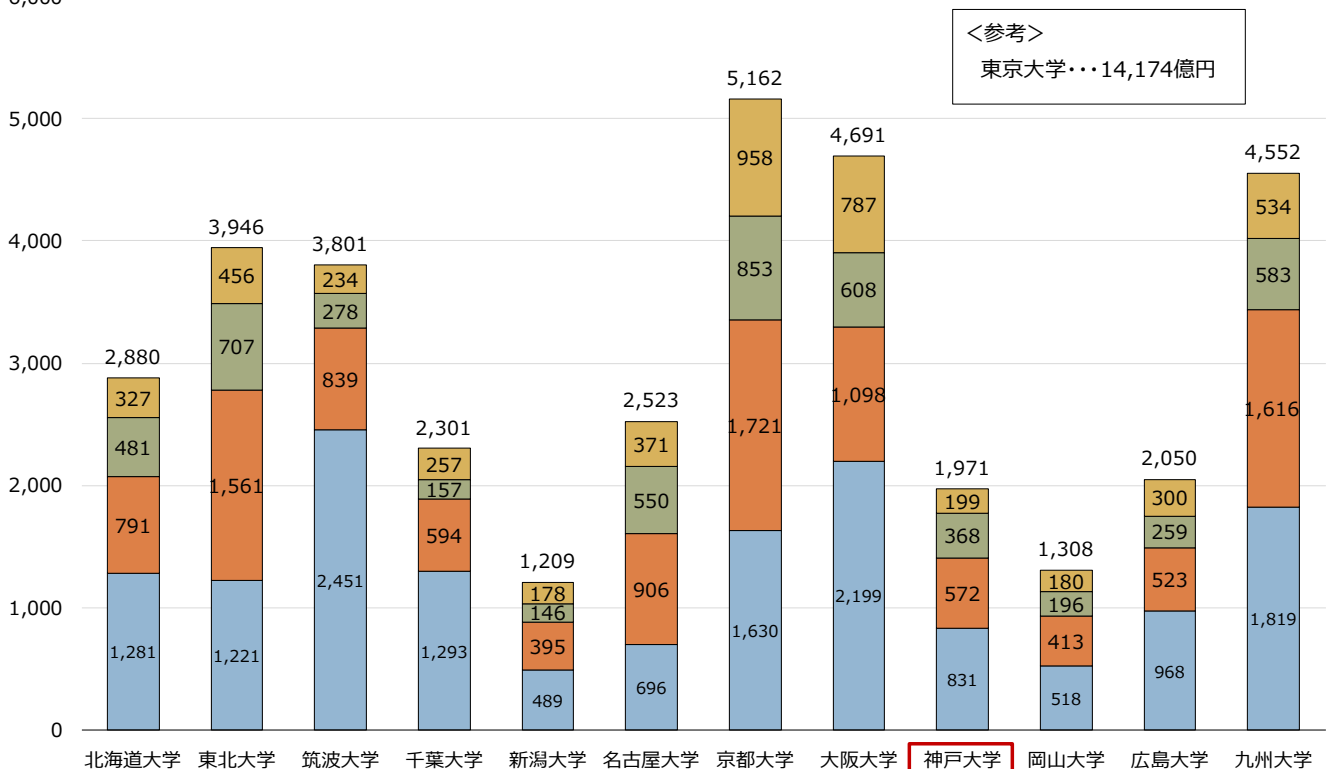
(億円) 総資産額の推移



(億円)

13大学間の比較 (総資産)

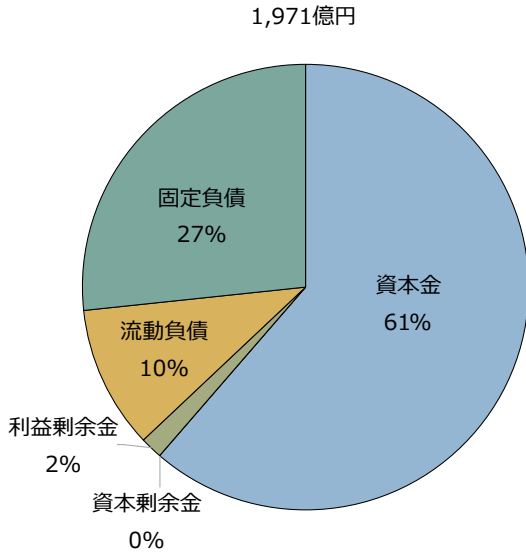
(2020年3月31日時点)



- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債は2013年度に、学寮整備及び病院施設新営等のための借入金の増により増えた後、償還を進めてきたが、2019年度は若干増加した。

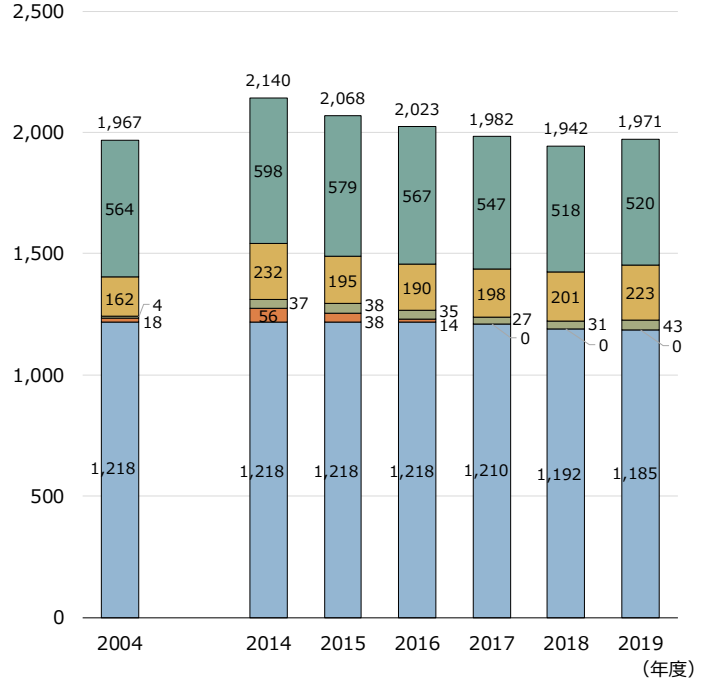
■ 資本金 ■ 資本剰余金 ■ 利益剰余金 ■ 流動負債 ■ 固定負債

2019年度 負債・純資産の内訳



(億円)

負債・純資産額の推移

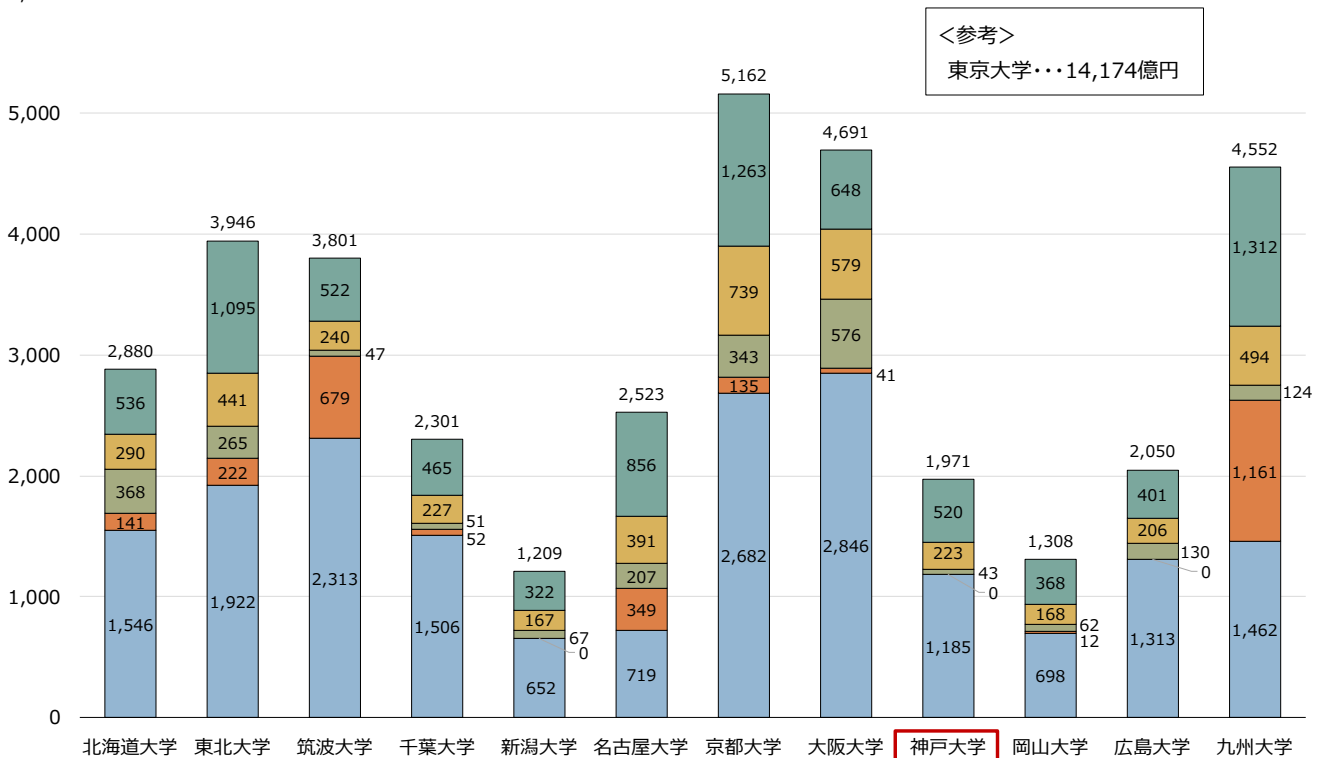


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(億円)

13大学間の比較 (負債・純資産項目)

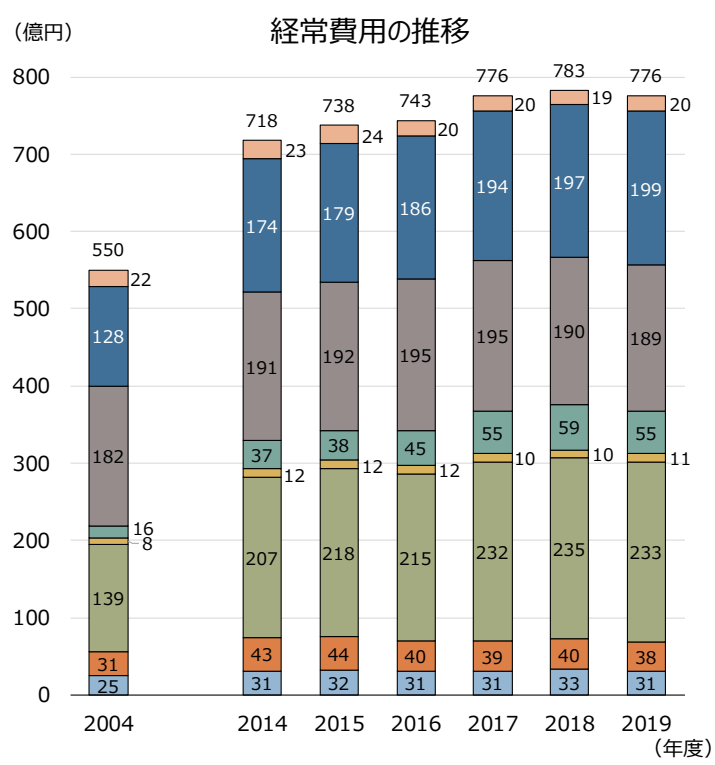
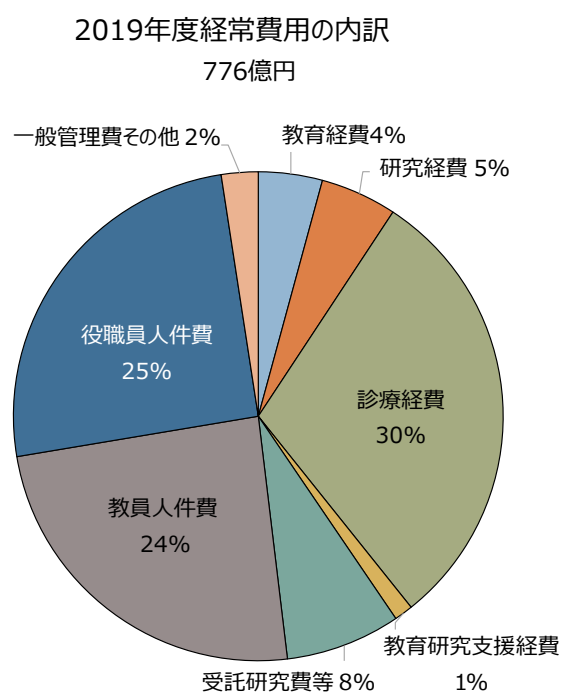
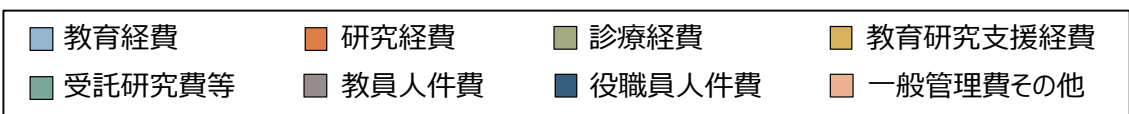
(2020年3月31日時点)



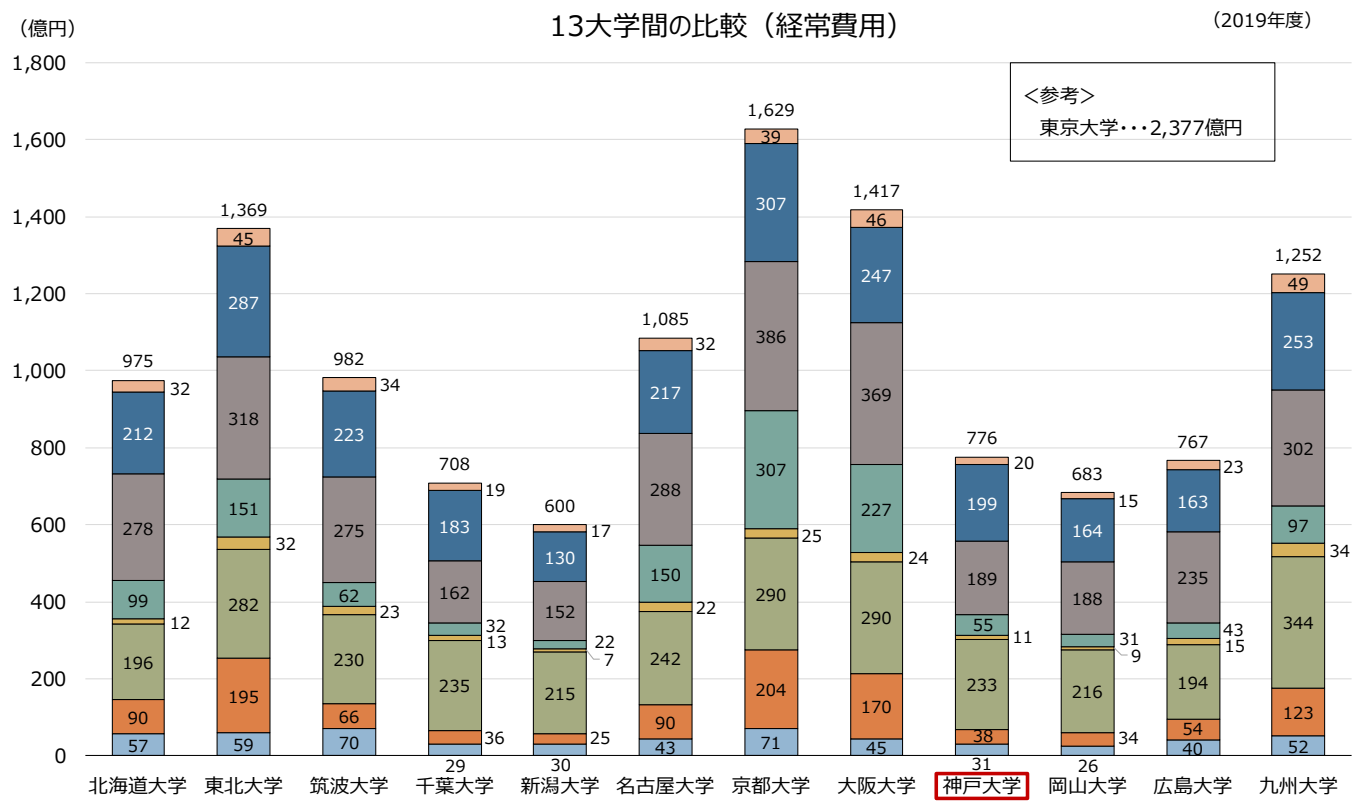
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。

29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や職員人件費の規模も大きく増加している。



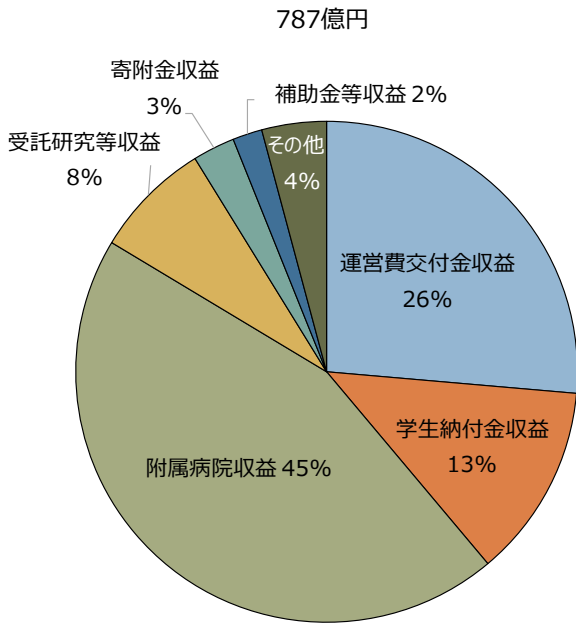
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。



○ 自己財源である附属病院収益や受託研究等収益が増加しているに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.4倍以上に増加している。

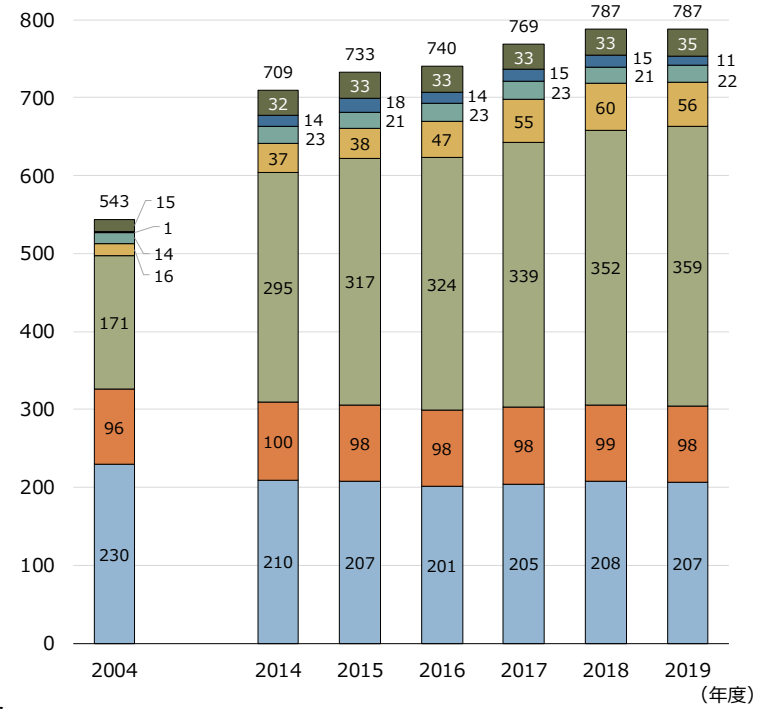


2019年度 経常収益の内訳



(億円)

経常収益の推移

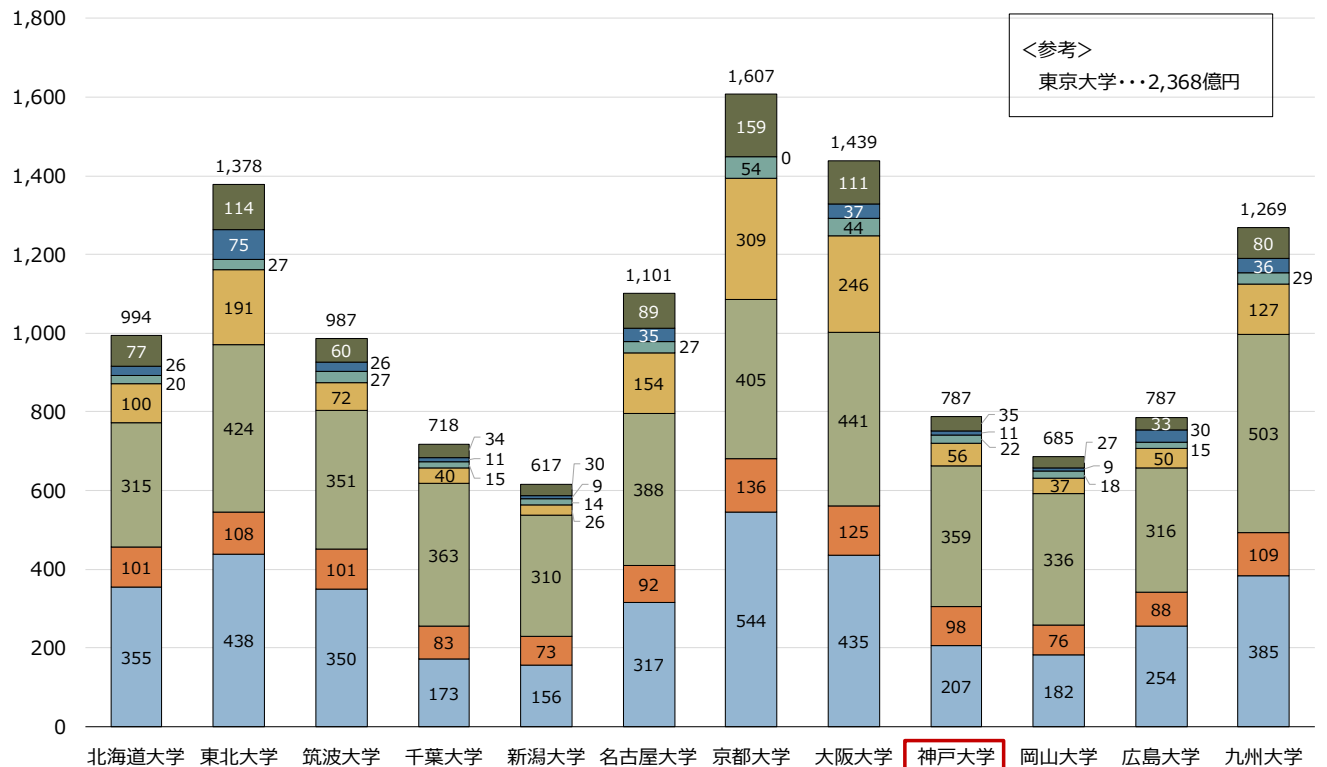


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(億円)

13大学間の比較 (経常収益)

(2019年度)

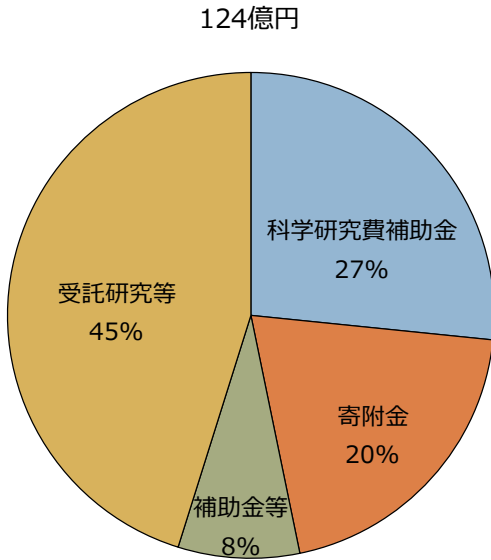


29-3 外部資金受入れ状況

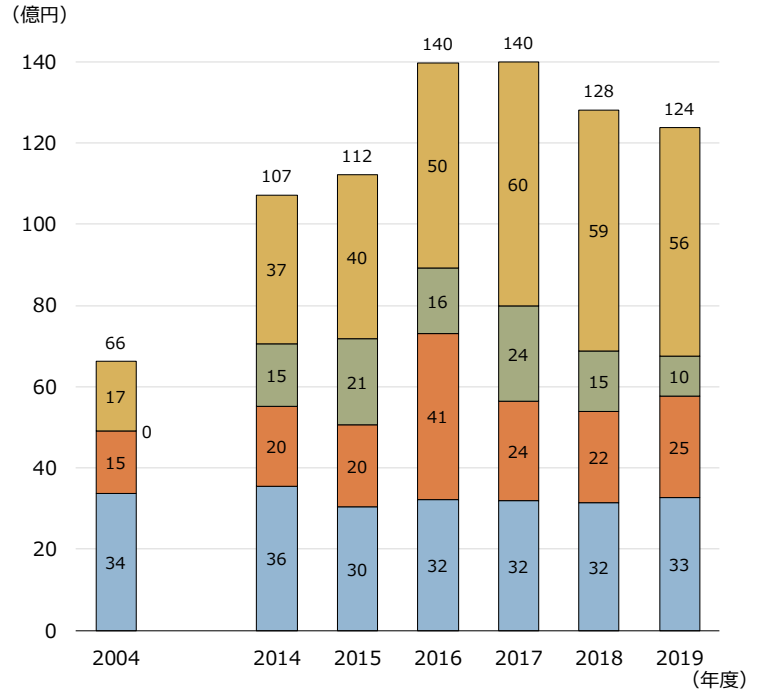
○ 外部資金の2019年度受入額は、2004年度と比較すると、約1.9倍に増加しており、特に受託研究等の増加が顕著となっている。



2019年度外部資金受入額の内訳



外部資金受入額の推移

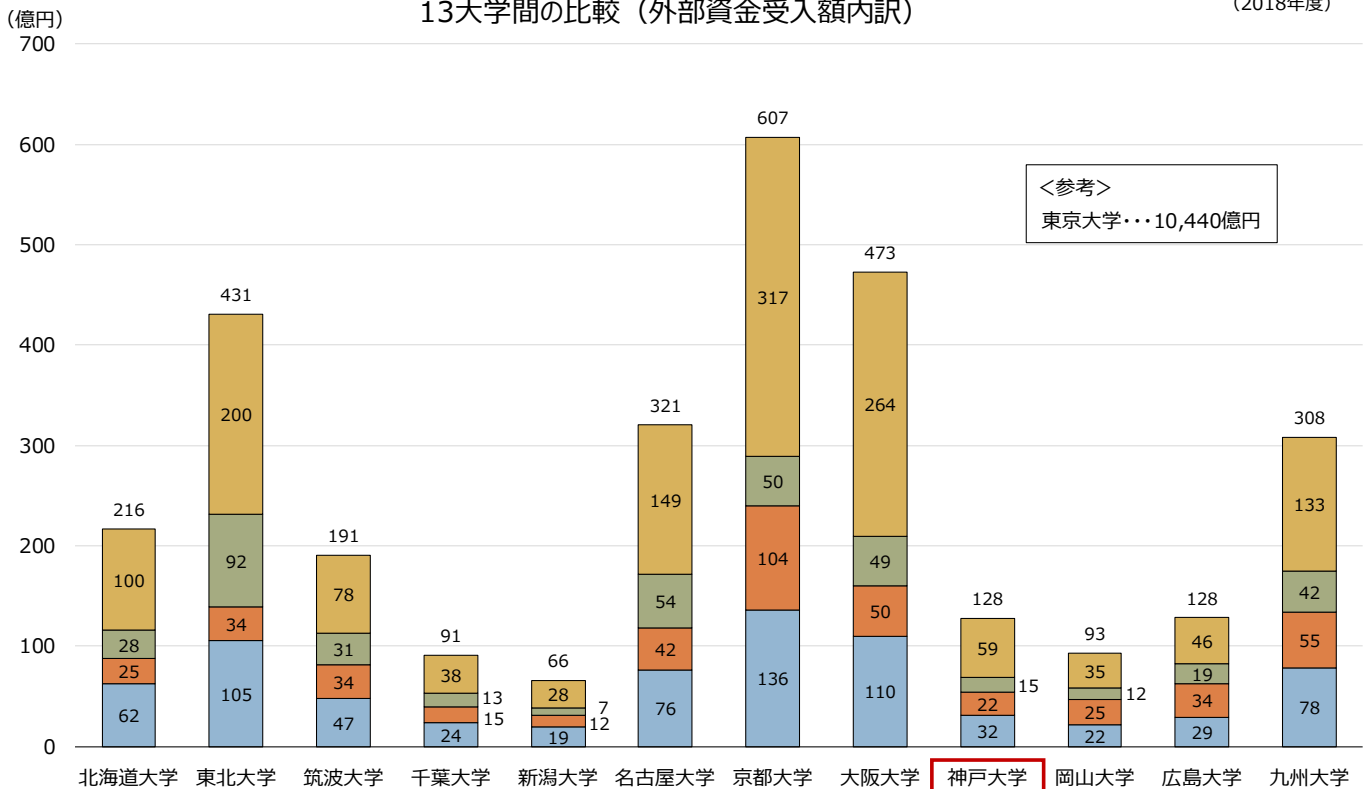


※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

※2016年度は国際がん医療・研究センター設立に伴う寄附金により、一時的に寄附金が増加している。

13大学間の比較 (外部資金受入額内訳)

(2018年度)



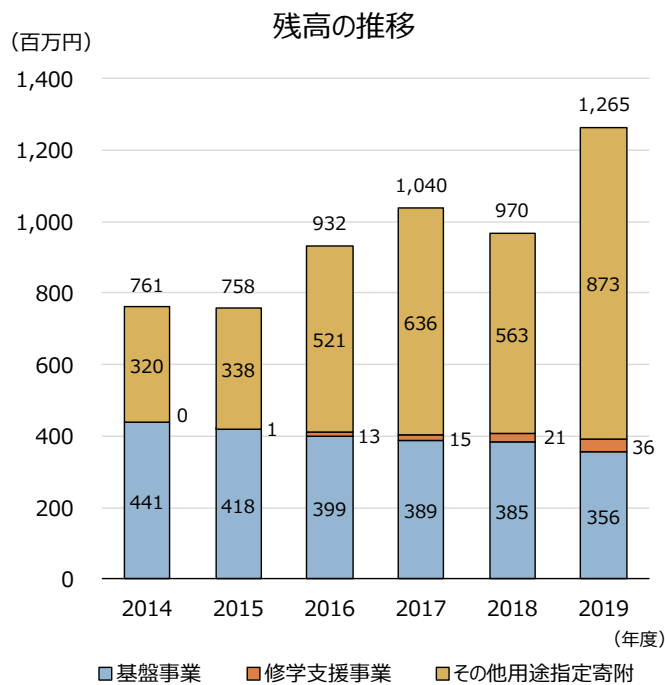
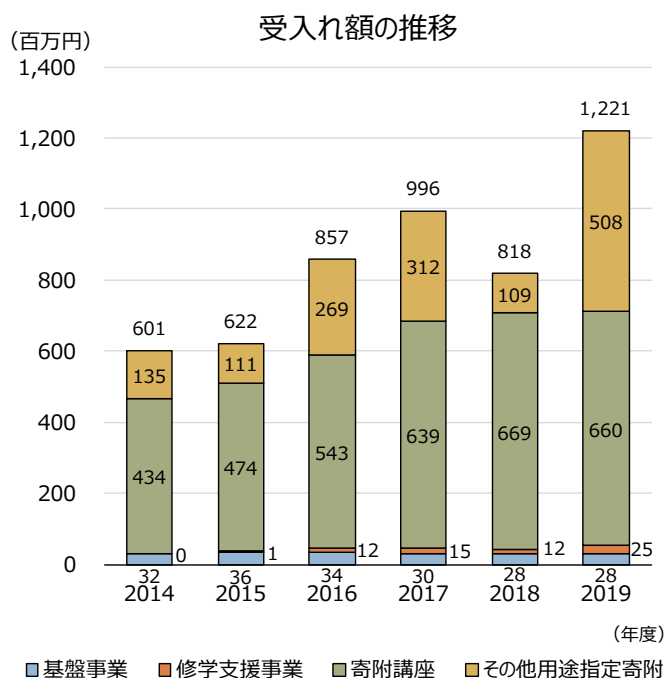
29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

(単位：千円)

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	研究代表者名	2019年度 受入金額	採択期間
研究大学強化促進事業				
研究大学強化促進事業	学術研究推進機構	学長 (武田 廣)	127,110	2013～2022
大学の世界展開力強化事業 (キャンパスアジア)				
東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム	国際協力研究科	国際協力研究科長 (松並 潤)	9,975	2016～2020
国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)				
根寄生雑草の発芽機構および宿主抵抗性に着目した防除法の開発ならびに有用性の探索	農学研究科	杉本 幸裕	23,010	2016～2022
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 (領域開拓プログラム)				
生命・環境技術の社会実装に関する先端融合研究—21世紀型参加のビジョンと試行—	人文学研究科	松田 毅	2,314	2017～2020
次世代人材育成事業グローバルサイエンスキャンパス (GSC)				
根源を問い革新を生む国際的科学技術人材育成挑戦プログラム	人間発達環境学研究科	伊藤 真之	20,654	2017～2020
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プラン				
7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン	医学研究科	医学研究科長 (藤澤 正人)	15,225	2017～2021
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム				
バイオ経済を加速する革新技術：ゲノム編集・合成技術の事業化	科学技術イノベーション 研究科	近藤 昭彦	174,052	2017～2022
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)				
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)	男女共同参画推進室	学長 (武田 廣)	49,939	2018～2020
先導研究プログラム/エネルギー・環境新技術先導研究プログラム (NEDO)				
有機溶剤の超ろ過膜法開発による化学品製造プロセス革新	工学研究科	松山 秀人	34,175	2018～2020
草の根技術協力事業 (草の根パートナー型)				
ベトナム北部における高齢疾患に対するリハビリテーション人材育成支援事業 (草の根パートナー型)	保健学研究科	種村 留美	23,659	2019～2022
道路政策の質の向上に資する技術研究開発				
ETC2.0データの活用と評価を通じた次世代ETCの基本設計提案	工学研究科	井料 隆雅	41,998	2019～2020
医療研究開発推進事業費補助金 (AMED)				
細胞加工製品における次世代シークエンサーを用いたウイルス安全性実現のための多施設国際共同研究	科学技術イノベーション 研究科	内田 和久	35,700	2019～2020
医療研究開発推進事業費補助金 (AMED)				
小児難治性頻回再発性・ステロイド依存性ネフローゼ症候群を対象としたリツキシマブ治療併用下でのミコフェノール酸モフェチルの多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験(JSKDC07試験)	医学研究科	飯島 一誠	33,000	2019～2020
オープンイノベーション機構の整備事業				
オープンイノベーション機構の整備事業	学術研究推進機構	学長 (武田 廣)	125,000	2019～2023
Visegrad Grant				
Comparing Responses to Global Transformations - Regime Changes in the V4 and Japan	国際連携推進機構	白鳥 義彦	2,630	2019～2021
Jean Monnet Chair				
Kobe Programme for a Refined Network in EU Studies	法学研究科	井上 典之	5,839	2019～2022

29-5 神戸大学基金

○ 2006年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの支援を賜り、様々な分野において活用されているが、「基盤事業（大学全般）」・「修学支援事業（奨学金）」の合計残高は減少しており、事業実施自体が厳しくなっている学生支援事業もある。



※2019年度は神戸大学創立120周年記念事業「神戸大学バリュースクール」設立に伴う寄附金により、一時的にその他用途指定寄附が増加している。

※寄附講座については、年度ごとの使い切りの予算のため残高に計上されない。

◆「基盤事業(大学全般)」・「修学支援事業(奨学金)」による学生への支援実績

国際化対応 【1,644万円】

- 海外留学・研修への派遣支援
協定校等への海外派遣助成、部局企画プログラム（留学・研修・海外ボランティア等）、大学院ダブルディグリー学生海外派遣助成、神戸グローバルチャレンジプログラム
【利用者数 101名】
- 海外からの優秀な留学生の受入
【利用者数 延べ89名】

奨学金制度 【1,075万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金
【支給者数 3名】
- 「神戸大学基金」奨学金
対象：学部新1年次生
【支給者数 40名】

課外活動支援 【461万円】

(含ボランティア活動)

- 課外活動支援
【支援数 38団体 67件】



神戸大学アメリカンフットボール部RAVENS (レイバンズ)「全日本大学選手権」出場 (関西の国立大学初の快挙)

- 災害関連ボランティア活動支援
被災地(東日本大震災、熊本地震)へのボランティア派遣
【被災地派遣学生数 延べ44名/年間】

30. 附属図書館・その他一般開放施設

30-1 附属図書館

蔵書数	貸出冊数	入館者数
3,789,272冊	252,937冊	812,400人

2020年3月31日時点

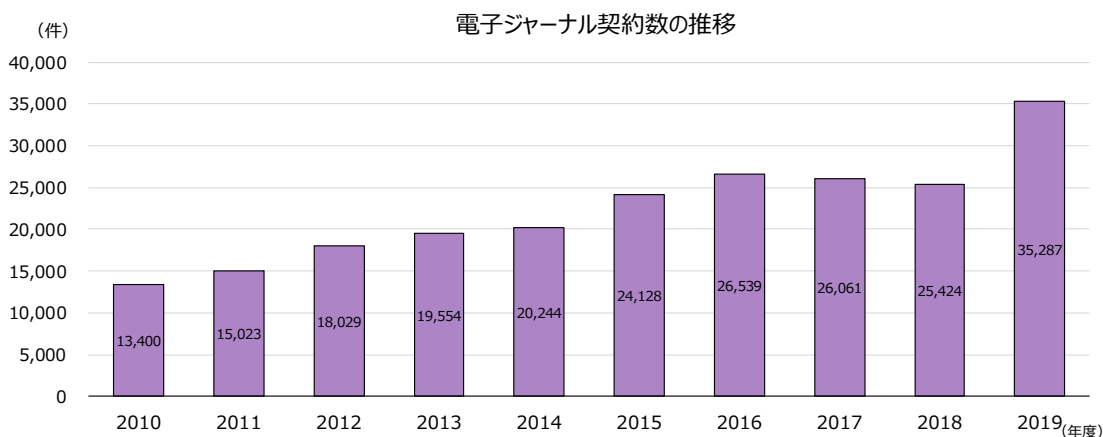
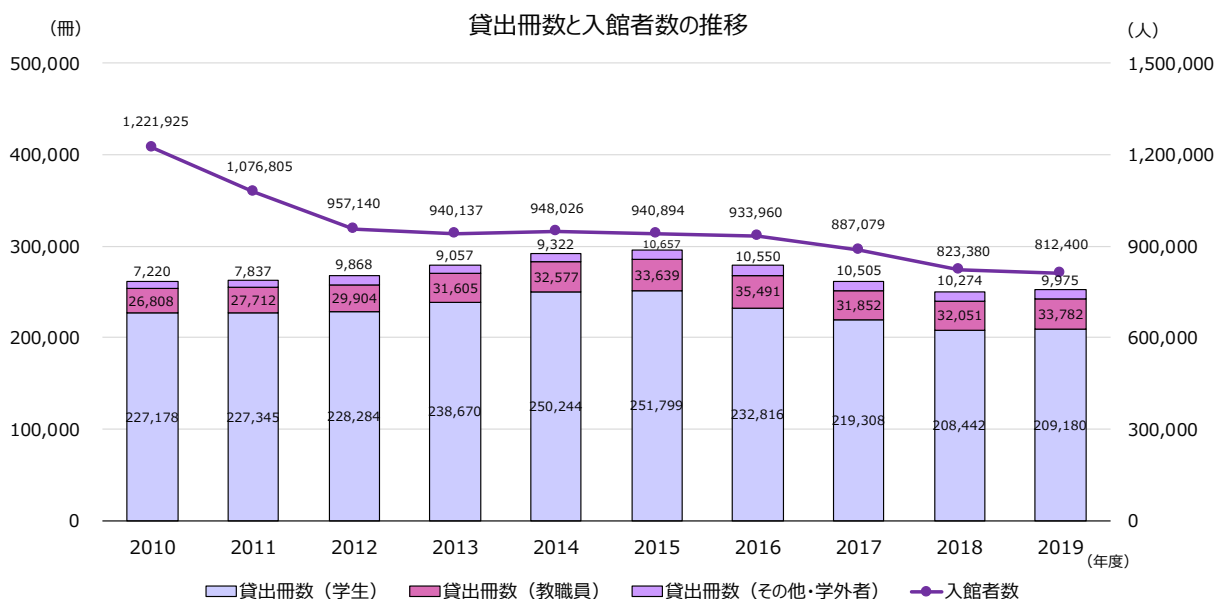
◆国立大学間での蔵書冊数の比較

順位	大学名	冊
1	東京大	9,745,659
2	京都大	7,126,337
3	九州大	4,195,007
4	東北大	4,168,468
5	大阪大	3,884,016
6	神戸大	3,784,027
7	北海道大	3,779,843
8	広島大	3,470,322
9	名古屋大	3,337,531
10	一橋大	2,733,018
11	筑波大	2,698,129
12	岡山大	2,028,343

学内4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。また、地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2019年度は資料展「阪神・淡路大震災25年～あのとことこれから～」を開催。



出典：朝日新聞出版「大学ランキング2021年版」
2019年3月31日時点の蔵書冊数



30-2 その他一般開放施設



◆大学文書史料室
(2019年度来場者数：4,743人(常設展のみ))

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設。
神戸大学の110年を超える伝統ある歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。
常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



◆海事博物館
(2019年度来館者数：2,126人)

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。
和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や近代の航海用具、進水式絵葉書、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。
毎週、月・水・金の午後に開館。



◆山口誓子記念館
(2019年度利用者数：713人)

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。
俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学术交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



神戸大学企画部企画課

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020